



<自主研究>

---

---

# 新潟県中越沖地震に関するアンケート調査 調 査 報 告 書

---

---

平成 19 年 10 月

**SRC** 株式会社 サーベイリサーチセンター  
SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD.

<自主研究>

---

---

# 新潟県中越沖地震に関するアンケート調査 調査報告書

---

---

平成 19 年 10 月

 **株式会社**サーベイリサーチセンター  
SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD.

# 目 次

## I 調査概要

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 1 調査目的                          | 1 |
| 2 「平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震」について | 1 |
| 3 調査設計                          | 2 |
| 4 調査内容                          | 2 |
| 5 回収結果                          | 3 |
| 6 調査協力                          | 3 |
| 7 集計にあたって                       | 3 |

## II 調査結果のまとめ

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 調査結果のまとめ（東洋大学社会学部教授 中村 功） | 5 |
|---------------------------|---|

## III 調査回答者の属性

|        |   |
|--------|---|
| 回答者の属性 | 7 |
|--------|---|

## IV 調査結果

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 1 被害について                | 9  |
| (1) 自宅被害                | 9  |
| (2) 住居の被害状況             | 10 |
| (3) 自宅の中の状況             | 11 |
| (4) けがについて              | 12 |
| 2 地震当日のことについて           | 14 |
| (1) 地震発生時の居場所           | 14 |
| (2) 地震発生時の身体の状態         | 16 |
| (3) 揺れている間の行動           | 17 |
| (4) 地震当日の夜、過ごした場所       | 19 |
| (5) 地震当日、困ったこと          | 20 |
| (6) 地震直後の情報ニーズ          | 22 |
| (7) 情報の入手先              | 24 |
| 3 避難生活について              | 25 |
| (1) 地震から 1 週間後の時点で困ったこと | 25 |
| (2) 避難場所                | 27 |
| 4 地震についての情報について         | 34 |
| (1) 災害情報を入手した媒体         | 34 |
| (2) テレビ・ラジオからの情報        | 36 |

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 5 電話・インターネットについて .....               | 37 |
| (1) 連絡を取ろうとした媒体 .....                | 37 |
| (2) 地震直後の通信手段のつながり具合 .....           | 40 |
| (3) 安否確認 .....                       | 41 |
| (4) 「安否確認サービス」 .....                 | 42 |
| (5) 災害情報を伝えるホームページ .....             | 44 |
| 6 意識や体験について .....                    | 47 |
| (1) 大地震に対する意識の変化 .....               | 47 |
| (2) 地震被害に対する意識 .....                 | 49 |
| (3) 地域の安全性に対する意識 .....               | 50 |
| (4) 地域の危険な点 .....                    | 52 |
| (5) 地震への備え .....                     | 54 |
| (6) 緊急地震速報 .....                     | 61 |
| (7) 行政・公共機関・報道機関に対する意見や要望 .....      | 63 |
| 7 柏崎刈羽原子力発電所の事故について .....            | 72 |
| (1) 柏崎刈羽原子力発電所で発生した事象の認知経路と重大性 ..... | 72 |
| (2) マスコミ報道 .....                     | 78 |
| (3) 今回の柏崎刈羽原子力発電所の事故の問題点 .....       | 79 |
| (4) 原子力発電の安全性 .....                  | 80 |
| (5) 原子力発電に対する賛否 .....                | 82 |
| (6) 柏崎刈羽原子力発電所の事故について .....          | 84 |
| (7) 原子力発電所についてのうわさ .....             | 86 |

## 付1 調査票（単純集計結果）

## 付2 サーベイリサーチセンターの業務案内

# I 調査概要

# I. 調査概要

## 1 調査目的

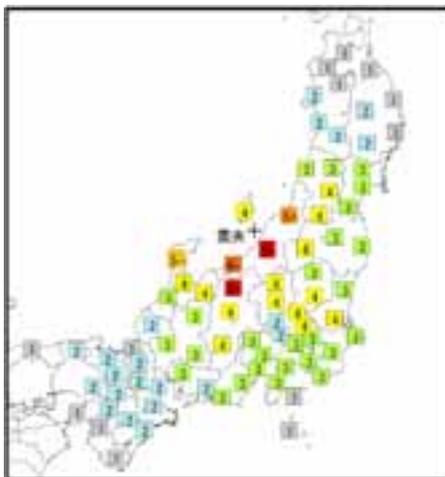
7月16日（日）午前10時13分に発生した「平成19年（2007年）新潟県中越沖地震」の被災者に対して、発生直後の行動や地震に対する意識などを把握することで、今後の防災対策の基礎資料として提供することを目的として実施した。

## 2 「平成19年（2007年）新潟県中越沖地震」について

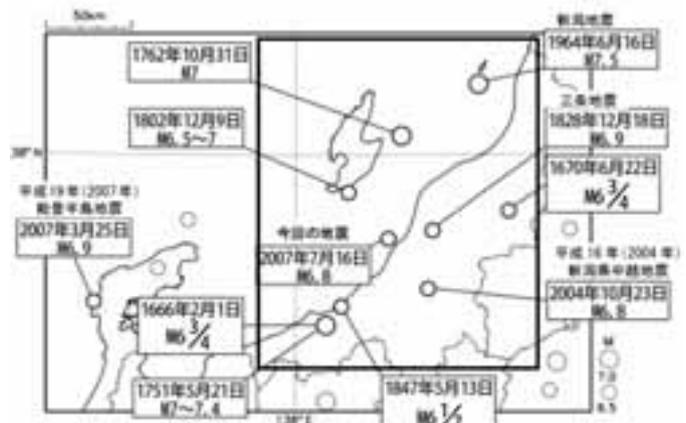
平成19年7月16日10時13分、新潟県上中越沖の深さ17kmを震源とするマグニチュード6.8（暫定値、以下同様）の地震が発生し、新潟県長岡市、柏崎市、刈羽村と長野県飯綱町で震度6強、新潟県上越市、小千谷市、出雲崎町で震度6弱を観測したほか、北陸地方を中心に東北地方から近畿・中国地方にかけて震度5強～1を観測した。

この地震により新潟県を中心に長野県、富山県で被害が生じた（死者11名、負傷者1,985名、住家全壊1,024棟、住家半壊1,441棟など／7月30日16時現在／総務省消防庁災害対策本部による）。

なお、気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から3.8秒後に、「新潟県の中越地方で震度5強程度以上が予想される」旨の緊急地震速報第1報を発信し、先行的に利用している機関に提供した。



（地域毎の震度分布）



（過去の主な地震活動）

※ 図は気象庁より提供

### 3 調査設計

(1) 調査地域

柏崎市内の被害が大きかった町丁目のうち 10 町丁目（地点）

(2) 調査対象者

調査地域に居住する 20 歳以上の男女個人 500 人（地点別の内訳は次頁「4 回収結果」参照）

※当該対象者が避難場所に転居しており、その場所が判明した場合は、調査を行った。

(3) 抽出方法

エリアサンプリング

(4) 調査方法

訪問面接法（一部、留置法を併用）

(5) 調査期間

平成 19 年 7 月 28 日（土）～ 8 月 3 日（金）

(6) 調査実施機関

株式会社サーベイリサーチセンター

### 4 調査内容

調査内容は以下の通り。

- ・被害について
- ・地震当日のことについて
- ・避難生活について
- ・地震についての情報について
- ・電話・インターネットについて
- ・地震に関する意識や体験について
- ・柏崎刈羽原子力発電所の事故について
- ・回答者属性

## 5 回収結果

回収結果は以下の通り。

| 地区名 | 世帯数   | 人口    | 人口構成比    | 回収数 | 備考          |
|-----|-------|-------|----------|-----|-------------|
| 西本町 | 705   | 1,866 | 19.17 %  | 96  | 1丁目/2丁目/3丁目 |
| 東本町 | 506   | 1,278 | 13.13 %  | 66  | 1丁目/2丁目/3丁目 |
| 中央町 | 180   | 462   | 4.75 %   | 24  |             |
| 栄町  | 328   | 843   | 8.66 %   | 43  |             |
| 新花町 | 206   | 485   | 4.98 %   | 25  |             |
| 大和町 | 182   | 464   | 4.77 %   | 24  |             |
| 中浜  | 411   | 1,137 | 11.68 %  | 58  | 1丁目/2丁目     |
| 番神  | 268   | 797   | 8.19 %   | 41  | 1丁目/2丁目     |
| 四谷  | 490   | 1,234 | 12.67 %  | 63  | 1丁目/2丁目/3丁目 |
| 比角  | 462   | 1,170 | 12.02 %  | 60  | 1丁目/2丁目     |
| 計   | 3,738 | 9,736 | 100.00 % | 500 |             |

## 6 調査協力

本調査は、東洋大学社会学部中村功教授をはじめ、関谷直也専任講師、日本大学文理学部中森広道准教授、株式会社社会安全研究所ヒューマンファクター研究部首藤由紀部長より、多大な協力を得て実施した。

## 7 集計にあたって

- 図表中の **n** は回答者の基数であり、その質問に回答すべき人数を表す。
- 回答比率 (%) は、小数点第 2 位を四捨五入して、小数点第 1 位までを表示している。このため、回答比率の合計が 100% にならないことがある。
- 2 つ以上の複数回答ができる設問では、回答比率の合計は原則として 100% を超える。
- 世帯主年齢別や家族構成別の分析では、基数が少ないために、標本誤差が大きくなり厳密な比較をすることが難しい場合がある。その場合は、得られた回答の割合の傾向をみる程度にとどめる。

## Ⅱ 調査結果のまとめ

## II. 調査結果のまとめ

東洋大学社会学部教授 中村 功

新潟県中越沖地震は、2007年7月16日（海の日）の午前10時13分ころ、新潟県上中越沖を震源として発生したマグニチュード6.8の地震である。この地震により、柏崎市、長岡市、刈羽村で震度6強の強い揺れを観測し、合計11名の犠牲者が発生した（内訳は、9名が家屋の下敷き、1名が火災、1名は転倒による外傷性硬膜血腫である。）。

本調査は、地震の直後に、特に被害の激しかった柏崎市の中心部の住民を対象に、地震時の行動や心理について聞いたものである。500名という多くの住民に、面接法を用いることで、詳細な項目についてたずねており、そのデータは貴重である。

今回の地震にはいくつかのポイントがあるが、調査ではそれぞれについて興味深い結果が出ている。

第一のポイントは、犠牲者が発生した構造である。すなわち、犠牲者のほとんど（11人中10人）が70歳以上の高齢者であったが、その原因は、高齢者が築年数の古い家に住んでおり、その倒壊によって犠牲となったのである。新潟県のまとめ（2007年9月26日現在）によると、柏崎市では884棟の住宅が全壊しているが、これは市内33849世帯のうちの2.6%である。被災地を歩いてみると古い家が選択的に倒壊しており、古い家が狙い打ちされているといった観があった。おそらくそうした古い家に高齢者が多く住んでいて、被害にあったのであろう。

本調査によると高齢者が築年数の古い家に住んでいる割合が高いことがわかる。とくに建築基準法がはじめて改正された、昭和34年以前に建てられた古い家に住んでいる人の割合が、70歳以上の年齢層で約2割と、高いことが注目される<sup>1)</sup>。こうした古い住宅は経年経過ばかりでなく、構造上の弱さによっても耐震性が劣っているのである。

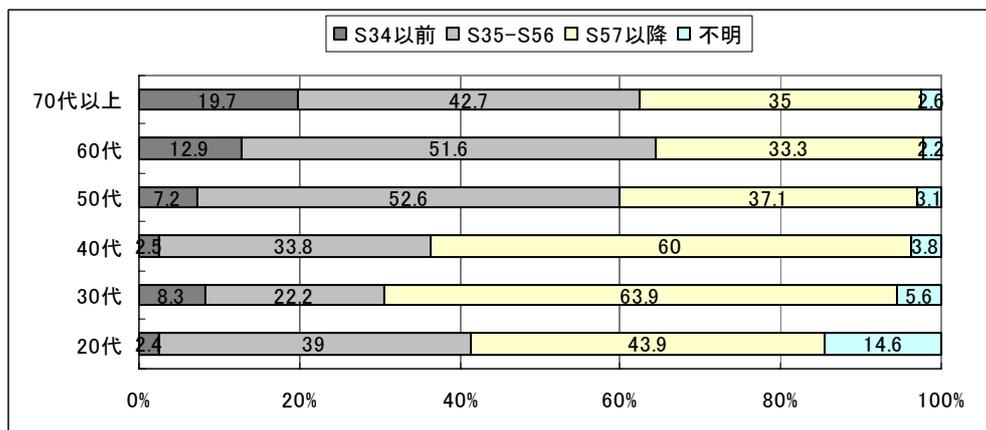


図1 回答者の年齢と自宅建築年

第二のポイントは原子力発電所の問題である。震源付近にあった柏崎刈羽発電所は、世界最大の原子力発電所であるが、原子力発電所がこれまで経験したことのない強い揺れにみまわれ、さまざまなトラブルが発生した。すなわち、微量とはいえ外部に放射能が漏れたこと、火災が発生し消火に手間取った

<sup>1)</sup> 昭和25（1950）年に作られた建築基準法は、たびたび改正され、その都度、より高い耐震性が設定されてきた。たとえば昭和34（1959）年や昭和56（1981）年の改正では、必要とされる壁量が増加し、昭和46（1971）年や平成12（2000）年の改正では基礎や接続部分の強化が図られている。

## II. 調査結果のまとめ

こと、ゆれの強さが想定外だったこと等々である。これらは地震と原子力災害が同時発生するという、「複合災害」の問題を顕在化させた。

この事態に対して、地元住民は当然のことながら不安や憤りを感じたはずである。しかし同時に、原子力事故時に住民の安全を守るための対策が十分だったのか、という防災的観点も重要である。原子力事故の際には、その程度に応じて、①屋内退避、②避難（またはコンクリート屋内退避）、③食物摂取制限、④ヨード剤の摂取などの対策があるが、いずれも情報伝達が鍵となる。さいわい今回はこれらが必要とする事態にはならなかったが、そこにいたるまでの情報伝達体制が機能していたのか、という問題である。

今回の調査では、8割近い人が原子力発電の安全性への疑問が高まったとし、原子力発電に対して反対する人も3割強増えている。

ここで注目されるのは情報伝達体制の不備についてである。すなわち、住民が発電所の火災や放射能漏れについて知ったのはほとんどがマスコミ経由で、防災行政無線や電力会社から知った人が極めて少数だったのである。もちろん火災の発生や放射能漏れ自体は避難に直結するものではないし、また法律的にも伝達する事項（原子力災害対策特別措置法の「10条通報」）ではなかったのかもしれない。しかし行政や事業者はこうしたトラブルの発生をただちに住民に伝え、少なくとも今後の情報に注意することを促すべきだったのではないだろうか。実際、今回の原子力事故で問題と思うことを住民にたずねたところ、「東京電力の報告・情報伝達が遅すぎる」と情報伝達の遅れを指摘する人が6割以上おり、「トラブルが多すぎる」「原子力発電所の下に活断層がある」となると、最も多くの人の問題として指摘しているのである。

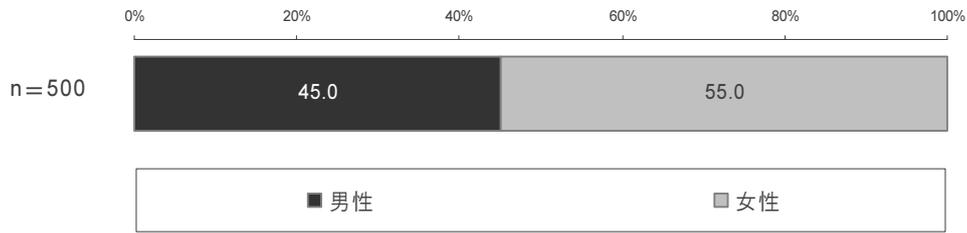
第三のポイントは、2007年10月から一般供用がはじまった緊急地震速報の活用について、何らかの教訓があるのではないかと、ということである。まずこの情報の認知度だが、「知っている」という人が38%おり、さらに「名前だけは知っている」という人が34%いた。供用開始前にしては実に多くの人を知っている状況といえる。次に、もし10秒くらい前に大地震がくるとの情報を知ったら何ができたと思うか、をたずねたところ、「火を消す」となると「外に飛び出す」が最も多い回答であった。しかしこの2つの行動、とりわけ後者はかならずしも勧められる行動でない。というのは、今回の地震では転倒やあわてて飛び出そうとして、亡くなったり、ケガをした人が少なくなかったからである。すなわち11人の死者のうち、一人は転倒によるケガが原因であったし、今回の調査でもケガをした人のうち33.8%は「転んだり落ちたり」してケガをしており、27.9%が「外に逃げようとして」ケガをしているのである。緊急地震速報の伝達にあたっては、集客施設での集合的パニックや車の追突などが心配されているが、このように家庭で個人があわてて外に飛び出そうとするといった、いわば「一人パニック」による弊害が、あながい多く発生するかもしれない。

そして第四は、今回の被災地が3年前の中越地震でも被害を受けていた、ということである。柏崎市では震度5弱の揺れを観測し、25世帯が全壊、66人の負傷者が出ている。地震が短い間隔で再来したわけだが、前回の経験はどう生かされたのであろうか。今回の調査では、地震前の家具固定率は33.2%であった（「一部固定」あるいは「大部分固定」と細かく聞くと38.4%である）。この数字を他地域と比べると、東京では27.8%（東京消防庁調査）、十勝沖地震（東京経済大調査）では30.3%、仙台市では25.1%（東大宮城県沖地震調査）と、東日本の地震警戒地域とほぼ同様の数字といえる。一方福岡県西方沖地震時では6.6%（サーベイリサーチ調査）、芸予地震時で8.6%（東京大学調査）と西日本では低くなっている。ただ、2004年の中越地震被災地では地震前の家具固定率が6.7%（東京大学調査）と西日本なみに低かったことを考えると、中越地震で柏崎における対策が進んだといえるだろう。しかし、今回のような大きな地震がこの地域で起きると考えていた人は1割程度と少数で、身近な地震の経験がある地域でも、油断がなかったとはいえない。

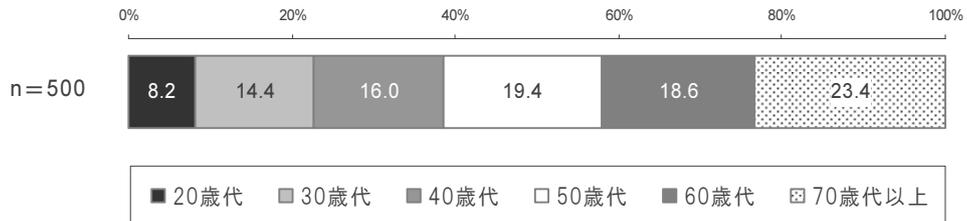
## Ⅲ 調査回答者の属性

## Ⅲ. 調査回答者の属性

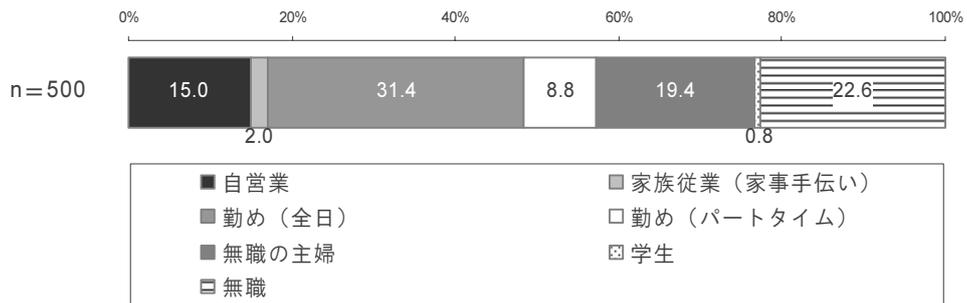
(性別)



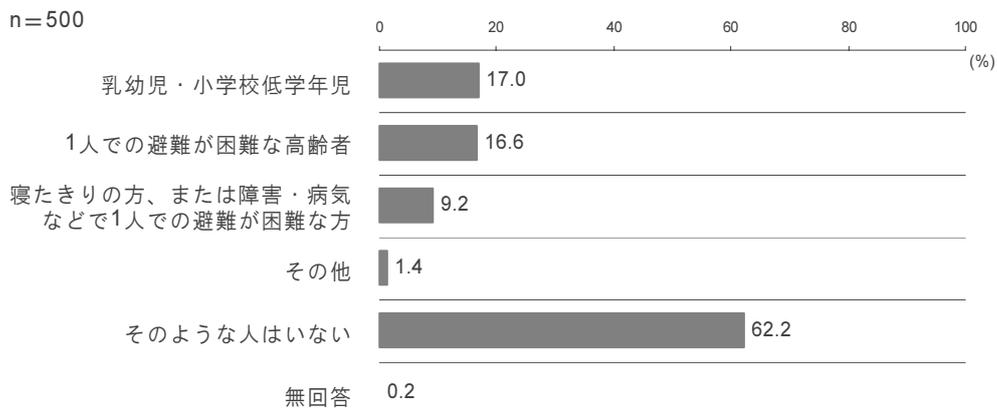
(年齢)



(職業)



(避難援助が必要な方の有無)

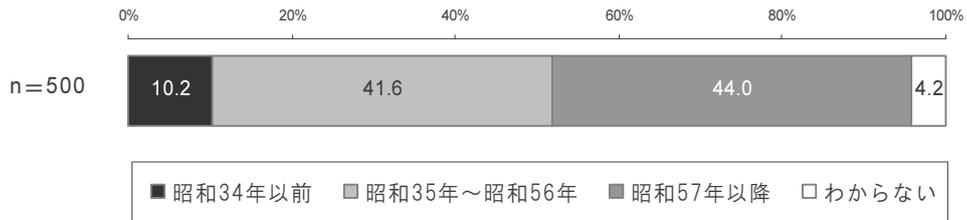


### Ⅲ. 調査回答者の属性

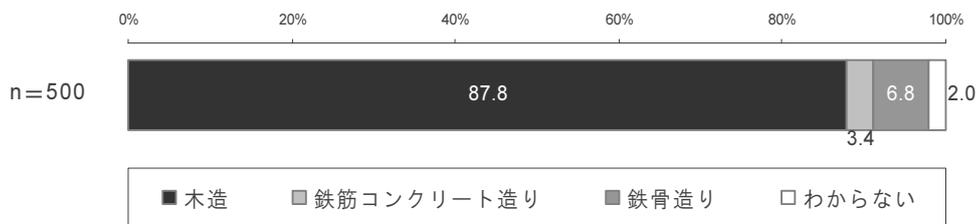
#### (住居の形態)



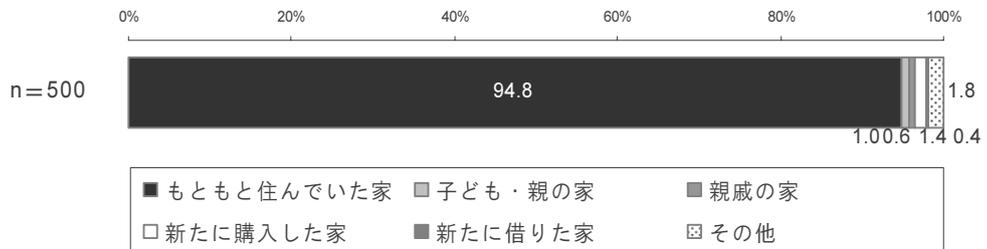
#### (住居の持ち年数)



#### (住居の構造)



#### (現在の住居地)



## **IV 調査結果**

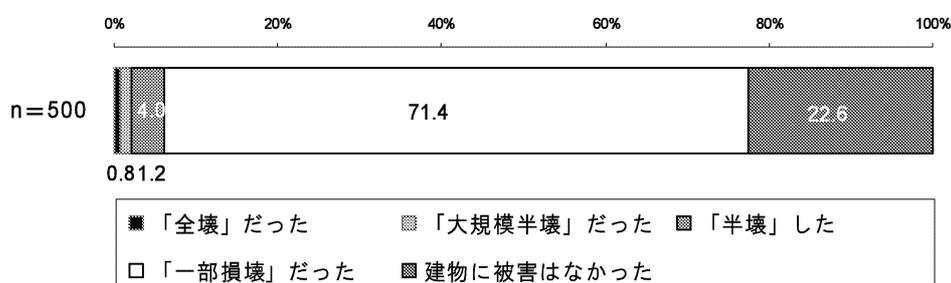
## IV. 調査結果

### 1 被害について

#### (1) 自宅被害

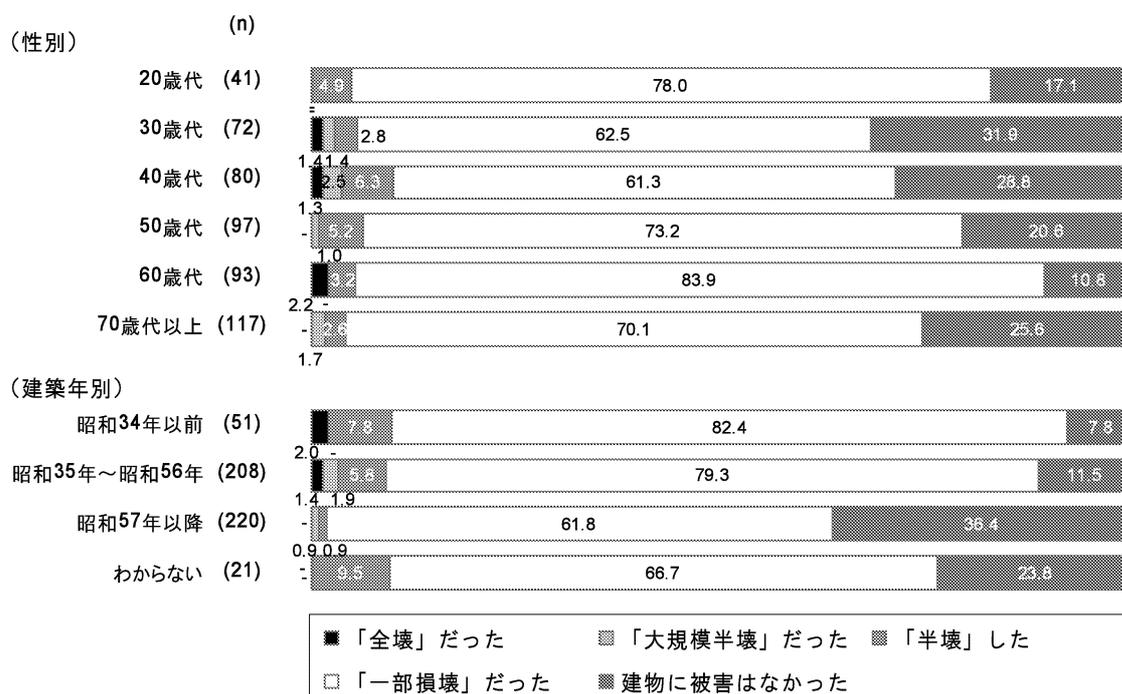
##### 「一部損壊」7割強

問1 今回の地震で、あなたが住んでいた建物は、何か被害がありましたか。あてはまるものを1つ選んでください。



自宅の被害については、「一部損壊」だった(71.4%)との回答が最も高く7割強を占めた。「全壊」だった、「大規模半壊」だった、「半壊」だったを合わせた何かしら被害を受けたという回答は77.4%であった。一方、「建物に被害はなかった」(22.6%)が2割強であった。

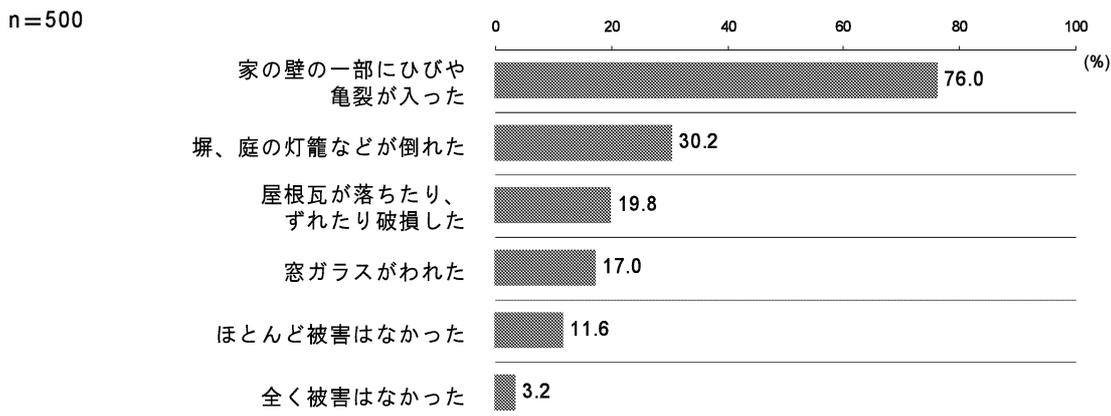
#### [属性別集計結果 (年齢別/建築年別)]



(2) 住居の被害状況

「家の壁の一部にひびや亀裂」7割台半ば

問2 お宅では家屋（建物）に被害がありましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



自宅の家屋（建物）内の被害については、「家の壁の一部にひびや亀裂が入った」（76.0%）との回答が最も高く7割台半ばを占めた。次いで「塀、庭の灯笼などが倒れた」（30.2%）が3割、「屋根瓦が落ちたり、ずれたり破損した」（19.8%）、「窓ガラスが割れた」（17.0%）が2割弱であった。

建築年別にみると、「家の壁の一部にひびや亀裂が入った」との回答は昭和34年以前（90.2%）で9割、昭和35年～昭和56年（88.5%）で9割弱と高い。これに対し、「ほとんど被害はなかった」との回答は昭和57年以降（21.8%）で2割強となり、他の建築年と比べて高い。

[属性別集計結果（年齢別／建築年別）]

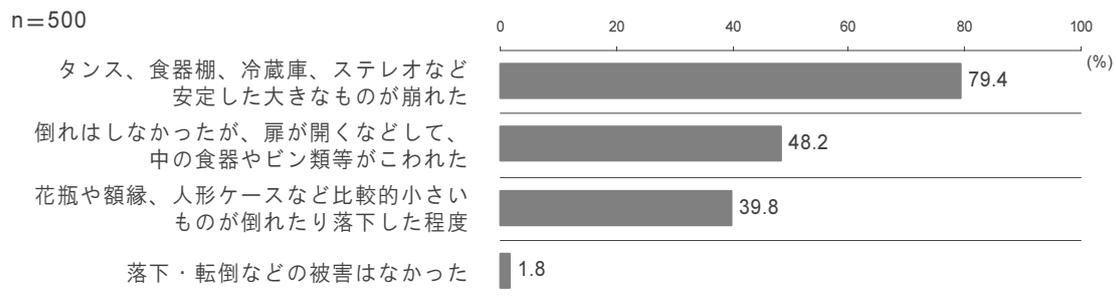
|             | 調査数    | ず屋<br>れ根<br>た瓦<br>が落<br>ちし<br>たり、 | 窓<br>ガ<br>ラ<br>ス<br>が<br>わ<br>れ<br>た | や家<br>亀<br>裂<br>の<br>壁<br>が<br>入<br>っ<br>た<br>に<br>ひ<br>び | 倒<br>塀<br>れ<br>た<br>庭<br>の<br>灯<br>籠<br>な<br>ど<br>が | かほ<br>つと<br>た<br>ん<br>ど<br>被<br>害<br>は<br>な | 全<br>く<br>被<br>害<br>は<br>な<br>か<br>つ<br>た |     |
|-------------|--------|-----------------------------------|--------------------------------------|---|---|---|---|-----|
| 全体          | 500    | 19.8                              | 17.0                                 | 76.0  | 30.2  | 11.6  | 3.2                                       |     |
| 年齢別         | 20歳代   | 41                                | 29.3                                 | 9.8   | 82.9  | 34.1  | 4.9                                       | 4.9 |
|             | 30歳代   | 72                                | 12.5                                 | 15.3  | 66.7  | 31.9  | 23.6                                      | 4.2 |
|             | 40歳代   | 80                                | 16.3                                 | 17.5  | 73.8  | 17.5  | 18.8                                      | 1.3 |
|             | 50歳代   | 97                                | 20.6                                 | 16.5  | 76.3  | 24.7  | 10.3                                      | 3.1 |
|             | 60歳代   | 93                                | 24.7                                 | 11.8  | 83.9  | 36.6  | 3.2                                       | 2.2 |
|             | 70歳代以上 | 117                               | 18.8                                 | 24.8  | 74.4  | 35.9  | 9.4                                       | 4.3 |
|             | 建築年別   | 昭和34年以前                           | 51                                   | 25.5  | 25.5  | 90.2  | 33.3                                      | 3.9 |
| 昭和35年～昭和56年 |        | 208                               | 26.4                                 | 20.2  | 88.5  | 33.2  | 2.9                                       | 1.0 |
| 昭和57年以降     |        | 220                               | 11.4                                 | 10.5  | 60.9  | 28.2  | 21.8                                      | 5.9 |
| わからない       |        | 21                                | 28.6                                 | 33.3  | 76.2  | 14.3  | 9.5                                       | 4.8 |

(全体と比べて10ポイント以上高いものに 網掛け)

## (3) 自宅の中の状況

## 「安定した大きなものが崩れた」8割

問3 では、家具などの家の中はどのような状況でしたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



自宅の中の状況については、「タンス、食器棚、冷蔵庫、ステレオなど安定した大きなものが崩れた」(79.4%)との回答が最も高く8割弱を占めた。次いで「倒れはしなかったが、扉が開くなどして、中の食器やビン類等がこわれた」(48.2%)が5割弱、「花瓶や額縁、人形ケースなど比較的小さいものが倒れたり落下した程度」(39.8%)が4割弱であった。

## [属性別集計結果 (年齢別/建築年別)]

|      | 調査数         | タンス、食器棚、冷蔵庫、ステレオなど安定した大きなものが崩れた | 器が倒れはしなかったが、扉が開くなどして、中の食器やビン類等がこわれた | 倒れたり比較的小さいものが倒れたり落下した程度 | 害はなかつたなどの被害 |     |
|------|-------------|---------------------------------|-------------------------------------|-------------------------|-------------|-----|
| 全体   | 500         | 79.4                            | 48.2                                | 39.8                    | 1.8         |     |
| 年齢別  | 20歳代        | 41                              | 80.5                                | 56.1                    | 19.5        | 4.9 |
|      | 30歳代        | 72                              | 75.0                                | 47.2                    | 34.7        | 1.4 |
|      | 40歳代        | 80                              | 82.5                                | 46.3                    | 35.0        | 1.3 |
|      | 50歳代        | 97                              | 83.5                                | 52.6                    | 38.1        | 1.0 |
|      | 60歳代        | 93                              | 87.1                                | 38.7                    | 40.9        | 1.1 |
|      | 70歳代以上      | 117                             | 70.1                                | 51.3                    | 53.8        | 2.6 |
| 建築年別 | 昭和34年以前     | 51                              | 74.5                                | 51.0                    | 52.9        | -   |
|      | 昭和35年～昭和56年 | 208                             | 85.1                                | 51.0                    | 37.0        | -   |
|      | 昭和57年以降     | 220                             | 75.9                                | 45.9                    | 41.8        | 3.6 |
|      | わからない       | 21                              | 71.4                                | 38.1                    | 14.3        | 4.8 |

(全体と比べて10ポイント以上高いものに 網掛け)

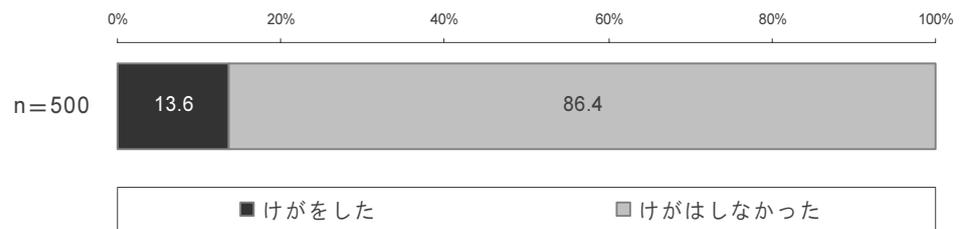
#### IV. 調査結果

### (4) けがについて

#### ① けがの有無

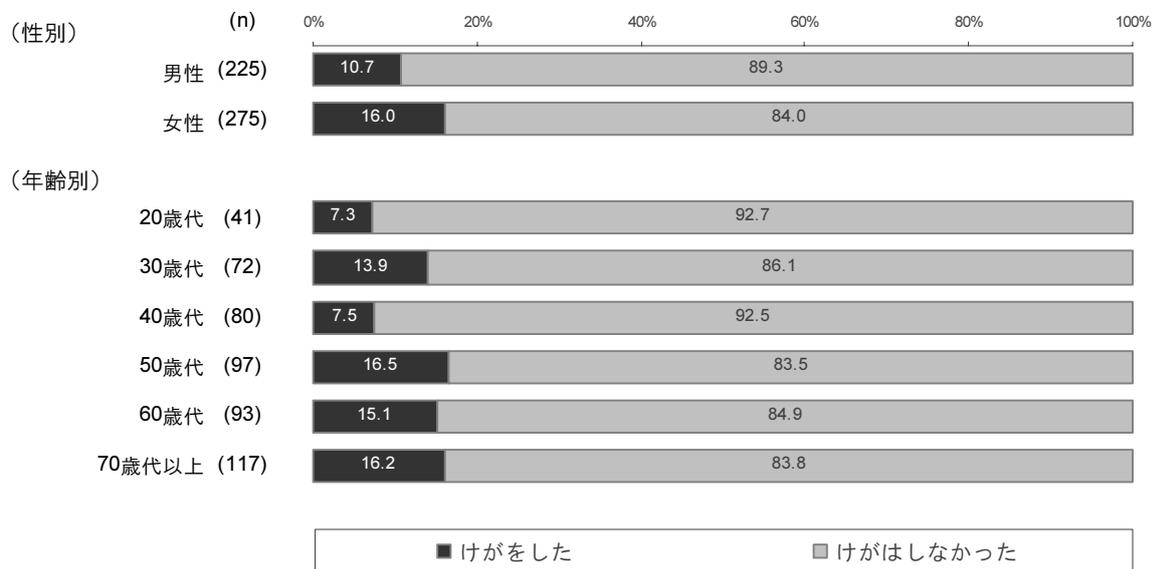
#### 「けがをした」1割強

問4 あなたは、地震でけがをしましたか。あてはまるものを1つ選んでください。



地震でけがをしたかどうか尋ねたところ、「けがをした」との回答は13.6%であった。

#### [属性別集計結果 (性別/年齢別)]



## ② けがをした要因

## 「転んだり落ちたりした」3割強

## 問4-1 (問4で「1. けがをした」と回答した方にお聞きします)

どのようにしてけがをしたのですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



けがをしたと回答した68人に対して、どのようにしてけがをしたのか尋ねたところ、「転んだり落ちたりした」(33.8%)との回答が3割強で最も高く、次いで「ガラス・食器などの破片で」(29.4%)、「外に逃げようとして」(27.9%)も3割弱で続いている。

## [属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|        | 調査数 | た転んだり落ちたりした | 家具の転倒 | の照明・壁・天井などの落下 | 破ガラス・食器などの破片で | の塀・自動販売機などの転倒 | 倒看板・ベランダの転 | や熱湯・油などによる | 外に逃げようとして | その他  |
|--------|-----|-------------|-------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|-----------|------|
| 全体     | 68  | 33.8        | 17.6  | -             | 29.4          | -             | -          | -          | 27.9      | 16.2 |
| 性別     |     |             |       |               |               |               |            |            |           |      |
| 男性     | 24  | 20.8        | 29.2  | -             | 37.5          | -             | -          | -          | 29.2      | 12.5 |
| 女性     | 44  | 40.9        | 11.4  | -             | 25.0          | -             | -          | -          | 27.3      | 18.2 |
| 年齢別    |     |             |       |               |               |               |            |            |           |      |
| 20歳代   | 3   | 100.0       | -     | -             | -             | -             | -          | -          | -         | -    |
| 30歳代   | 10  | 20.0        | 20.0  | -             | 50.0          | -             | -          | -          | 20.0      | 40.0 |
| 40歳代   | 6   | 16.7        | 16.7  | -             | 50.0          | -             | -          | -          | 50.0      | -    |
| 50歳代   | 16  | 25.0        | 12.5  | -             | 25.0          | -             | -          | -          | 37.5      | 18.8 |
| 60歳代   | 14  | 50.0        | -     | -             | 28.6          | -             | -          | -          | 21.4      | 28.6 |
| 70歳代以上 | 19  | 31.6        | 36.8  | -             | 21.1          | -             | -          | -          | 26.3      | -    |

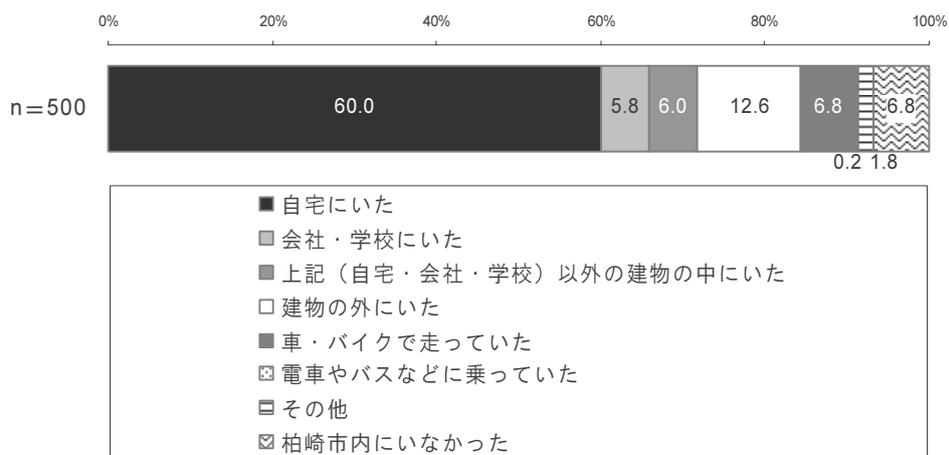
(全体と比べて10ポイント以上高いものに 網掛け)

## 2 地震当日のことについて

## (1) 地震発生時の居場所

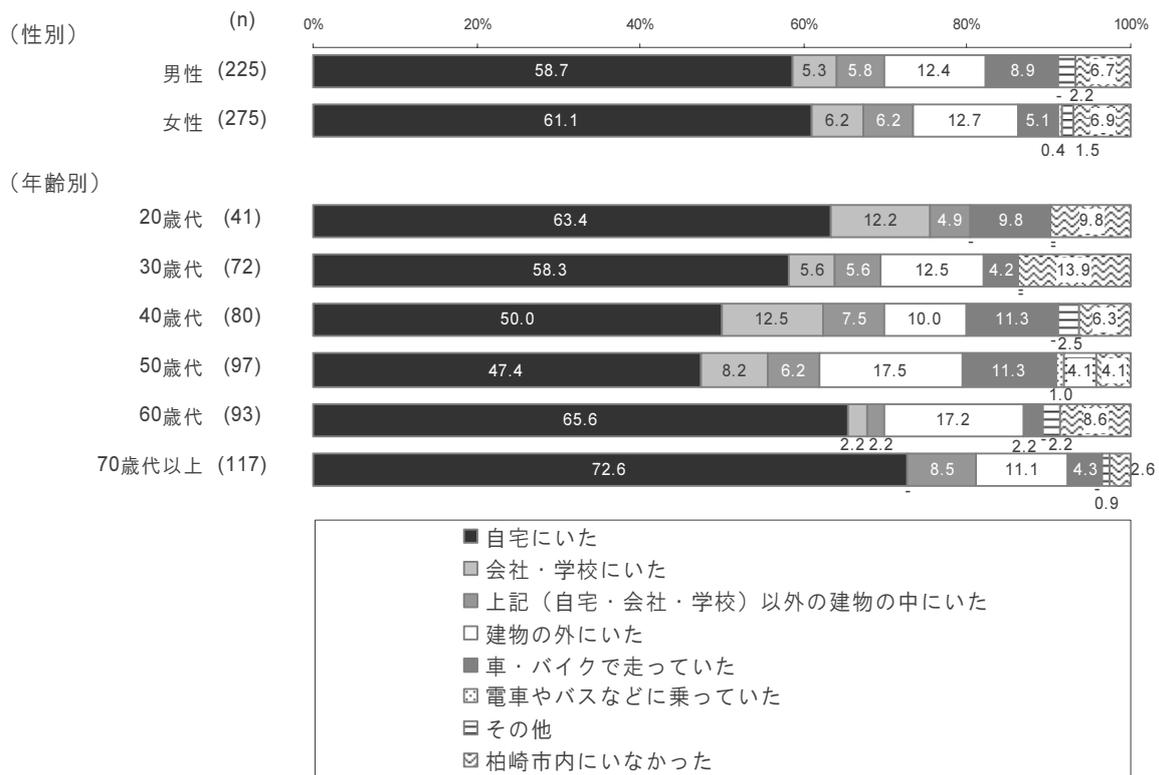
## 地震発生時に「自宅にいた」6割

問5 地震が起きたとき、あなたはどこにいましたか。あてはまるものを1つ選んでください。



地震が起きたときにいた場所については、「自宅にいた」(60.0%)との回答が最も高く6割を占め、「会社・学校にいた」(5.8%)、「上記(自宅・会社・学校)以外の建物の中にいた」(6.0%)を合わせると、地震発生時には7割が屋内にいたことになる。

[属性別集計結果 (性別/年齢別)]



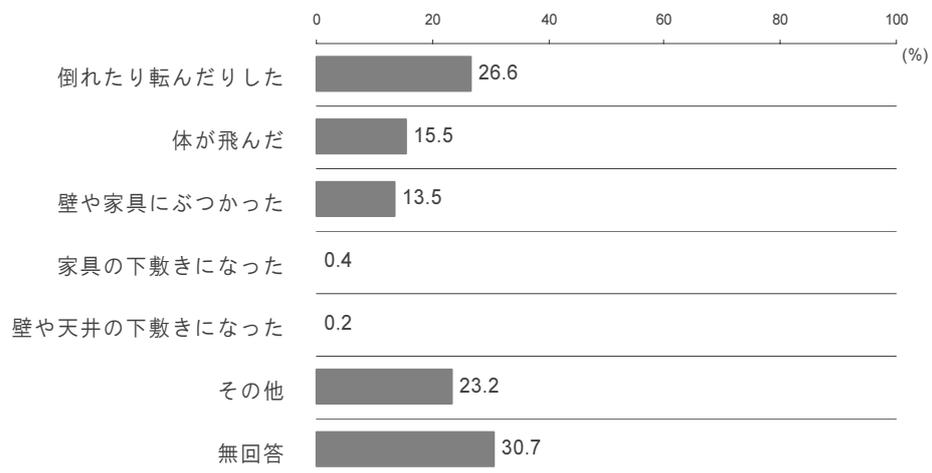
#### IV. 調査結果

### (2) 地震発生時の身体の状態

#### 「倒れたり転んだりした」2割台半ば

問6 地震が起きたとき、あなたの体はどんな状態になりましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

n=466



地震が起きたとき、身体の状態がどうなったかを尋ねたところ、「倒れたり転んだりした」(26.6%)との回答が最も高く2割台半ば、次いで「体が飛んだ」(15.5%)、「壁や家具にぶつかった」(13.5%)が高い。

[属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|        | 調査数 | 体が飛んだ | 倒れたり転んだりした | 壁や家具にぶつかった | 壁や天井の下敷きになった | 家具の下敷きになった | その他  | 無回答  |
|--------|-----|-------|------------|------------|--------------|------------|------|------|
| 全体     | 466 | 15.5  | 26.6       | 13.5       | 0.2          | 0.4        | 23.2 | 30.7 |
| 性別     |     |       |            |            |              |            |      |      |
| 男性     | 210 | 17.1  | 24.8       | 11.4       | 0.5          | 0.5        | 20.0 | 34.8 |
| 女性     | 256 | 14.1  | 28.1       | 15.2       | -            | 0.4        | 25.8 | 27.3 |
| 年齢別    |     |       |            |            |              |            |      |      |
| 20歳代   | 37  | 10.8  | 32.4       | 21.6       | -            | -          | 21.6 | 24.3 |
| 30歳代   | 62  | 17.7  | 25.8       | 22.6       | 1.6          | -          | 24.2 | 24.2 |
| 40歳代   | 75  | 12.0  | 18.7       | 9.3        | -            | -          | 33.3 | 32.0 |
| 50歳代   | 93  | 16.1  | 26.9       | 18.3       | -            | 1.1        | 26.9 | 23.7 |
| 60歳代   | 85  | 16.5  | 32.9       | 8.2        | -            | -          | 20.0 | 31.8 |
| 70歳代以上 | 114 | 16.7  | 25.4       | 8.8        | -            | 0.9        | 15.8 | 40.4 |

(全体と比べて10ポイント以上高いものに 網掛け)

## (3) 揺れている間の行動

## 「歩けなかった（動けなかった）」3割台半ば

問7 地震が起ってから揺れがおさまるまでの間、とっさにどんなことができましたか。1番目から3番目まで1つずつ選んでください。

n=466



#### IV. 調査結果

地震が起こってから揺れがおさまるまでの間に、とっさにどんなことができたかについて、1番目から3番目まで順番に尋ねた。

まず、1番目にできた行動としては、「歩けなかった（動けなかった）」（36.1%）との回答が最も高く3割台半ば、「じっと様子を見ていた」（20.2%）が高く、大きな揺れで何もできなかった人が多かったようだ。「頑丈なものにつかまって身を支えた」（10.3%）は1割であった。

次に、2番目にできた行動でも同様に、「じっと様子を見ていた」（22.1%）との回答が最も高く、次いで「歩けなかった（動けなかった）」（16.7%）、「何もしなかった（できなかった）」（12.4%）が上位となった。

3番目にできた行動では、「何もしなかった（できなかった）」（32.0%）との回答が最も高く3割強となる。なお、「まわりの人の安全を確かめようとした」（16.1%）、「安全な場所に避難した」（11.2%）といった行動が1割を超えた。一方、「家や建物の外に飛び出した」（10.7%）との回答も1割を超えた。

[合計：属性別集計結果（性別／年齢別）]

|        | 調査数 | たじっと様子を見ていた | 歩けなかった（動けなかった） | 火の始末をしたり、ガスの元栓を締めた | 家具や壊れ物を押さえた | 安全な場所につかまり、身を固めた | 頑丈なものにつかまって身を支えた | 子供や老人、病人などを保護した | 戸、窓などを開けた | 家や建物の外に飛び出した | 建物の中に飛び込んだ | 安全な場所に避難した | 車・バイクを止めた | まわりの人の安全を確かめた | 無我夢中でおぼえていない |
|--------|-----|-------------|----------------|--------------------|-------------|------------------|------------------|-----------------|-----------|--------------|------------|------------|-----------|---------------|--------------|
| 全体     | 466 | 55.0        | 55.4           | 9.1                | 3.4         | 9.6              | 18.9             | 15.7            | 4.1       | 26.2         | 1.0        | 15.2       | 6.2       | 26.9          | 3.4          |
| 性別     |     |             |                |                    |             |                  |                  |                 |           |              |            |            |           |               |              |
| 男性     | 210 | 63.7        | 48.6           | 7.6                | 3.8         | 7.7              | 16.7             | 12.8            | 3.9       | 23.3         | 0.5        | 17.1       | 8.6       | 27.6          | 2.5          |
| 女性     | 256 | 47.6        | 60.9           | 10.2               | 3.1         | 11.3             | 20.7             | 17.9            | 4.3       | 28.5         | 1.6        | 13.6       | 4.3       | 26.1          | 4.4          |
| 年齢別    |     |             |                |                    |             |                  |                  |                 |           |              |            |            |           |               |              |
| 20歳代   | 37  | 37.8        | 54.0           | 16.2               | 10.8        | 8.1              | 21.6             | 16.2            | 8.1       | 37.8         | -          | 10.8       | 8.1       | 37.8          | 2.7          |
| 30歳代   | 62  | 46.8        | 46.8           | 8.0                | 8.0         | 9.7              | 17.7             | 27.4            | 4.8       | 19.3         | -          | 16.1       | 6.4       | 29.0          | 3.2          |
| 40歳代   | 75  | 58.7        | 49.4           | 12.0               | 2.6         | 10.7             | 14.7             | 24.0            | 5.3       | 26.6         | 1.3        | 13.4       | 10.7      | 34.7          | 5.3          |
| 50歳代   | 93  | 54.9        | 53.7           | 6.5                | 2.2         | 10.8             | 21.6             | 14.0            | 4.4       | 26.9         | 1.1        | 21.5       | 9.7       | 28.0          | 1.1          |
| 60歳代   | 85  | 48.2        | 60.1           | 8.3                | 2.4         | 16.5             | 17.7             | 15.3            | 2.4       | 30.6         | -          | 25.9       | 1.2       | 25.9          | 1.2          |
| 70歳代以上 | 114 | 67.6        | 62.3           | 8.0                | 0.9         | 3.5              | 20.2             | 5.3             | 2.7       | 21.9         | 2.7        | 4.4        | 3.5       | 16.7          | 6.2          |

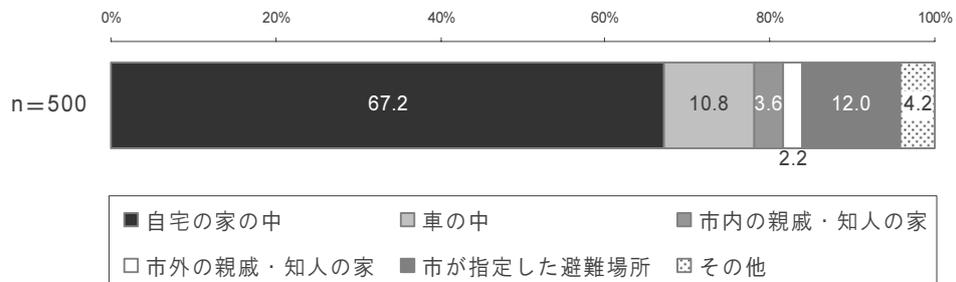
|        | 調査数 | その他 | 何もしなかった（で |
|--------|-----|-----|-----------|
| 全体     | 466 | 3.9 | 46.1      |
| 性別     |     |     |           |
| 男性     | 210 | 2.4 | 53.3      |
| 女性     | 256 | 5.1 | 40.2      |
| 年齢別    |     |     |           |
| 20歳代   | 37  | 2.7 | 27.0      |
| 30歳代   | 62  | 6.4 | 50.0      |
| 40歳代   | 75  | 4.0 | 26.7      |
| 50歳代   | 93  | 3.3 | 40.9      |
| 60歳代   | 85  | 1.2 | 43.5      |
| 70歳代以上 | 114 | 5.3 | 69.3      |

(全体と比べて10ポイント以上高いものに  網掛け)

## (4) 地震当日の夜、過ごした場所

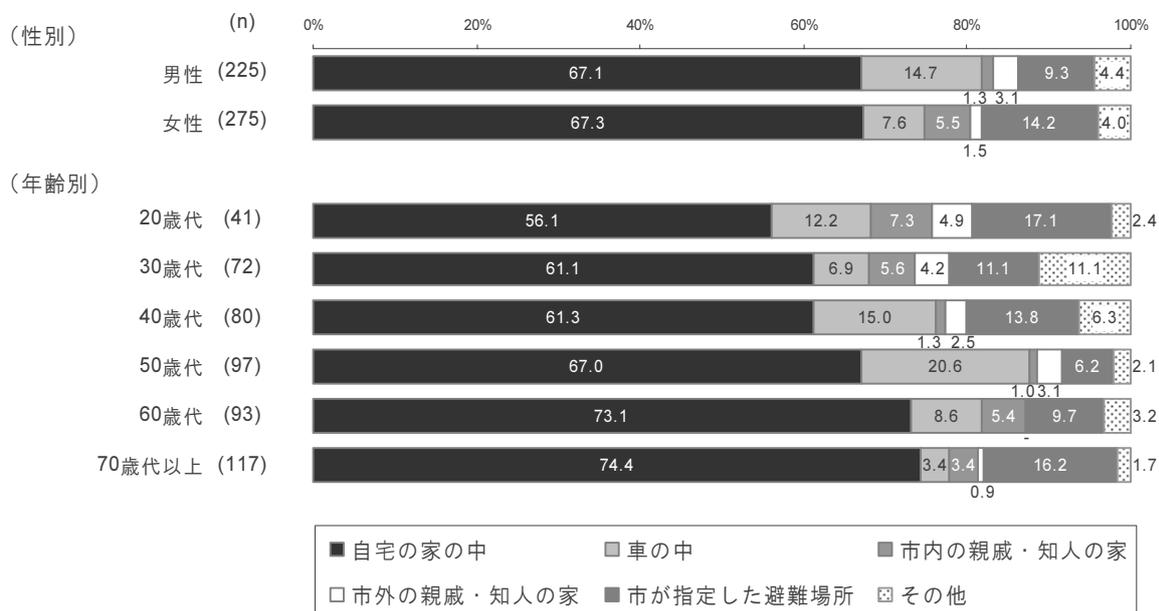
## 「自宅の家の中」6割台半ば

問8 地震が起こった日の夜、あなたはどこで過ごしましたか。あてはまるものを1つ選んでください。



地震が起こった日の夜、どこで過ごしたか尋ねたところ、「自宅の家の中」(67.2%)との回答が最も高く7割弱を占めた。次いで「市が指定した避難場所」(12.0%)、「車の中」(10.8%)との回答が1割程度であった。

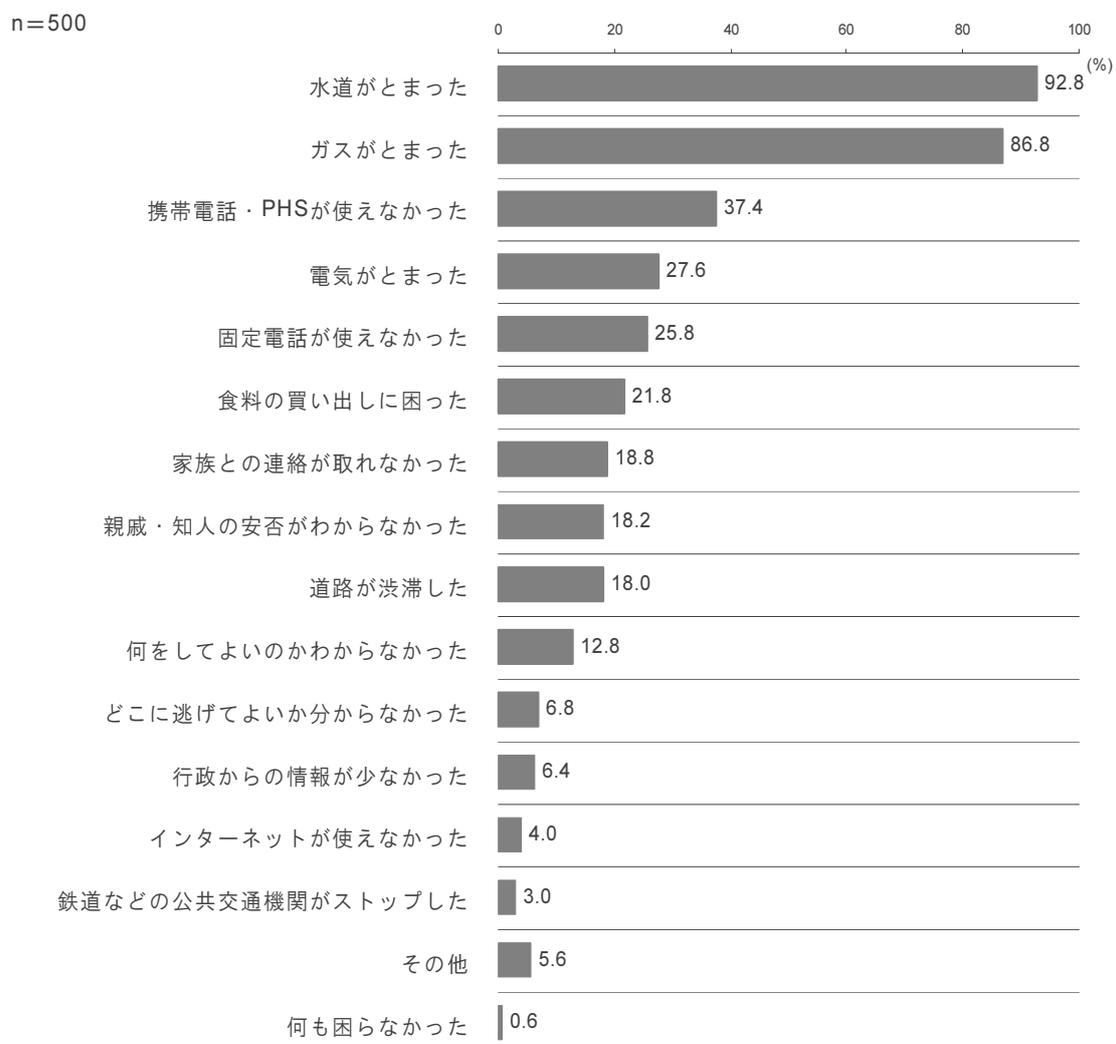
## [属性別集計結果 (性別/年齢別)]



## (5) 地震当日、困ったこと

## 「水道がとまった」9割強、「ガスがとまった」8割台半ば

問9 地震当日、あなたにとって困ったことは何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



地震当日困ったこととしては、「水道がとまった」(92.8%)との回答が最も高く9割強、次いで「ガスがとまった」(86.8%)が8割台半ばと大半を占めた。また、これらに次いで「携帯電話・PHSが使えなかった」(37.4%)、「電気がとまった」(27.6%)、「固定電話が使えなかった」(25.8%)などが続き、ライフラインに関する回答が上位を占めた。

## [属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|        | 調査数 | どこに逃げてよいか | 行政からの情報が少なかった | 機関などの公共交通 | 鉄道などの公共交通 | 道路が渋滞した | 電気がとまった | ガスがとまった | 水道がとまった | 固定電話が使えなかった | 携帯電話・PHSが使えなかった | インターネットが使えなかった | 食料の買い出しに困った | 何をしていたかわからなかった | 家族との連絡が取れなかった | 親戚・知人の安否がわからなかった |
|--------|-----|-----------|---------------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|-------------|-----------------|----------------|-------------|----------------|---------------|------------------|
| 全体     | 500 | 6.8       | 6.4           | 3.0       | 18.0      | 27.6    | 86.8    | 92.8    | 25.8    | 37.4        | 4.0             | 21.8           | 12.8        | 18.8           | 18.2          |                  |
| 性別     |     |           |               |           |           |         |         |         |         |             |                 |                |             |                |               |                  |
| 男性     | 225 | 5.8       | 7.6           | 3.6       | 20.9      | 32.0    | 89.8    | 94.7    | 25.3    | 36.0        | 3.6             | 22.2           | 9.3         | 19.1           | 17.3          |                  |
| 女性     | 275 | 7.6       | 5.5           | 2.5       | 15.6      | 24.0    | 84.4    | 91.3    | 26.2    | 38.5        | 4.4             | 21.5           | 15.6        | 18.5           | 18.9          |                  |
| 年齢別    |     |           |               |           |           |         |         |         |         |             |                 |                |             |                |               |                  |
| 20歳代   | 41  | 4.9       | 4.9           | 7.3       | 36.6      | 34.1    | 78.0    | 87.8    | 9.8     | 46.3        | 2.4             | 22.0           | 9.8         | 29.3           | 19.5          |                  |
| 30歳代   | 72  | 4.2       | 5.6           | 1.4       | 22.2      | 18.1    | 83.3    | 91.7    | 23.6    | 61.1        | 1.4             | 18.1           | 8.3         | 23.6           | 20.8          |                  |
| 40歳代   | 80  | 8.8       | 10.0          | 3.8       | 17.5      | 35.0    | 73.8    | 88.8    | 25.0    | 52.5        | 7.5             | 22.5           | 12.5        | 27.5           | 15.0          |                  |
| 50歳代   | 97  | 6.2       | 7.2           | 2.1       | 23.7      | 28.9    | 91.8    | 94.8    | 27.8    | 42.3        | 5.2             | 19.6           | 16.5        | 16.5           | 20.6          |                  |
| 60歳代   | 93  | 6.5       | 4.3           | 3.2       | 11.8      | 25.8    | 90.3    | 95.7    | 38.7    | 35.5        | 5.4             | 22.6           | 11.8        | 20.4           | 20.4          |                  |
| 70歳代以上 | 117 | 8.5       | 6.0           | 2.6       | 9.4       | 26.5    | 94.0    | 94.0    | 21.4    | 6.8         | 1.7             | 24.8           | 14.5        | 6.8            | 14.5          |                  |

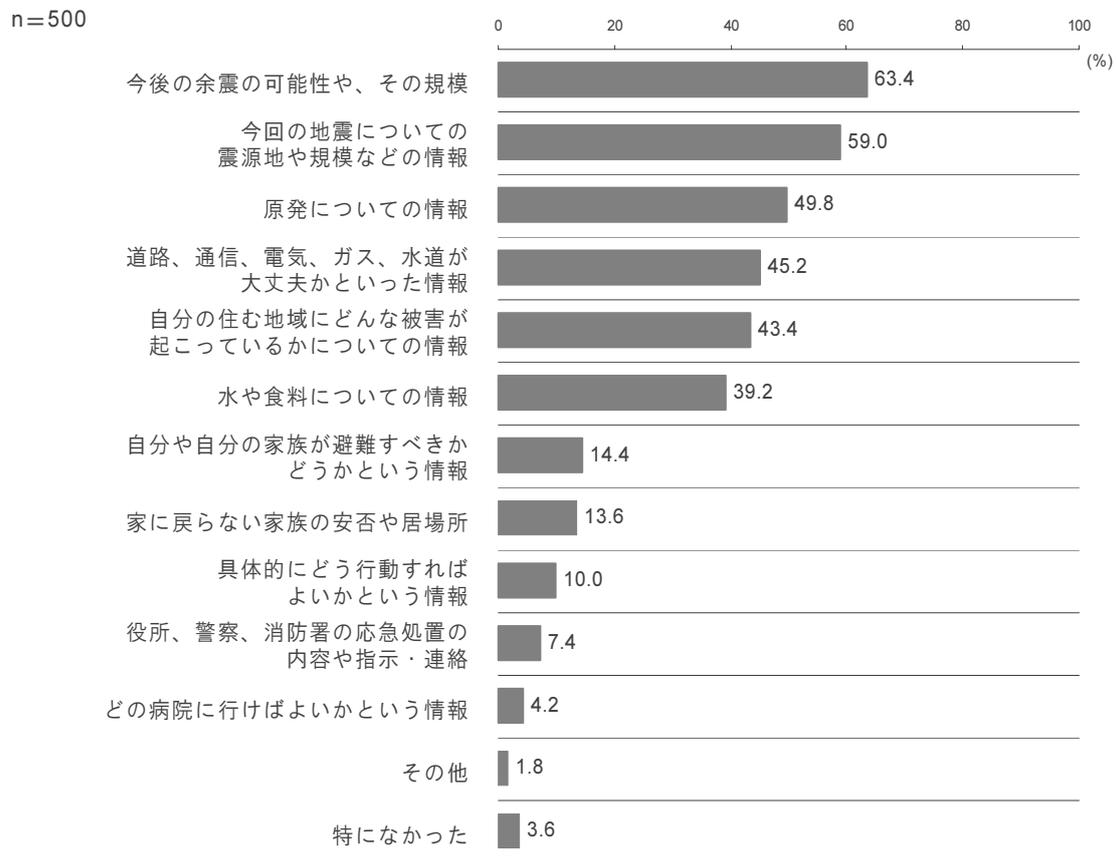
|        | 調査数 | その他  | 何も困らなかった |
|--------|-----|------|----------|
| 全体     | 500 | 5.6  | 0.6      |
| 性別     |     |      |          |
| 男性     | 225 | 4.9  | -        |
| 女性     | 275 | 6.2  | 1.1      |
| 年齢別    |     |      |          |
| 20歳代   | 41  | 4.9  | -        |
| 30歳代   | 72  | 11.1 | -        |
| 40歳代   | 80  | 1.3  | -        |
| 50歳代   | 97  | 7.2  | -        |
| 60歳代   | 93  | 2.2  | -        |
| 70歳代以上 | 117 | 6.8  | 2.6      |

(全体と比べて 10 ポイント以上高いものに  網掛け)

## (6) 地震直後の情報ニーズ

## 「余震の可能性やその規模」6割強、「震源地や規模」6割弱

問10 地震直後、あなたはどのようなことを知りたかったですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



地震直後、知りたかった情報としては、「今後の余震の可能性や、その規模」(63.4%)との回答が最も高く6割強、次いで「今回の地震についての震源地や規模などの情報」(59.0%)が6割弱を占めており、地震そのものについての情報を望む声が高い。これらに次いで「原発についての情報」(49.8%)、「道路、通信、電気、ガス、水道が大丈夫かといった情報」(45.2%)、「自分の住む地域にどんな被害が起きているかについての情報」(43.4%)、「水や食料についての情報」(39.2%)が高い。

## [属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|        | 調査数 | 今回の地震の震源地や規模などについて | 今後の余震の規模の可能性 | 避難すべきかどうか | 自分や自分の家族が | いかに被害が起つて | 自分の住む地域にど | 家に戻らない家族の | 安否や居場所 | 指示・連絡 | 役所、警察、消防署 | かといつた情報 | 道路、通信、電気、ガス、水道が大丈夫 | 水や食料についての | どの病院に行けばよ | 原発についての情報 | 具体的な行動 | その他 | 特になかった |
|--------|-----|--------------------|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|-------|-----------|---------|--------------------|-----------|-----------|-----------|--------|-----|--------|
| 全体     | 500 | 59.0               | 63.4         | 14.4      | 43.4      | 13.6      | 7.4       | 45.2      | 39.2   | 4.2   | 49.8      | 10.0    | 1.8                | 3.6       |           |           |        |     |        |
| 性別     |     |                    |              |           |           |           |           |           |        |       |           |         |                    |           |           |           |        |     |        |
| 男性     | 225 | 61.3               | 61.3         | 15.6      | 41.8      | 13.3      | 6.2       | 45.3      | 34.2   | 1.8   | 48.4      | 8.0     | 0.4                | 2.2       |           |           |        |     |        |
| 女性     | 275 | 57.1               | 65.1         | 13.5      | 44.7      | 13.8      | 8.4       | 45.1      | 43.3   | 6.2   | 50.9      | 11.6    | 2.9                | 4.7       |           |           |        |     |        |
| 年齢別    |     |                    |              |           |           |           |           |           |        |       |           |         |                    |           |           |           |        |     |        |
| 20歳代   | 41  | 65.9               | 68.3         | 29.3      | 48.8      | 22.0      | 12.2      | 51.2      | 39.0   | 4.9   | 36.6      | 9.8     | 2.4                | -         |           |           |        |     |        |
| 30歳代   | 72  | 58.3               | 56.9         | 15.3      | 47.2      | 20.8      | 5.6       | 43.1      | 40.3   | 9.7   | 47.2      | 8.3     | 1.4                | 1.4       |           |           |        |     |        |
| 40歳代   | 80  | 65.0               | 62.5         | 21.3      | 63.8      | 18.8      | 5.0       | 42.5      | 37.5   | 3.8   | 48.8      | 10.0    | -                  | 1.3       |           |           |        |     |        |
| 50歳代   | 97  | 56.7               | 66.0         | 13.4      | 47.4      | 12.4      | 7.2       | 52.6      | 43.3   | 4.1   | 61.9      | 11.3    | 3.1                | 1.0       |           |           |        |     |        |
| 60歳代   | 93  | 55.9               | 64.5         | 12.9      | 33.3      | 12.9      | 9.7       | 48.4      | 37.6   | 2.2   | 50.5      | 4.3     | 1.1                | 1.1       |           |           |        |     |        |
| 70歳代以上 | 117 | 57.3               | 63.2         | 6.0       | 29.9      | 4.3       | 6.8       | 37.6      | 37.6   | 2.6   | 46.2      | 14.5    | 2.6                | 12.0      |           |           |        |     |        |

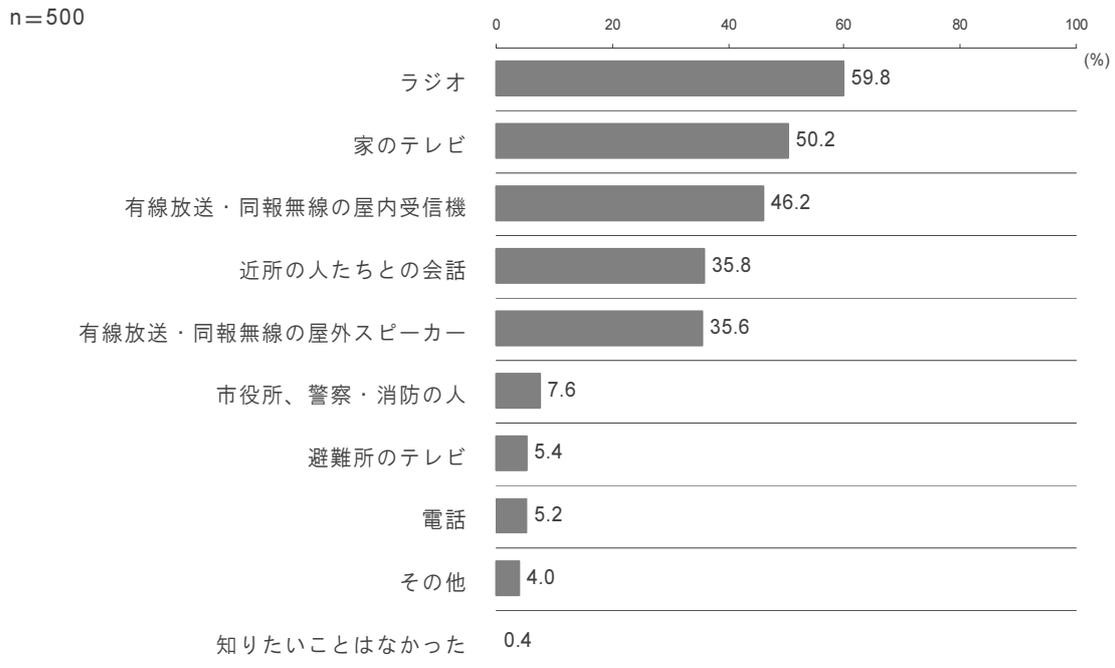
(全体と比べて10ポイント以上高いものに 網掛け)

IV. 調査結果

(7) 情報の入手先

「ラジオ」6割弱、「家のテレビ」5割、「屋内受信機」4割台半ば

問11 地震当日、知りたい情報は主に何から得ましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



地震当日、知りたい情報を主に何から得たか尋ねたところ、「ラジオ」(59.8%)との回答が最も高く6割を占めた。次いで「家のテレビ」(50.2%)、「有線放送・同報無線の屋内受信機」(46.2%)が高い。

[属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|            | 調査数 | 避難所のテレビ | 家のテレビ | ラジオ  | 電話   | 話 近所の人たちとの会話 | の有線放送・同報無線の屋外スピーカー | の有線放送・同報無線の屋内受信機 | の市役所、警察・消防の人 | その他 | か知りたいことはな |
|------------|-----|---------|-------|------|------|--------------|--------------------|------------------|--------------|-----|-----------|
| 全体         | 500 | 5.4     | 50.2  | 59.8 | 5.2  | 35.8         | 35.6               | 46.2             | 7.6          | 4.0 | 0.4       |
| 性別 男性      | 225 | 4.9     | 48.9  | 61.3 | 4.0  | 28.0         | 32.9               | 43.6             | 8.9          | 5.3 | 0.4       |
| 性別 女性      | 275 | 5.8     | 51.3  | 58.5 | 6.2  | 42.2         | 37.8               | 48.4             | 6.5          | 2.9 | 0.4       |
| 年齢別 20歳代   | 41  | 7.3     | 51.2  | 56.1 | 14.6 | 41.5         | 22.0               | 43.9             | 2.4          | 9.8 | -         |
| 年齢別 30歳代   | 72  | 8.3     | 45.8  | 62.5 | 4.2  | 25.0         | 31.9               | 34.7             | 5.6          | 6.9 | -         |
| 年齢別 40歳代   | 80  | 1.3     | 48.8  | 75.0 | 7.5  | 37.5         | 33.8               | 37.5             | 6.3          | 6.3 | -         |
| 年齢別 50歳代   | 97  | 5.2     | 47.4  | 68.0 | 7.2  | 40.2         | 41.2               | 46.4             | 4.1          | 5.2 | -         |
| 年齢別 60歳代   | 93  | 5.4     | 54.8  | 59.1 | 1.1  | 37.6         | 35.5               | 57.0             | 14.0         | -   | -         |
| 年齢別 70歳代以上 | 117 | 6.0     | 52.1  | 42.7 | 2.6  | 34.2         | 39.3               | 51.3             | 9.4          | 0.9 | 1.7       |

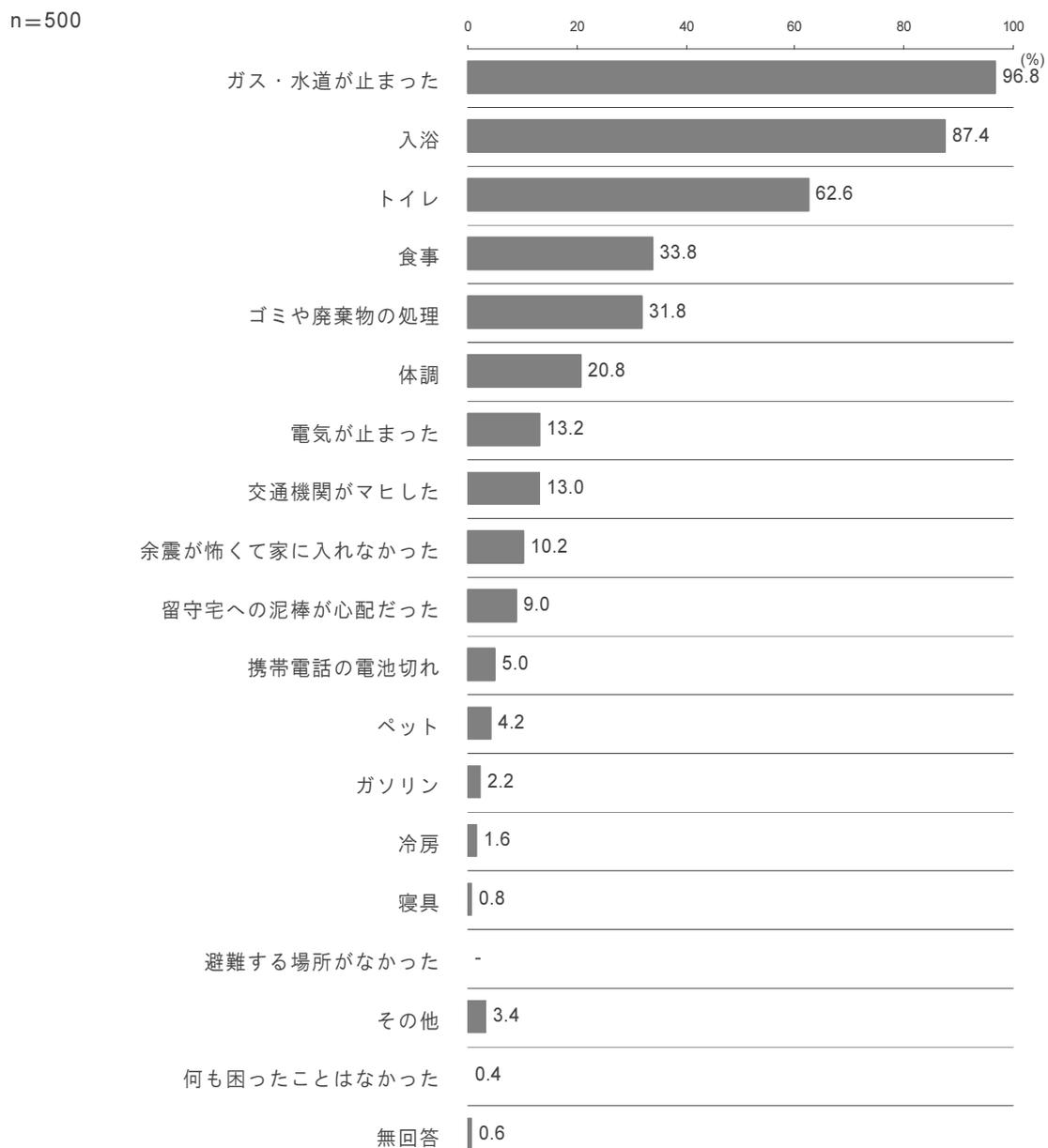
(全体と比べて10ポイント以上高いものに 網掛け)

## 3 避難生活

## (1) 地震から1週間後の時点で困ったこと

## 「ガス・水道が止まった」9割台半ば

問12 地震から1週間後で、あなたが困ったことは何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



地震から1週間後で困ったことを尋ねたところ、「ガス・水道が止まった」(96.8%)との回答が最も高く、ほとんどの人が回答した。次いで「入浴」(87.4%)が9割弱、「トイレ」(62.6%)が6割強となっており、水道が止まっていることについての影響が大きい。また、「食事」(33.8%)、「ゴミや廃棄物の処理」(31.8%)

#### IV. 調査結果

が3割以上となった。

#### [属性別集計結果（性別／年齢別）]

|        | 調査数 | 余震が怖くて家に入<br>れなかつた | 電気が止まった | ガス・水道が止まっ<br>た | 食事   | 交通機関がマヒした | 冷房  | 避難する場所がな<br>かつた | 寝具  | トイレ  | 留守宅への泥棒が心<br>配だつた | 入浴   | 体調   | ゴミや廃棄物の処理 | ペット  |
|--------|-----|--------------------|---------|----------------|------|-----------|-----|-----------------|-----|------|-------------------|------|------|-----------|------|
| 全体     | 500 | 10.2               | 13.2    | 96.8           | 33.8 | 13.0      | 1.6 | -               | 0.8 | 62.6 | 9.0               | 87.4 | 20.8 | 31.8      | 4.2  |
| 性別     |     |                    |         |                |      |           |     |                 |     |      |                   |      |      |           |      |
| 男性     | 225 | 9.8                | 14.7    | 96.9           | 35.6 | 12.9      | 1.3 | -               | 0.4 | 60.4 | 10.2              | 88.0 | 17.3 | 33.3      | 4.4  |
| 女性     | 275 | 10.5               | 12.0    | 96.7           | 32.4 | 13.1      | 1.8 | -               | 1.1 | 64.4 | 8.0               | 86.9 | 23.6 | 30.5      | 4.0  |
| 年齢別    |     |                    |         |                |      |           |     |                 |     |      |                   |      |      |           |      |
| 20歳代   | 41  | 17.1               | 24.4    | 92.7           | 36.6 | 36.6      | -   | -               | -   | 68.3 | 17.1              | 92.7 | 19.5 | 31.7      | -    |
| 30歳代   | 72  | 8.3                | 5.6     | 94.4           | 34.7 | 15.3      | 1.4 | -               | -   | 72.2 | 8.3               | 94.4 | 19.4 | 25.0      | 6.9  |
| 40歳代   | 80  | 7.5                | 13.8    | 96.3           | 30.0 | 11.3      | 1.3 | -               | 1.3 | 57.5 | 7.5               | 86.3 | 8.8  | 37.5      | 5.0  |
| 50歳代   | 97  | 15.5               | 11.3    | 99.0           | 34.0 | 17.5      | 2.1 | -               | 1.0 | 64.9 | 11.3              | 88.7 | 23.7 | 45.4      | 10.3 |
| 60歳代   | 93  | 10.8               | 11.8    | 97.8           | 36.6 | 7.5       | 1.1 | -               | -   | 58.1 | 5.4               | 86.0 | 21.5 | 22.6      | 2.2  |
| 70歳代以上 | 117 | 6.0                | 16.2    | 97.4           | 32.5 | 5.1       | 2.6 | -               | 1.7 | 59.8 | 8.5               | 82.1 | 27.4 | 28.2      | -    |

|        | 調査数 | 携帯電話の電池切れ | ガソリン | その他 | 何も困ったことはな<br>かつた | 無回答 |
|--------|-----|-----------|------|-----|------------------|-----|
| 全体     | 500 | 5.0       | 2.2  | 3.4 | 0.4              | 0.6 |
| 性別     |     |           |      |     |                  |     |
| 男性     | 225 | 3.6       | 2.7  | 2.7 | -                | 0.9 |
| 女性     | 275 | 6.2       | 1.8  | 4.0 | 0.7              | 0.4 |
| 年齢別    |     |           |      |     |                  |     |
| 20歳代   | 41  | 4.9       | -    | 4.9 | -                | -   |
| 30歳代   | 72  | 4.2       | 5.6  | 6.9 | -                | -   |
| 40歳代   | 80  | 11.3      | 1.3  | 3.8 | -                | -   |
| 50歳代   | 97  | 4.1       | 4.1  | -   | -                | 1.0 |
| 60歳代   | 93  | 4.3       | 1.1  | 4.3 | -                | 1.1 |
| 70歳代以上 | 117 | 2.6       | 0.9  | 2.6 | 1.7              | 0.9 |

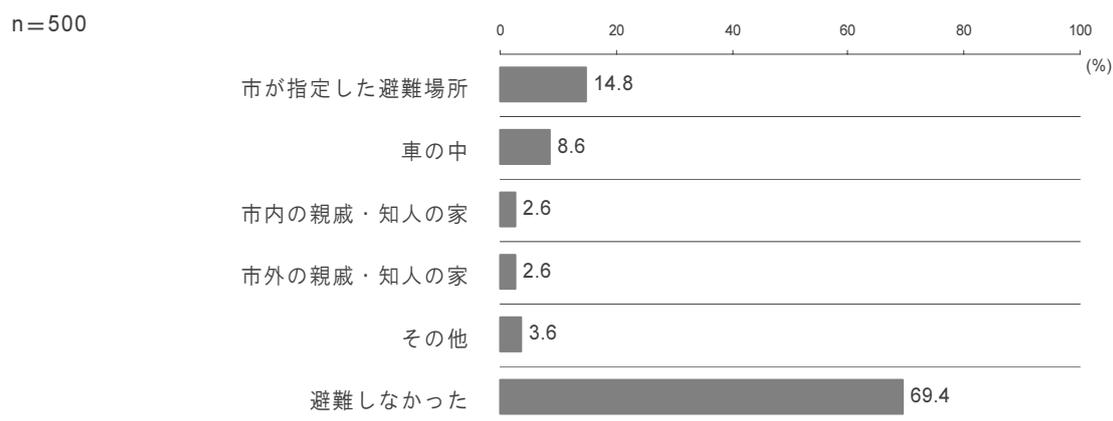
(全体と比べて 10 ポイント以上高いものに  網掛け)

## (2) 避難場所

## ① 避難した場所

## 「避難しなかった」7割弱

問 13 この地震の直後、あなたは、自宅や敷地を離れて、どこかに避難しましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



地震直後どこに避難したか尋ねたところ、「市が指定した避難所」(14.8%)が最も高く1割台半ば、次いで「車の中」(8.6%)が1割弱となっている。

[属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|        | 調査数 | 市が指定した避難場所 | 車の中  | 市内の親戚・知人の家 | 市外の親戚・知人の家 | その他 | 避難しなかった |
|--------|-----|------------|------|------------|------------|-----|---------|
| 全体     | 500 | 14.8       | 8.6  | 2.6        | 2.6        | 3.6 | 69.4    |
| 性別     |     |            |      |            |            |     |         |
| 男性     | 225 | 12.9       | 10.7 | 1.3        | 1.8        | 4.4 | 70.2    |
| 女性     | 275 | 16.4       | 6.9  | 3.6        | 3.3        | 2.9 | 68.7    |
| 年齢別    |     |            |      |            |            |     |         |
| 20歳代   | 41  | 22.0       | 7.3  | 4.9        | 4.9        | 4.9 | 61.0    |
| 30歳代   | 72  | 18.1       | 9.7  | 4.2        | 5.6        | 8.3 | 58.3    |
| 40歳代   | 80  | 16.3       | 11.3 | -          | 3.8        | -   | 70.0    |
| 50歳代   | 97  | 7.2        | 14.4 | 2.1        | 1.0        | 2.1 | 74.2    |
| 60歳代   | 93  | 9.7        | 7.5  | 4.3        | -          | 3.2 | 75.3    |
| 70歳代以上 | 117 | 19.7       | 2.6  | 1.7        | 2.6        | 4.3 | 70.1    |

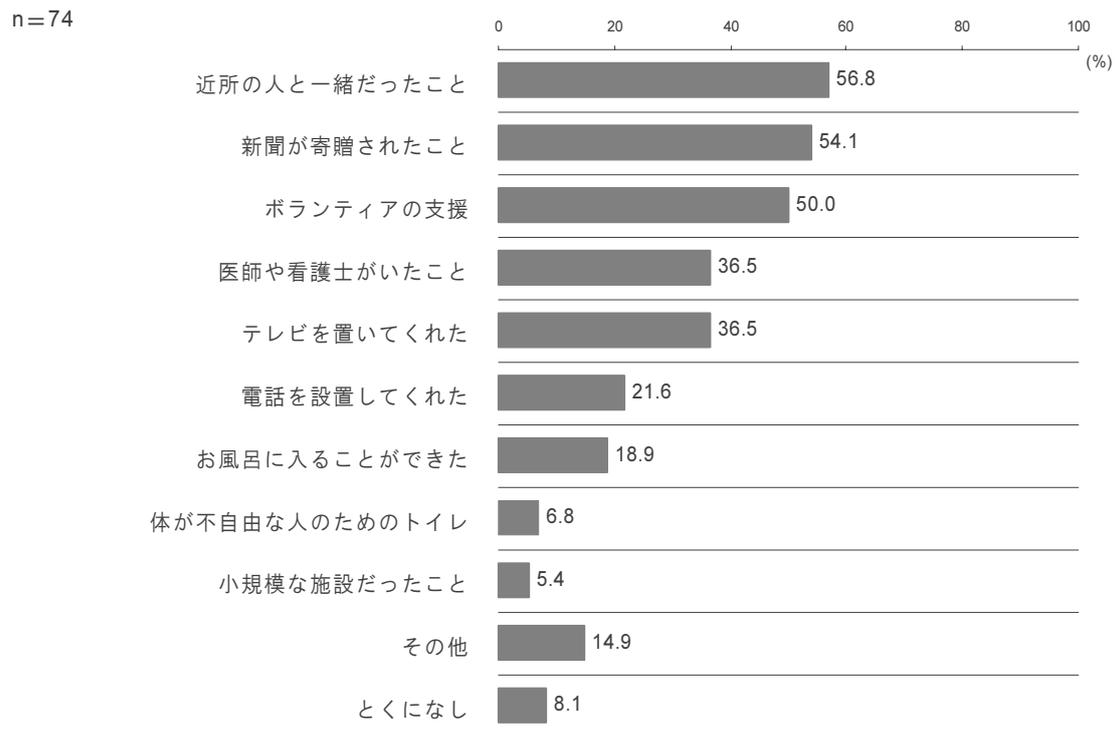
(全体と比べて10ポイント以上高いものに  網掛け)

## ② 公的避難所で良かったと感じたこと

「近所の人と一緒にだったこと」「新聞が寄贈」「ボランティアの支援」5割以上

**問 13-1** （問 13 で「1. 市が指定した避難場所」と回答した方にお聞きします）

公的避難所に避難しているとき良かったと感じたことがありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



市が指定した避難場所に避難したと回答した74人に対し、良かったと感じたことがあるかどうか尋ねたところ、「近所の人と一緒にだったこと」(56.8%)との回答が最も高く、次いで「新聞が寄贈されたこと」(54.1%)がともに5割台半ばを占め、「ボランティアの支援」(50.0%)も5割を占めた。また、「医師や看護師がいたこと」、「テレビを置いてくれた」(ともに36.5%)も3割台半ばとなっている。

## [属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|        | 調査数 | 体が不自由な人のためのトイレ | 小規模な施設だったこと | 新聞が寄贈されたこと | 近所の人と一緒にだったこと | ボランティアの支援 | お風呂に入ることができた | 医師や看護師がいたこと | テレビを置いてくれた | 電話を設置してくれた | その他  | とくになし |
|--------|-----|----------------|-------------|------------|---------------|-----------|--------------|-------------|------------|------------|------|-------|
| 全体     | 74  | 6.8            | 5.4         | 54.1       | 56.8          | 50.0      | 18.9         | 36.5        | 36.5       | 21.6       | 14.9 | 8.1   |
| 性別     |     |                |             |            |               |           |              |             |            |            |      |       |
| 男性     | 29  | 10.3           | 3.4         | 51.7       | 41.4          | 48.3      | 24.1         | 31.0        | 41.4       | 20.7       | 17.2 | 13.8  |
| 女性     | 45  | 4.4            | 6.7         | 55.6       | 66.7          | 51.1      | 15.6         | 40.0        | 33.3       | 22.2       | 13.3 | 4.4   |
| 年齢別    |     |                |             |            |               |           |              |             |            |            |      |       |
| 20歳代   | 9   | 22.2           | 11.1        | 66.7       | 44.4          | 55.6      | -            | 55.6        | 44.4       | 11.1       | 22.2 | -     |
| 30歳代   | 13  | -              | 7.7         | 53.8       | 53.8          | 69.2      | 23.1         | 53.8        | 23.1       | 15.4       | 15.4 | 7.7   |
| 40歳代   | 13  | -              | -           | 46.2       | 46.2          | 38.5      | -            | 15.4        | 30.8       | 23.1       | 46.2 | 15.4  |
| 50歳代   | 7   | -              | -           | 14.3       | -             | 28.6      | -            | 14.3        | 28.6       | -          | -    | 28.6  |
| 60歳代   | 9   | 11.1           | 11.1        | 66.7       | 77.8          | 55.6      | 22.2         | 44.4        | 44.4       | 33.3       | -    | -     |
| 70歳代以上 | 23  | 8.7            | 4.3         | 60.9       | 78.3          | 47.8      | 39.1         | 34.8        | 43.5       | 30.4       | 4.3  | 4.3   |

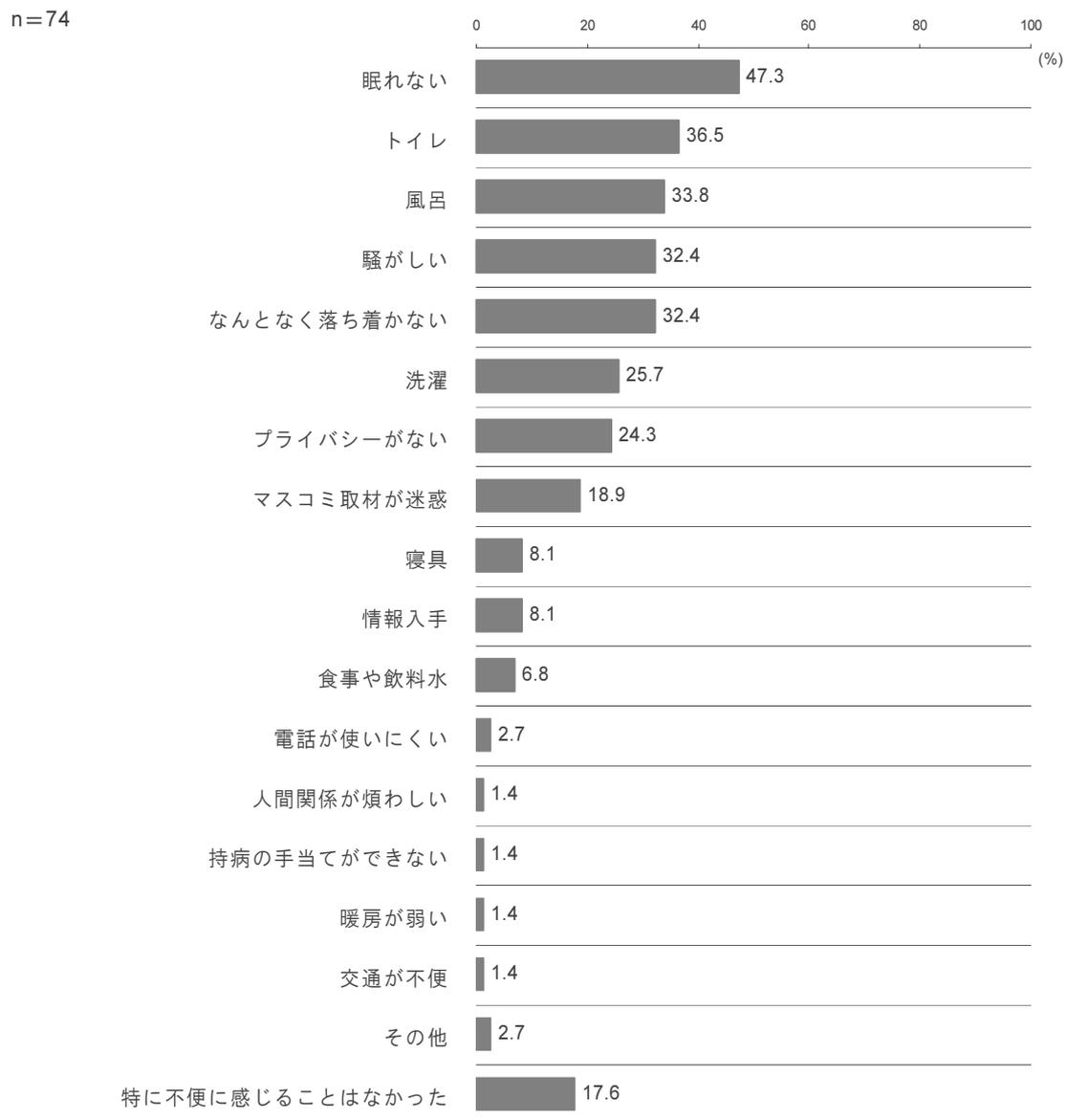
(全体と比べて 10 ポイント以上高いものに  網掛け)

## ③ 公的避難所で不便・不満を感じたこと

「眠れない」5割弱、「トイレ」「風呂」「騒がしい」「落ち着かない」3割以上

**問 13-2** （問 13 で「1. 市が指定した避難場所」と回答した方にお聞きます）

公的避難所で、不便や不満を感じたことがありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



市が指定した避難場所に避難したと回答した74人に対し、不便や不満を感じたことがあるか尋ねたところ、「眠れない」（47.3%）が最も高く5割弱を占めた。次いで「トイレ」（36.5%）、「風呂」（33.8%）「騒がしい」（32.4%）、「なんとなく落ち着かない」（32.4%）が3割台で続いている。

## [属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|        | 調査数 | プライバシーがない | 人間関係が煩わしい | 騒がしい | なんとなく落ち着かない | 眠れない | 持病の手当てができない | 風呂   | 洗濯   | トイレ  | 寝具   | 食事や飲料水 | 暖房が弱い | 交通が不便 | 電話が使いにくい |
|--------|-----|-----------|-----------|------|-------------|------|-------------|------|------|------|------|--------|-------|-------|----------|
| 全体     | 74  | 24.3      | 1.4       | 32.4 | 32.4        | 47.3 | 1.4         | 33.8 | 25.7 | 36.5 | 8.1  | 6.8    | 1.4   | 1.4   | 2.7      |
| 性別     |     |           |           |      |             |      |             |      |      |      |      |        |       |       |          |
| 男性     | 29  | 27.6      | -         | 34.5 | 27.6        | 51.7 | -           | 27.6 | 17.2 | 34.5 | 6.9  | 10.3   | 3.4   | 3.4   | 6.9      |
| 女性     | 45  | 22.2      | 2.2       | 31.1 | 35.6        | 44.4 | 2.2         | 37.8 | 31.1 | 37.8 | 8.9  | 4.4    | -     | -     | -        |
| 年齢別    |     |           |           |      |             |      |             |      |      |      |      |        |       |       |          |
| 20歳代   | 9   | 33.3      | 11.1      | 55.6 | 33.3        | 66.7 | -           | 66.7 | 55.6 | 66.7 | 11.1 | 22.2   | -     | -     | -        |
| 30歳代   | 13  | 38.5      | -         | 23.1 | 46.2        | 38.5 | -           | 38.5 | 38.5 | 23.1 | -    | -      | -     | -     | -        |
| 40歳代   | 13  | 15.4      | -         | 53.8 | 30.8        | 30.8 | -           | 23.1 | 7.7  | 30.8 | -    | -      | -     | -     | 7.7      |
| 50歳代   | 7   | 42.9      | -         | 28.6 | 28.6        | 28.6 | -           | 42.9 | 14.3 | 14.3 | 28.6 | 14.3   | -     | -     | -        |
| 60歳代   | 9   | 22.2      | -         | -    | 22.2        | 55.6 | -           | 33.3 | 33.3 | 11.1 | 11.1 | -      | -     | -     | -        |
| 70歳代以上 | 23  | 13.0      | -         | 30.4 | 30.4        | 56.5 | 4.3         | 21.7 | 17.4 | 52.2 | 8.7  | 8.7    | 4.3   | 4.3   | 4.3      |

|        | 調査数 | 情報入手 | マスコミ取材が迷惑 | その他  | と特にはなにか感じた感じるこ |
|--------|-----|------|-----------|------|----------------|
| 全体     | 74  | 8.1  | 18.9      | 2.7  | 17.6           |
| 性別     |     |      |           |      |                |
| 男性     | 29  | 3.4  | 20.7      | -    | 17.2           |
| 女性     | 45  | 11.1 | 17.8      | 4.4  | 17.8           |
| 年齢別    |     |      |           |      |                |
| 20歳代   | 9   | 11.1 | 11.1      | -    | -              |
| 30歳代   | 13  | -    | 15.4      | -    | 7.7            |
| 40歳代   | 13  | 15.4 | 23.1      | -    | 15.4           |
| 50歳代   | 7   | 14.3 | 28.6      | -    | 42.9           |
| 60歳代   | 9   | 22.2 | 11.1      | 11.1 | 33.3           |
| 70歳代以上 | 23  | -    | 21.7      | 4.3  | 17.4           |

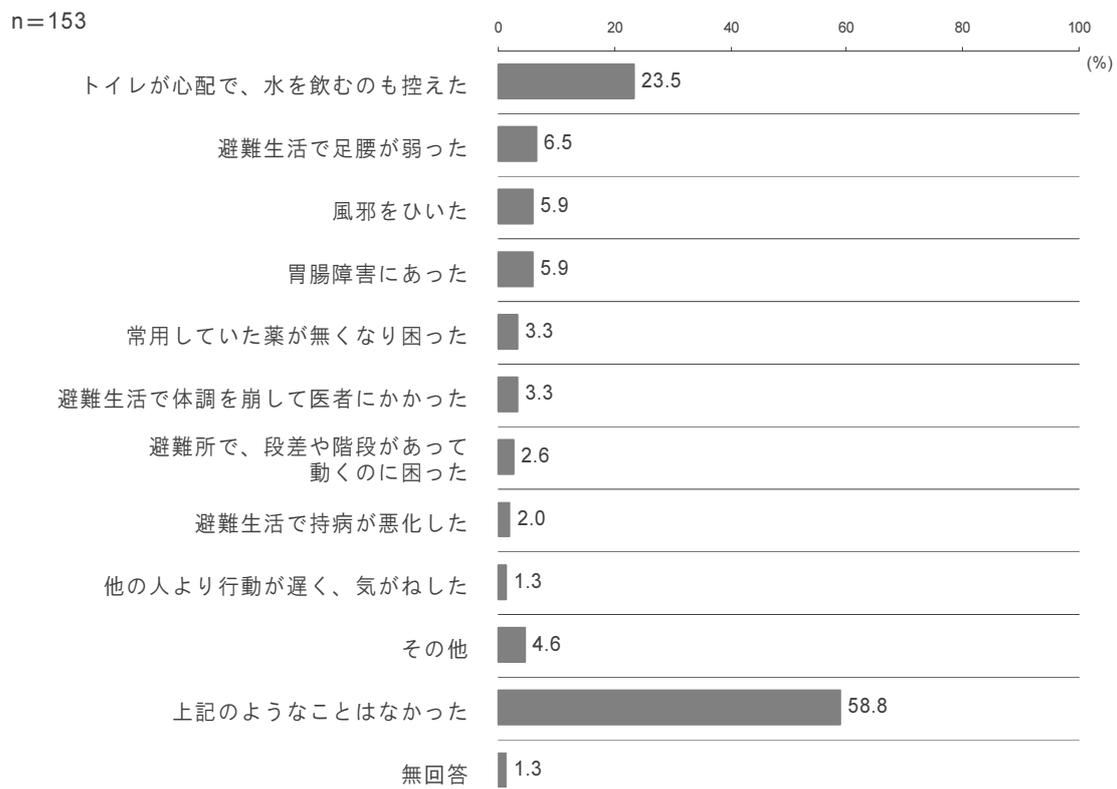
(全体と比べて 10 ポイント以上高いものに   網掛け)

#### IV. 調査結果

#### ④ 避難場所での体験

### 4人に1人は「トイレが心配で、水を飲むのも控えた」

**問 14** あなたは次のようなことを避難場所での生活で体験しましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



地震直後、自宅を離れ避難したと回答した153人に対し、避難した先での体験について尋ねたところ、「トイレが心配で、水を飲むのも控えた」(23.5%)との回答が最も高く2割強を占めた。それ以外の回答はいずれも1割に満たず、次いで高いのは「避難生活で足腰が弱った」(6.5%)、「風邪をひいた」(5.9%)、「胃腸障害にあった」(5.9%)などであった。

## [属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|            | 調査数 | をトイレが心配で、水を飲むのも控えた | く常用して困った薬が | 弱避難生活で足腰が | 困避段難所であつて、動くのに | して避難生活で体調を崩 | 化避難生活で持病が悪 | 風邪をひいた | 胃腸障害にあつた | く他の人より行動が遅 | その他  | な左記のよう | 無回答 |
|------------|-----|--------------------|------------|-----------|----------------|-------------|------------|--------|----------|------------|------|--------|-----|
| 全体         | 153 | 23.5               | 3.3        | 6.5       | 2.6            | 3.3         | 2.0        | 5.9    | 5.9      | 1.3        | 4.6  | 58.8   | 1.3 |
| 性別 男性      | 67  | 22.4               | 6.0        | 6.0       | 4.5            | 1.5         | 1.5        | 3.0    | 7.5      | 1.5        | 3.0  | 58.2   | 1.5 |
| 性別 女性      | 86  | 24.4               | 1.2        | 7.0       | 1.2            | 4.7         | 2.3        | 8.1    | 4.7      | 1.2        | 5.8  | 59.3   | 1.2 |
| 年齢別 20歳代   | 16  | 31.3               | 6.3        | 6.3       | -              | -           | -          | 18.8   | 12.5     | -          | 12.5 | 50.0   | -   |
| 年齢別 30歳代   | 30  | 20.0               | 3.3        | -         | -              | 6.7         | 3.3        | 3.3    | 6.7      | -          | -    | 63.3   | 3.3 |
| 年齢別 40歳代   | 24  | 16.7               | -          | -         | -              | -           | -          | -      | 8.3      | -          | 8.3  | 70.8   | -   |
| 年齢別 50歳代   | 25  | 32.0               | 8.0        | -         | 4.0            | -           | -          | -      | 8.0      | -          | 4.0  | 56.0   | -   |
| 年齢別 60歳代   | 23  | 21.7               | -          | 13.0      | -              | 8.7         | -          | 13.0   | -        | -          | -    | 47.8   | -   |
| 年齢別 70歳代以上 | 35  | 22.9               | 2.9        | 17.1      | 8.6            | 2.9         | 5.7        | 5.7    | 2.9      | 5.7        | 5.7  | 60.0   | 2.9 |

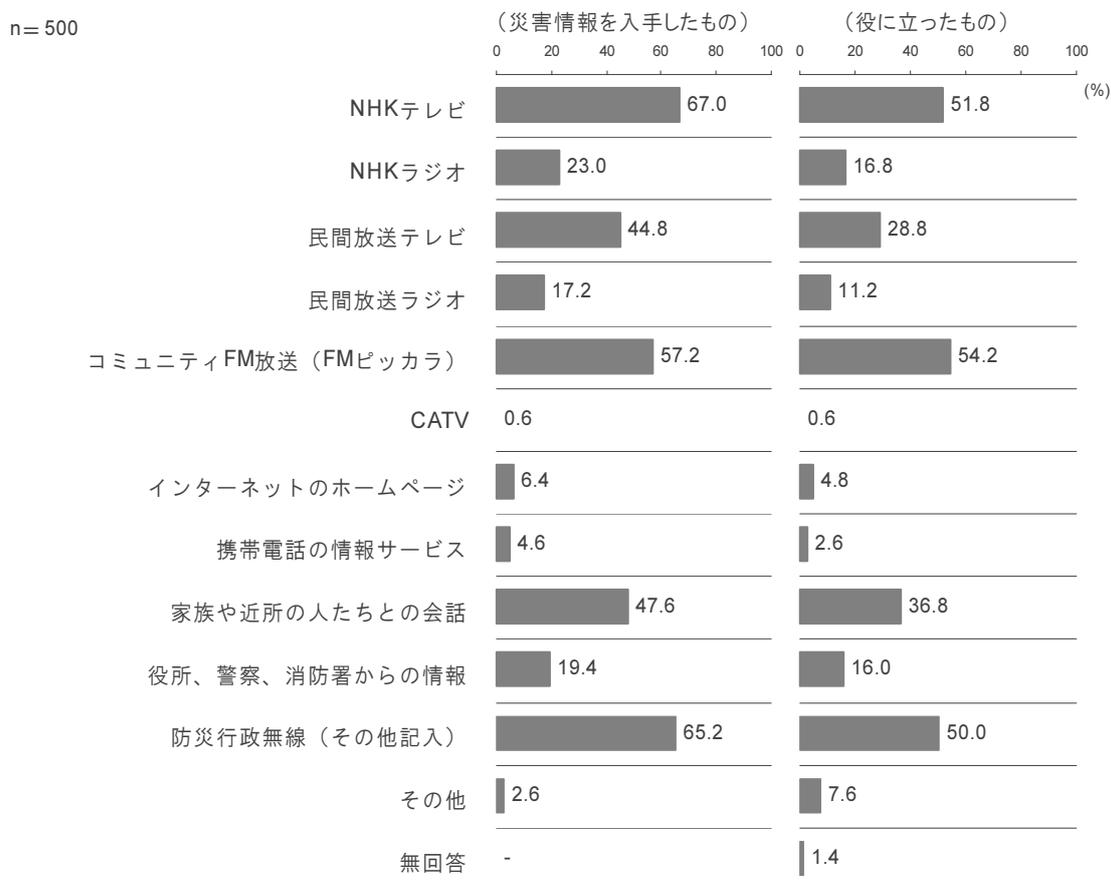
(全体と比べて 10 ポイント以上高いものに  網掛け)

## 4 地震についての情報について

## (1) 災害情報を入手した媒体

## 役に立った媒体「コミュニティ FM (FM ピッカラ)」が 5 割台半ば

問 15 地震の後、災害の情報をどこから入手しましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。また、入手した媒体のうち、役に立ったものをいくつでも選んでください。



※「防災行政無線 (その他記入)」は、「その他」に記入された文字回答からカテゴリ化。

地震の後、災害の情報をどこから入手したかを尋ねたところ、「NHK テレビ」(67.0%) との回答が最も高く、次いで「防災行政無線 (その他記入)」(65.2%) が僅差となり、ともに 6 割台半ばを占めた。これらに次いで「コミュニティ FM (FM ピッカラ)」(57.2%)、「家族や近所の人たちの会話」(47.6%)、「民間放送テレビ」(44.8%) が続いている。

次に、入手した媒体のうち役に立ったものについて尋ねたところ、「コミュニティ FM (FM ピッカラ)」(54.2%) が最も高く 5 割台半ばを占めた。次いで「NHK テレビ」(51.8%)、「防災行政無線 (その他記入)」(50.0%) となり、いずれも 5 割以上となった。

## [災害情報を入手したものの：属性別集計結果（性別／年齢別）]

|        | 調査数 | NHKテレビ | NHKラジオ | 民間放送テレビ | 民間放送ラジオ | 送（FMビッカラ）<br>コミュニティFM放 | CATV | インターネットの<br>ホームページ | 携帯電話の情報サー<br>ビス | 家族や近所の人た<br>ちとの会話 | 役所、警察、消<br>防署からの情報 | その他  |
|--------|-----|--------|--------|---------|---------|------------------------|------|--------------------|-----------------|-------------------|--------------------|------|
| 全体     | 500 | 67.0   | 23.0   | 44.8    | 17.2    | 57.2                   | 0.6  | 6.4                | 4.6             | 47.6              | 19.4               | 67.8 |
| 性別     |     |        |        |         |         |                        |      |                    |                 |                   |                    |      |
| 男性     | 225 | 66.7   | 28.0   | 44.0    | 21.8    | 57.8                   | 0.9  | 7.6                | 4.9             | 38.2              | 14.7               | 62.7 |
| 女性     | 275 | 67.3   | 18.9   | 45.5    | 13.5    | 56.7                   | 0.4  | 5.5                | 4.4             | 55.3              | 23.3               | 72.0 |
| 年齢別    |     |        |        |         |         |                        |      |                    |                 |                   |                    |      |
| 20歳代   | 41  | 70.7   | 12.2   | 36.6    | 26.8    | 61.0                   | 2.4  | 12.2               | 17.1            | 39.0              | 19.5               | 56.1 |
| 30歳代   | 72  | 58.3   | 11.1   | 47.2    | 19.4    | 72.2                   | -    | 8.3                | 8.3             | 40.3              | 12.5               | 62.5 |
| 40歳代   | 80  | 53.8   | 16.3   | 46.3    | 15.0    | 77.5                   | -    | 13.8               | 6.3             | 46.3              | 18.8               | 57.5 |
| 50歳代   | 97  | 59.8   | 23.7   | 50.5    | 12.4    | 61.9                   | -    | 4.1                | 1.0             | 47.4              | 23.7               | 72.2 |
| 60歳代   | 93  | 77.4   | 33.3   | 45.2    | 17.2    | 57.0                   | 1.1  | 4.3                | 1.1             | 55.9              | 20.4               | 69.9 |
| 70歳代以上 | 117 | 77.8   | 29.9   | 40.2    | 17.9    | 29.1                   | 0.9  | 1.7                | 2.6             | 49.6              | 19.7               | 76.9 |

(全体と比べて10ポイント以上高いものに  網掛け)

## [役に立ったものの：属性別集計結果（性別／年齢別）]

|        | 調査数 | NHKテレビ | NHKラジオ | 民間放送テレビ | 民間放送ラジオ | 送（FMビッカラ）<br>コミュニティFM放 | CATV | インターネットの<br>ホームページ | 携帯電話の情報サー<br>ビス | 家族や近所の人た<br>ちとの会話 | 役所、警察、消<br>防署からの情報 | その他  | 無回答 |
|--------|-----|--------|--------|---------|---------|------------------------|------|--------------------|-----------------|-------------------|--------------------|------|-----|
| 全体     | 500 | 51.8   | 16.8   | 28.8    | 11.2    | 54.2                   | 0.6  | 4.8                | 2.6             | 36.8              | 16.0               | 57.6 | 1.4 |
| 性別     |     |        |        |         |         |                        |      |                    |                 |                   |                    |      |     |
| 男性     | 225 | 52.9   | 21.8   | 28.4    | 14.2    | 53.8                   | 0.9  | 6.2                | 4.0             | 30.2              | 12.0               | 52.4 | 1.8 |
| 女性     | 275 | 50.9   | 12.7   | 29.1    | 8.7     | 54.5                   | 0.4  | 3.6                | 1.5             | 42.2              | 19.3               | 61.8 | 1.1 |
| 年齢別    |     |        |        |         |         |                        |      |                    |                 |                   |                    |      |     |
| 20歳代   | 41  | 48.8   | 7.3    | 19.5    | 22.0    | 56.1                   | 2.4  | 4.9                | 7.3             | 34.1              | 7.3                | 43.9 | 9.8 |
| 30歳代   | 72  | 37.5   | 9.7    | 27.8    | 11.1    | 70.8                   | -    | 8.3                | 4.2             | 33.3              | 11.1               | 55.6 | 1.4 |
| 40歳代   | 80  | 35.0   | 11.3   | 25.0    | 11.3    | 72.5                   | -    | 10.0               | 5.0             | 31.3              | 15.0               | 51.3 | 1.3 |
| 50歳代   | 97  | 47.4   | 19.6   | 34.0    | 7.2     | 59.8                   | -    | 3.1                | -               | 37.1              | 22.7               | 60.8 | 1.0 |
| 60歳代   | 93  | 62.4   | 24.7   | 33.3    | 12.9    | 54.8                   | 1.1  | 3.2                | -               | 40.9              | 16.1               | 60.2 | -   |
| 70歳代以上 | 117 | 68.4   | 19.7   | 27.4    | 9.4     | 25.6                   | 0.9  | 1.7                | 2.6             | 40.2              | 17.1               | 63.2 | -   |

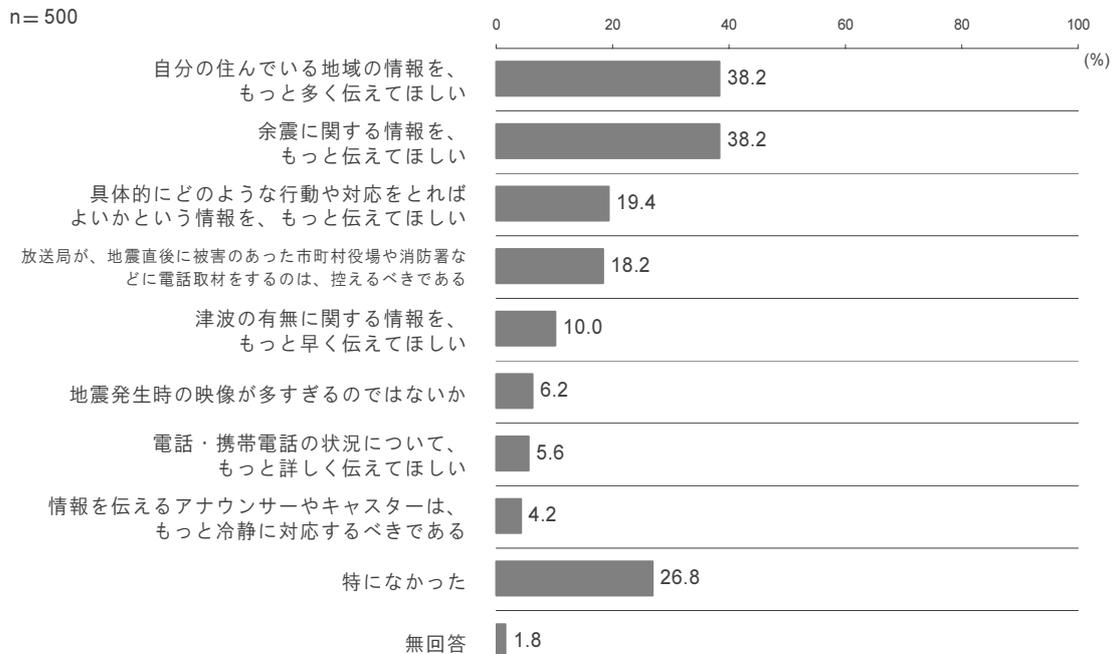
(全体と比べて10ポイント以上高いものに  網掛け)

IV. 調査結果

(2) テレビ・ラジオからの情報

「自分の住んでいる地域の情報」「余震に関する情報」が4割弱

問16 テレビ・ラジオからの情報を、どのように感じましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



テレビ、ラジオからの情報をどのように感じたか尋ねたところ、「自分の住んでいる地域の情報をもっと多く伝えてほしい」、「余震に関する情報をもっと伝えてほしい」（ともに38.2%）が最も高く4割弱となった。次いで高くなったのは「具体的にどのような行動や対応をとればよいかという情報を、もっと伝えてほしい」（19.4%）、「放送局が、地震直後に被害のあった市町村役場や消防署などに電話取材するのは、控えるべきである」（18.2%）などであった。

[属性別集計結果（性別／年齢別）]

|        | 調査数 | 津波の有無に関する情報を、もっと早く伝えるべきである | 具体的にどのような行動や対応をとればよいかという情報を、もっと伝えてほしい | 放送局が、地震直後に被害のあった市町村役場や消防署などに電話取材するのは、控えるべきである | 津波の有無に関する情報を、もっと早く伝えてほしい | 地震発生時の映像が多すぎるのではないかと | 電話・携帯電話の状況について、もっと詳しく伝えてほしい | 情報を伝えるアナウンサーやキャスターは、もっと冷静に対応するべきである | 特になかった | 無回答  |     |
|--------|-----|----------------------------|---------------------------------------|---|--------------------------|----------------------|-----------------------------|-------------------------------------|--------|------|-----|
| 全体     | 500 | 10.0                       | 19.4                                  | 4.2   | 38.2                     | 5.6                  | 18.2                        | 6.2                                 | 38.2   | 26.8 | 1.8 |
| 性別     |     |                            |                                       |   |                          |                      |                             |                                     |        |      |     |
| 男性     | 225 | 10.2                       | 20.0                                  | 5.3   | 41.8                     | 7.1                  | 16.9                        | 6.2                                 | 39.1   | 23.6 | 1.8 |
| 女性     | 275 | 9.8                        | 18.9                                  | 3.3   | 35.3                     | 4.4                  | 19.3                        | 6.2                                 | 37.5   | 29.5 | 1.8 |
| 年齢別    |     |                            |                                       |   |                          |                      |                             |                                     |        |      |     |
| 20歳代   | 41  | 9.8                        | 31.7                                  | 7.3   | 41.5                     | 17.1                 | 26.8                        | 4.9                                 | 36.6   | 26.8 | -   |
| 30歳代   | 72  | 12.5                       | 18.1                                  | 1.4   | 34.7                     | 8.3                  | 27.8                        | 5.6                                 | 27.8   | 30.6 | -   |
| 40歳代   | 80  | 11.3                       | 25.0                                  | 6.3   | 35.0                     | 6.3                  | 16.3                        | 3.8                                 | 32.5   | 25.0 | 5.0 |
| 50歳代   | 97  | 10.3                       | 13.4                                  | 5.2   | 40.2                     | 3.1                  | 20.6                        | 11.3                                | 43.3   | 20.6 | 1.0 |
| 60歳代   | 93  | 8.6                        | 18.3                                  | 4.3   | 36.6                     | 5.4                  | 12.9                        | 6.5                                 | 39.8   | 23.7 | 3.2 |
| 70歳代以上 | 117 | 8.5                        | 17.9                                  | 2.6   | 41.0                     | 1.7                  | 12.8                        | 4.3                                 | 43.6   | 33.3 | 0.9 |

(全体と比べて10ポイント以上高いものに網掛け)

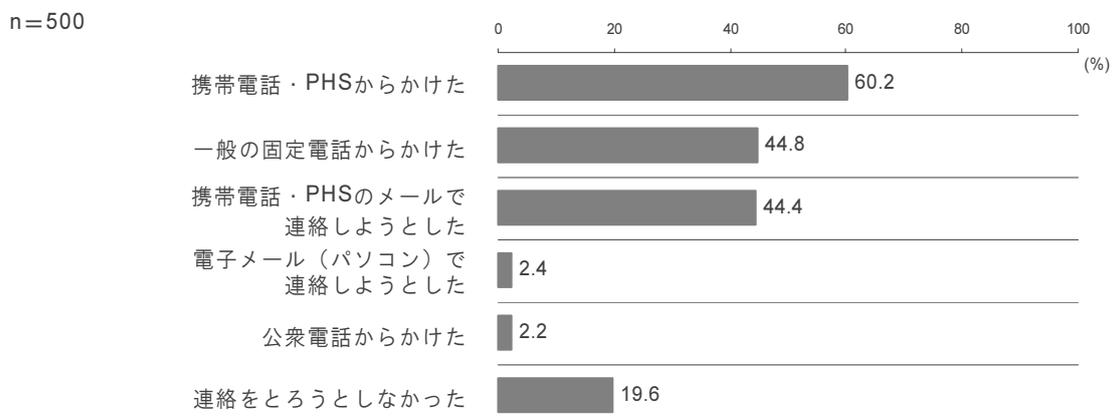
## 5 電話・インターネットについて

### (1) 連絡を取ろうとした通信手段

#### ① 連絡を取ろうとした通信手段

「携帯電話・PHS」6割強、「固定電話」「携帯電話・PHS（メール）」4割台半ば

問17 地震当日、あなたは誰かに連絡を取ろうとしましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



地震当日、誰かに連絡を取ろうとしたかどうかを尋ねたところ、「携帯電話・PHS からかけた」(60.2%)との回答が最も高く6割を占め、次いで「一般の固定電話からかけた」(44.8%)、「携帯電話・PHS のメールで連絡しようとした」(44.4%)が4割台半ばとなった。

性別にみると、「一般の固定電話からかけた」との回答は男性(38.7%)より女性(49.8%)の方が高い。また、「携帯電話・PHS のメールで連絡しようとした」との回答も女性(50.5%)が男性(36.9%)を上回っている。

年齢別にみると、「携帯電話・PHS からかけた」との回答は若年層で高く、特に20歳代(87.8%)では9割に近い。30歳代(83.3%)、40歳代(81.3%)でも8割強となっている。また「携帯電話・PHS のメールで連絡しようとした」との回答も同様に、20歳代(78.0%)、30歳代(79.2%)で8割弱を占め、若年層での携帯電話・PHS への依存がうかがわれる。

#### IV. 調査結果

##### [属性別集計結果 (性別/年齢別)]

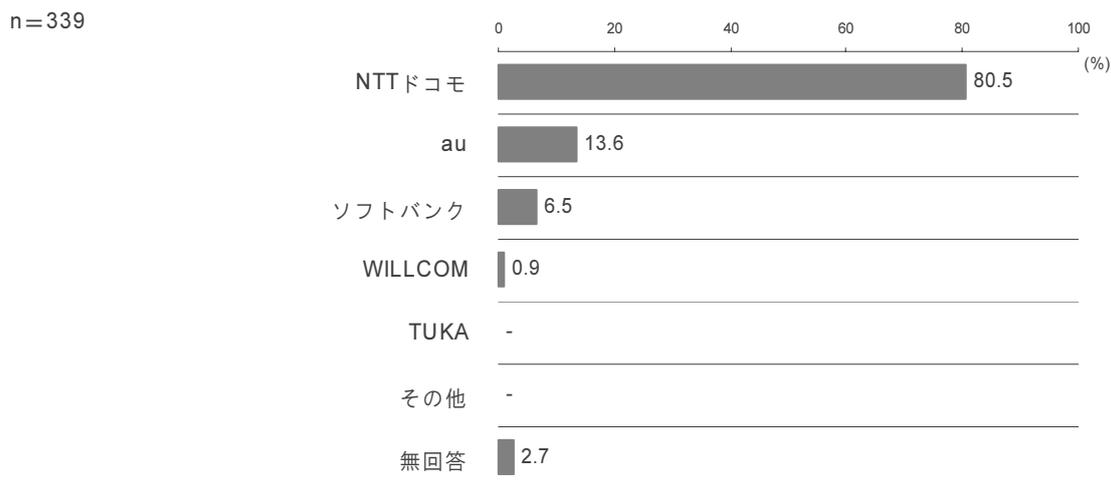
|        | 調査数 | 一般的な固定電話から | 公衆電話からかけた | 携帯電話・PHSからかけた | 携帯電話・PHSのメールで連絡しようとした | 電子メール(パソコン)で連絡しようとした | ネットをとうとうとした |
|--------|-----|------------|-----------|---------------|-----------------------|----------------------|-------------|
| 全体     | 500 | 44.8       | 2.2       | 60.2          | 44.4                  | 2.4                  | 19.6        |
| 性別     |     |            |           |               |                       |                      |             |
| 男性     | 225 | 38.7       | 3.1       | 60.9          | 36.9                  | 2.2                  | 19.6        |
| 女性     | 275 | 49.8       | 1.5       | 59.6          | 50.5                  | 2.5                  | 19.6        |
| 年齢別    |     |            |           |               |                       |                      |             |
| 20歳代   | 41  | 31.7       | -         | 87.8          | 78.0                  | -                    | 2.4         |
| 30歳代   | 72  | 38.9       | 2.8       | 83.3          | 79.2                  | 5.6                  | 2.8         |
| 40歳代   | 80  | 41.3       | 3.8       | 81.3          | 62.5                  | 2.5                  | 7.5         |
| 50歳代   | 97  | 53.6       | 2.1       | 77.3          | 53.6                  | 1.0                  | 8.2         |
| 60歳代   | 93  | 52.7       | 1.1       | 44.1          | 25.8                  | 3.2                  | 24.7        |
| 70歳代以上 | 117 | 41.9       | 2.6       | 20.5          | 6.0                   | 1.7                  | 49.6        |

(全体と比べて 10 ポイント以上高いものに  網掛け)

## ② 携帯電話・PHS のキャリア

## 「NTT ドコモ」 8 割

問 17-1 (問 17 で「3. 携帯電話・PHS からかけた」あるいは「4. 携帯電話・PHS のメールで連絡しようとした」と回答した方にお聞きします)  
連絡をした (しようとした) 携帯電話・PHS の通信会社は、どちらの会社ですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



携帯電話・PHS (メールも含む) を使って連絡したと回答した 339 人に対し、連絡した (しようとした) 携帯電話・PHS の通信会社を尋ねたところ、「NTT ドコモ」(80.5%) との回答が最も高く 8 割を占めた。「au」(13.6%) は 1 割強、「ソフトバンク」(6.5%) は 1 割に満たなかった。

[属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|        | 調査数 | N<br>T<br>T<br>ド<br>コ<br>モ | a<br>u | ソ<br>フ<br>ト<br>バ<br>ン<br>ク | T<br>U<br>K<br>A | W<br>I<br>L<br>L<br>C<br>O<br>M | そ<br>の<br>他 | 無<br>回<br>答 |
|--------|-----|----------------------------|--------|----------------------------|------------------|---------------------------------|-------------|-------------|
| 全体     | 339 | 80.5                       | 13.6   | 6.5                        | -                | 0.9                             | -           | 2.7         |
| 性別     |     |                            |        |                            |                  |                                 |             |             |
| 男性     | 151 | 80.8                       | 13.9   | 5.3                        | -                | 1.3                             | -           | 2.0         |
| 女性     | 188 | 80.3                       | 13.3   | 7.4                        | -                | 0.5                             | -           | 3.2         |
| 年齢別    |     |                            |        |                            |                  |                                 |             |             |
| 20歳代   | 39  | 84.6                       | 15.4   | 10.3                       | -                | 2.6                             | -           | -           |
| 30歳代   | 69  | 81.2                       | 14.5   | 5.8                        | -                | 2.9                             | -           | 1.4         |
| 40歳代   | 73  | 72.6                       | 19.2   | 9.6                        | -                | -                               | -           | 1.4         |
| 50歳代   | 84  | 81.0                       | 10.7   | 8.3                        | -                | -                               | -           | 3.6         |
| 60歳代   | 49  | 85.7                       | 10.2   | -                          | -                | -                               | -           | 4.1         |
| 70歳代以上 | 25  | 84.0                       | 8.0    | -                          | -                | -                               | -           | 8.0         |

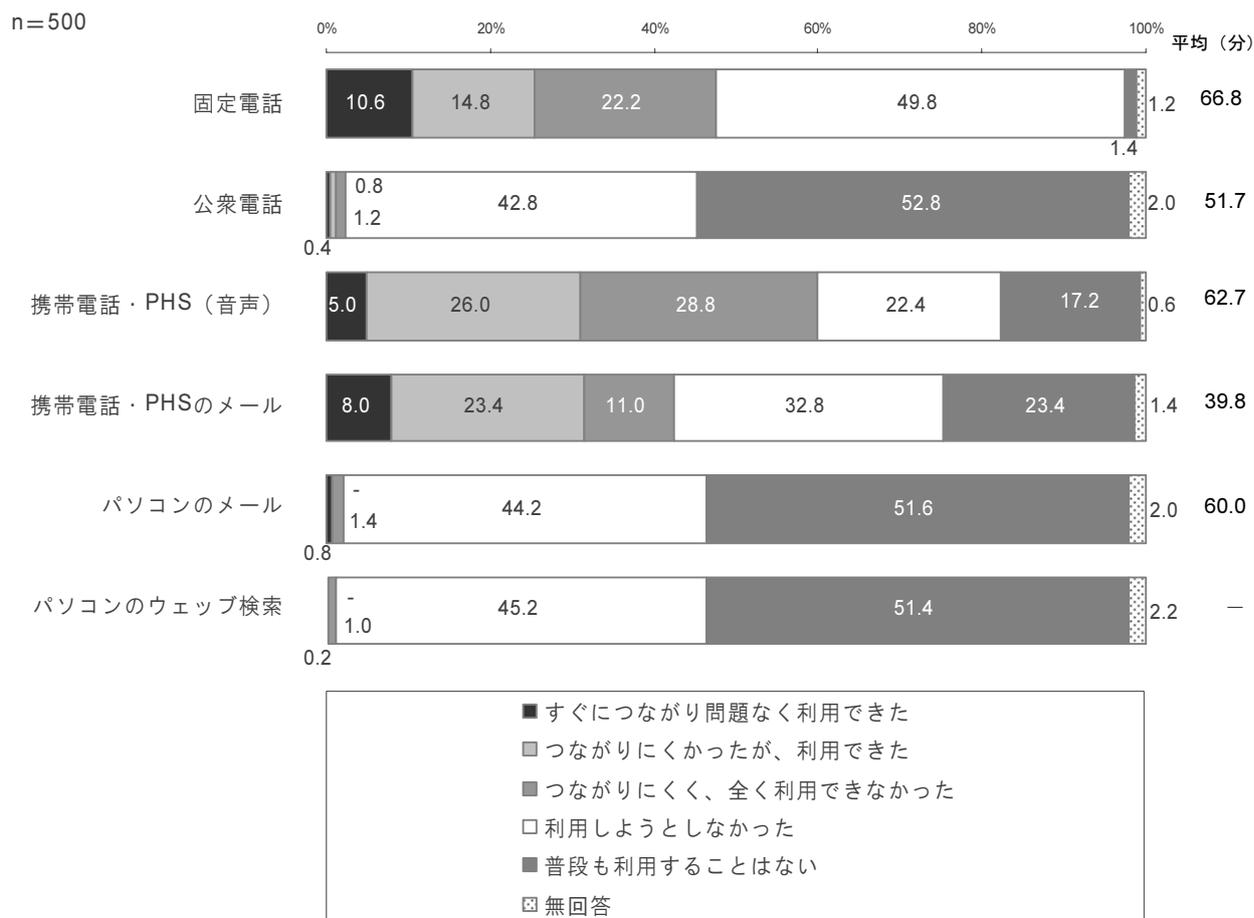
(全体と比べて 10 ポイント以上高いものに  網掛け)

#### IV. 調査結果

### (2) 地震直後の通信手段のつながり具合

「すぐにつながる」携帯電話・PHS（音声）5.0%、携帯電話・PHSのメール8.0%

**問 18** 地震直後（2～3 時間以内）にあなたが利用しようとした通信手段はどのくらいつながりましたか。あてはまるものを1つずつ選んでください。また、それぞれの通信手段を利用し始めてから、つながった時間を分単位で具体的にお答えください。

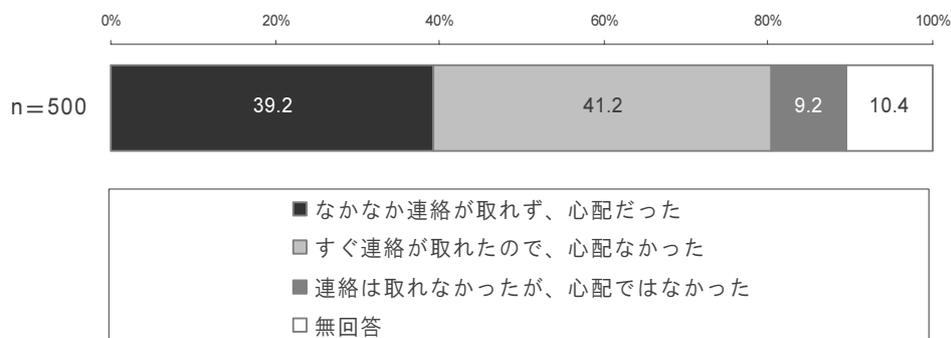


地震直後の通信手段のつながり具合について、通信手段ごとに尋ねたところ、「すぐにつながり問題なく利用できた」は固定電話で10.6%と最も高く、次いで携帯電話・PHSのメールで8.0%、携帯電話・PHS（音声）で5.0%などとなった。携帯・PHS（音声）を利用しようとした人（「すぐつながり問題なく利用できた」「つながりにくかったが、利用できた」「つながりにくく全く利用できなかった」の合計）は6割と他の通信手段に比べ多いが、「すぐにつながり問題なく利用できた」は前述のように5.0%であり、つながりにくくなっていた。

## (3) 安否確認

## 「すぐ連絡が取れた」「なかなか連絡取れず」ともに4割

問19 地震当日、家族や知人と連絡が取れず、安否が心配でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

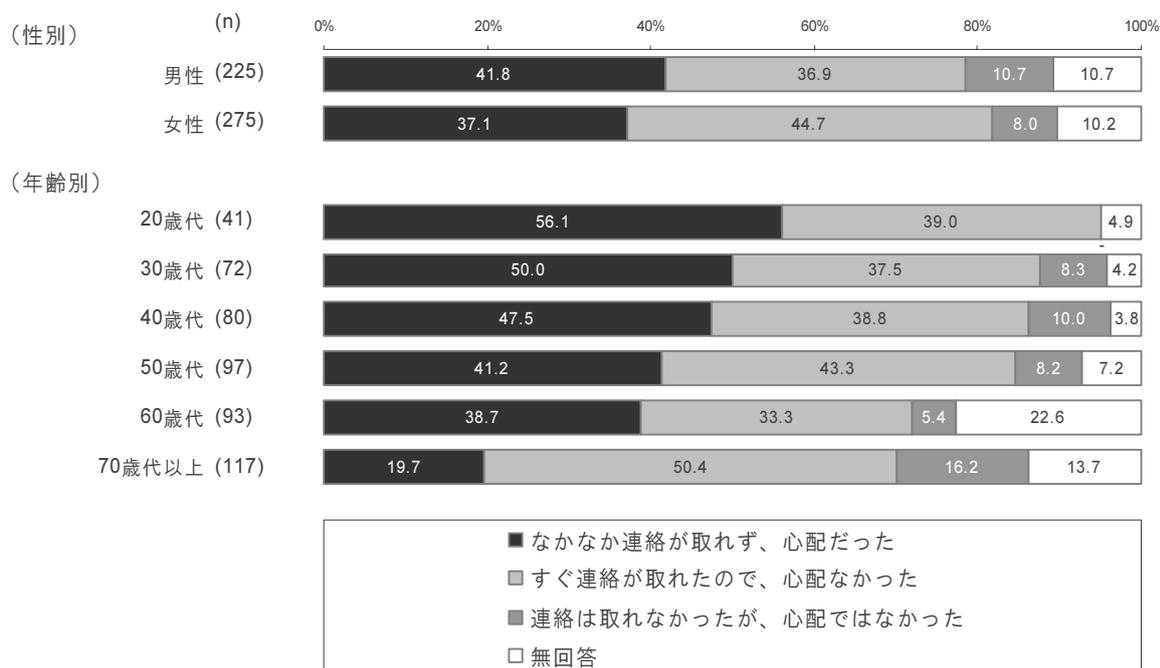


地震当日の家族や知人と連絡が取れず、心配だったかを尋ねたところ、「すぐ連絡取れたので、心配なかった」(41.2%)との回答が最も高く4割強となったが、「なかなか連絡が取れず、心配だった」(39.2%)が次いで高く4割弱であった。

性別にみると、「なかなか連絡が取れず、心配だった」との回答は男性(41.8%)が女性(37.1%)よりも高くなった。

年齢別にみると、「なかなか連絡が取れず、心配だった」との回答は20歳代(56.1%)、30歳代(50.0%)、40歳代(47.5%)など若年層で高い傾向にある。

## [属性別集計結果(性別/年齢別)]

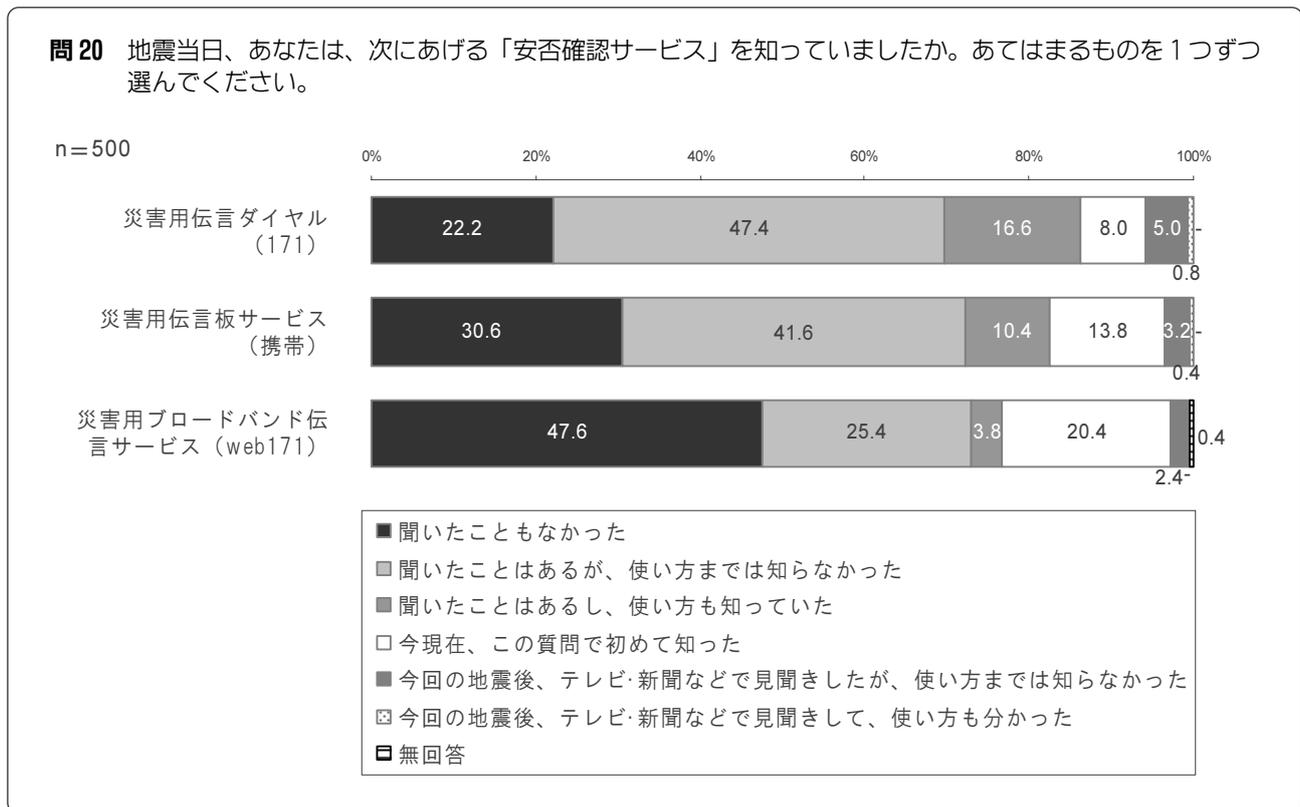


#### IV. 調査結果

### (4) 「安否確認サービス」

#### ① 「安否確認サービス」の認知度

災害用伝言ダイヤル（171）の地震前認知率は5割弱、伝言板サービスで4割



災害伝言ダイヤル（171）などの「安否確認サービス」について認知度をサービスごとに尋ねた。

まず、災害用伝言ダイヤル（171）については、「聞いたことがあるが、使い方までは知らなかった」（47.4%）との回答が最も高く5割弱を占めた。「聞いたことはあるし、使い方も知っていた」（16.6%）は1割台半ばにとどまった。

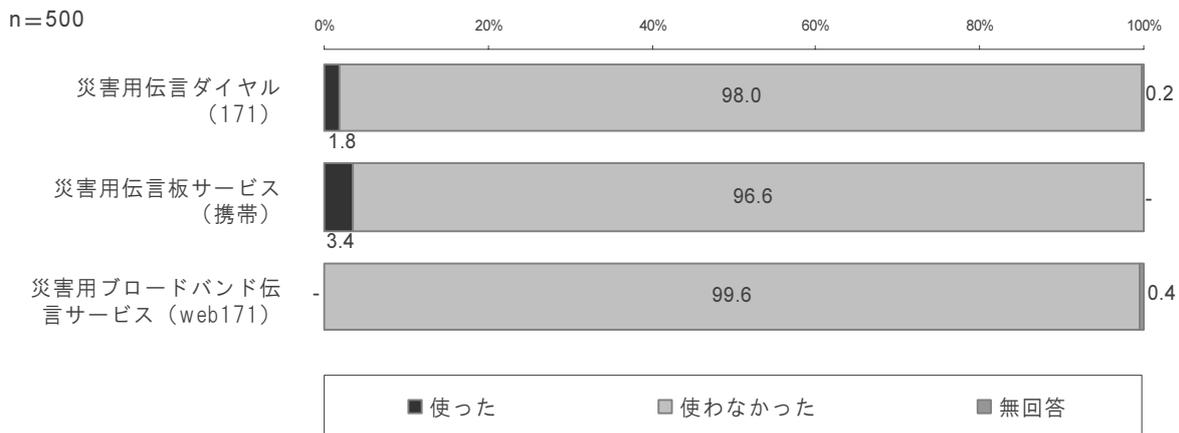
次に、災害用伝言板サービス（携帯）については、「聞いたことがあるが、使い方までは知らなかった」（41.6%）との回答が最も高く4割強を占めた。「聞いたことはあるし、使い方も知っていた」（10.4%）との回答は1割にとどまり、災害用伝言ダイヤル（171）と同様の傾向がみられる。

最後に、災害用ブロードバンド伝言サービス（web171）については、「聞いたこともなかった」（47.6%）との回答が最も高く5割弱を占めた。「今現在、この質問で初めて知った」（20.4%）との回答も2割となった。

## ② 「安否確認サービス」の利用と有用性

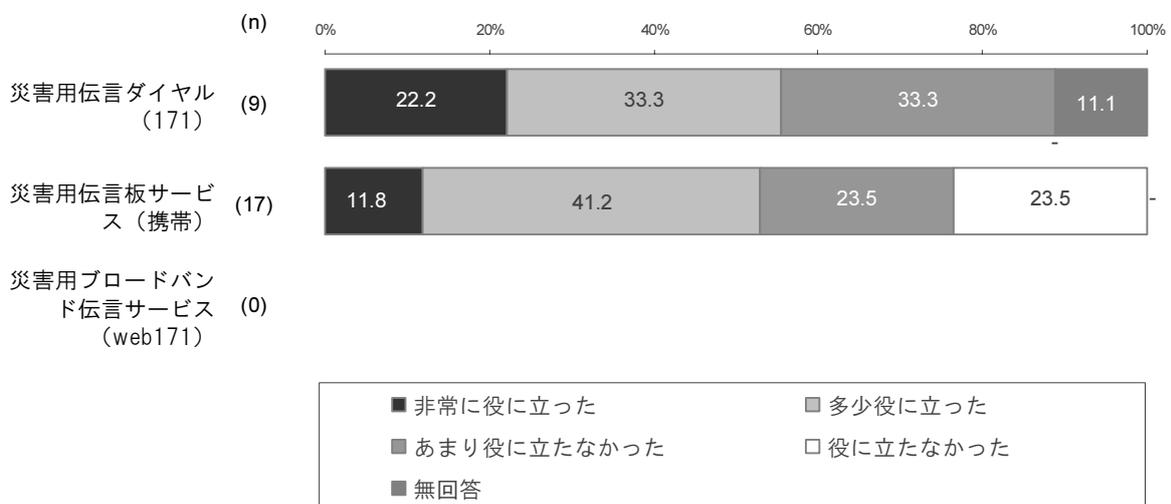
## 利用度は低調だが、5割台半ばは「役に立った」

問 21 あなたは、今回の地震で「安否確認サービス」を使いましたか。あてはまるものを1つずつ選んでください。



問 22 (問 21 で「1. 使った」と回答した方にお聞きします)

「安否確認サービス」は役に立ちましたか。あてはまるものを1つずつ選んでください。



地震当日の時点で「安否確認サービス」を知っていたとした回答者に対して、その使用率を尋ねたところ、「使った」との回答は災害伝言ダイヤル (171) で1.8%、災害用伝言板サービス (携帯) で3.4%であった。なお、災害用ブロードバンド伝言サービス (web171) を「使った」との回答はなかった。

次に「安否確認サービス」を使ったとした回答者に対して、役に立ったかを尋ねたところ、「非常に役に立った」との回答は災害用伝言ダイヤル (171) で22.2%、災害用伝言サービス (携帯) で11.8%であった。

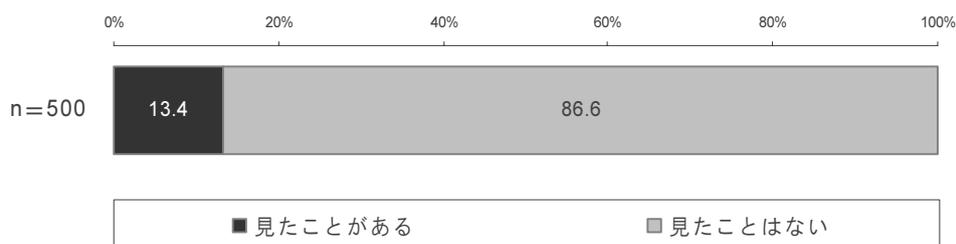
#### IV. 調査結果

### (5) 災害情報を伝えるホームページ

#### ① 閲覧有無

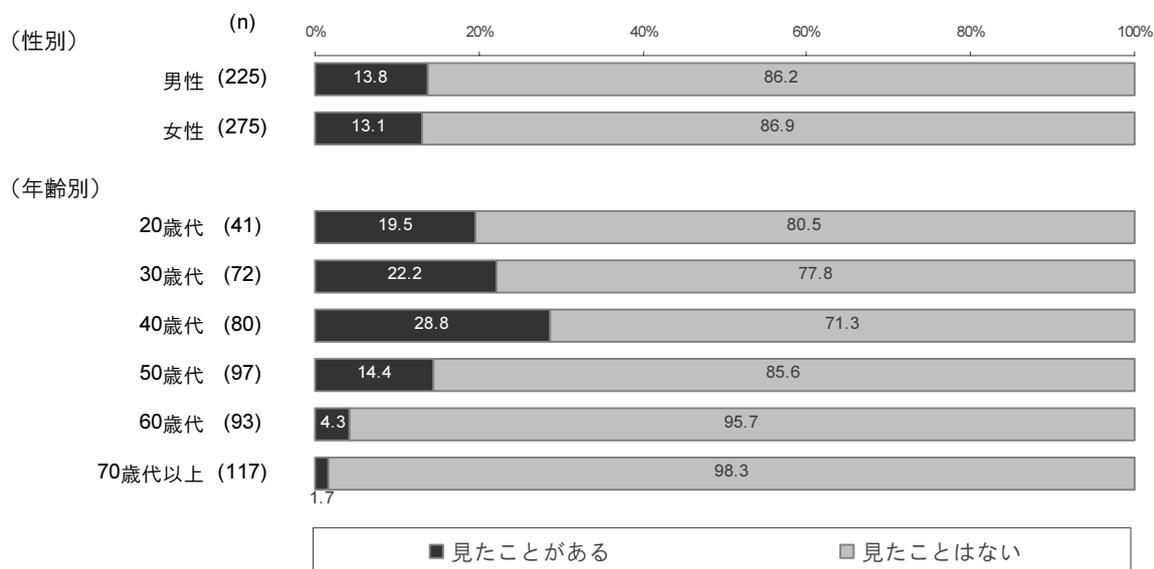
「見たことがある」1割台半ば

**問 23** 災害情報を伝えるホームページがいろいろありましたが、地震後、それらを見たことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



地震後、災害情報を伝えるホームページを見たかどうかを尋ねたところ、「見たことがある」(13.4%)との回答はわずかに1割強であった。

[属性別集計結果 (性別/年齢別)]

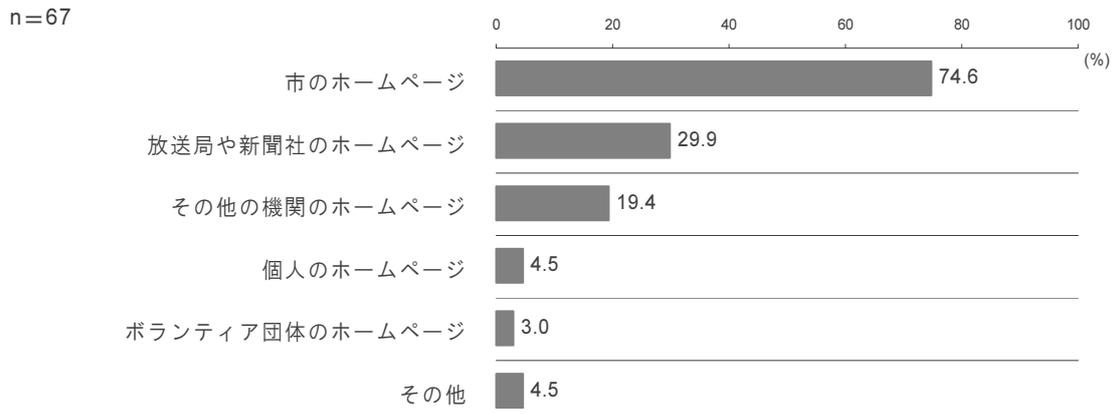


## ② 閲覧したホームページ

## 4人に3人は「市のホームページ」を見ていた

問 23-1 (問 23 で、「1. 見たことがある」と回答した方にお聞きします)

あなたはどのようなホームページを見ましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



地震後、災害情報を伝えるホームページを見たと回答した67人に対し、どのようなホームページを見たか尋ねたところ、「市のホームページ」(74.6%)が最も高く7割台半ばを占めた。次いで「放送局や新聞社のホームページ」(29.9%)が3割弱、「その他の機関のホームページ」(19.4%)が2割弱となった。

[属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|        | 調査数 | 市のホームページ | ボランティア団体のホームページ | 放送局や新聞社のホームページ | その他の機関のホームページ | 個人のホームページ | その他  |
|--------|-----|----------|-----------------|----------------|---------------|-----------|------|
| 全体     | 67  | 74.6     | 3.0             | 29.9           | 19.4          | 4.5       | 4.5  |
| 性別     |     |          |                 |                |               |           |      |
| 男性     | 31  | 77.4     | -               | 25.8           | 16.1          | 3.2       | 6.5  |
| 女性     | 36  | 72.2     | 5.6             | 33.3           | 22.2          | 5.6       | 2.8  |
| 年齢別    |     |          |                 |                |               |           |      |
| 20歳代   | 8   | 62.5     | -               | 37.5           | 37.5          | 12.5      | -    |
| 30歳代   | 16  | 87.5     | 6.3             | 18.8           | 18.8          | -         | -    |
| 40歳代   | 23  | 73.9     | 4.3             | 43.5           | 17.4          | 4.3       | -    |
| 50歳代   | 14  | 71.4     | -               | 7.1            | 14.3          | 7.1       | 21.4 |
| 60歳代   | 4   | 75.0     | -               | 50.0           | 25.0          | -         | -    |
| 70歳代以上 | 2   | 50.0     | -               | 50.0           | -             | -         | -    |

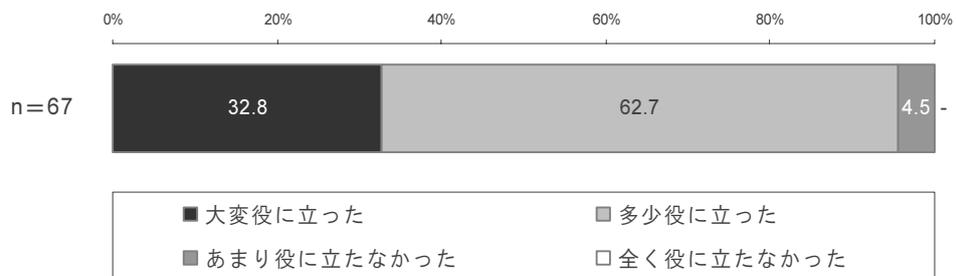
(全体と比べて10ポイント以上高いものに 網掛け)

#### IV. 調査結果

### ③ 役に立ったホームページ

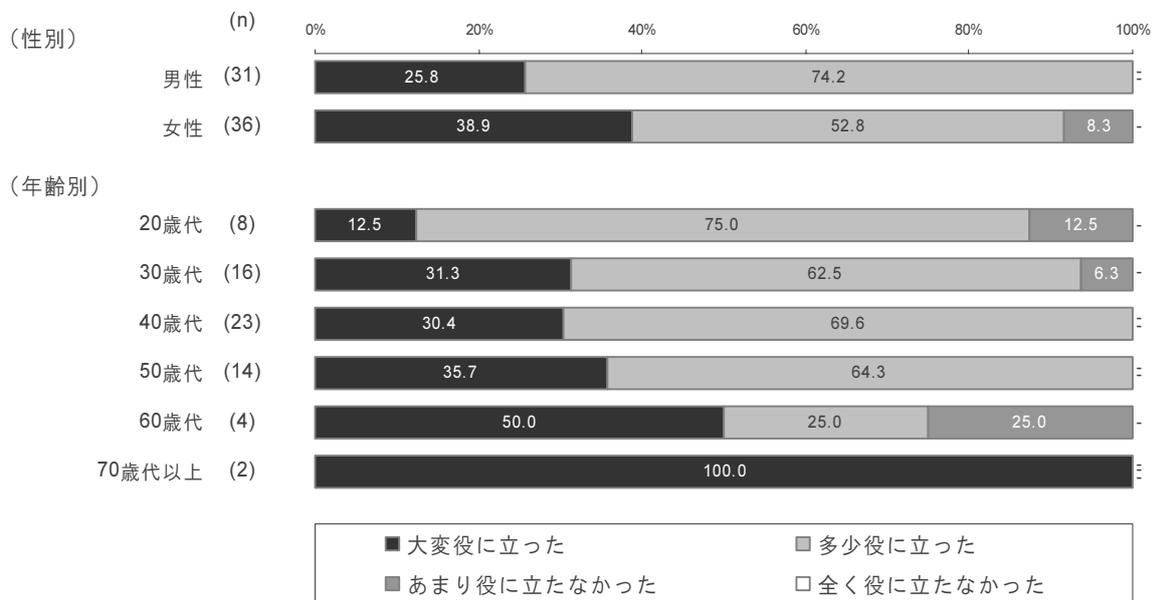
「大変役に立った」3割強、「多少役に立った」6割強

**問 23-2** (問 23 で、「1. 見たことがある」と回答した方にお聞きします)  
 そうしたホームページは役に立ちましたか。あてはまるものを1つ選んでください。



地震後、災害情報を伝えるホームページを見たと回答した67人に対し、そうしたホームページが役に立ったかどうかを尋ねたところ、「多少役に立った」(62.7%)との回答が最も高く6割強を占め、「大変役に立った」(32.8%)を合わせると9割台半ばとなった。

[属性別集計結果 (性別/年齢別)]

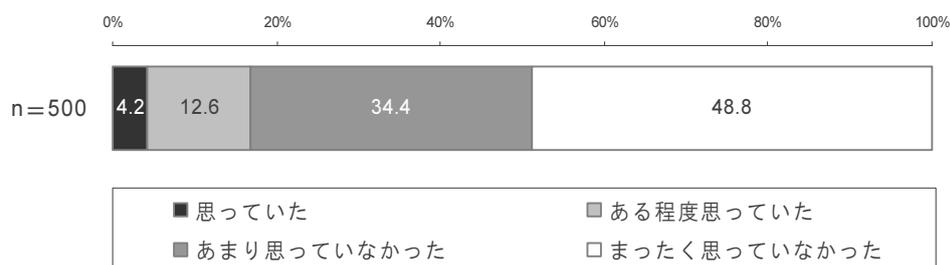


## 6 意識や体験について

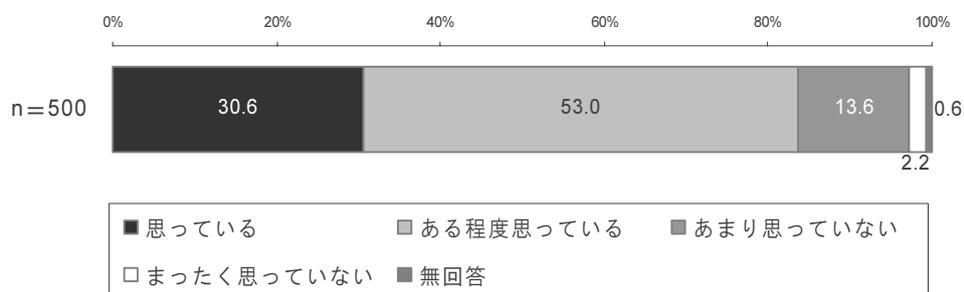
## (1) 大地震に対する意識の変化

## 大地震発生は8割強が想定外、将来の大地震発生は8割強が想定

**問 24** あなたは、これまで、この地域で今回の「新潟県中越沖地震」のような大きな地震が起こると思っていましたか。あてはまるものを1つ選んでください。



**問 25** あなたは、将来、この地域で今回の「新潟県中越沖地震」のような大きな地震が起こると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

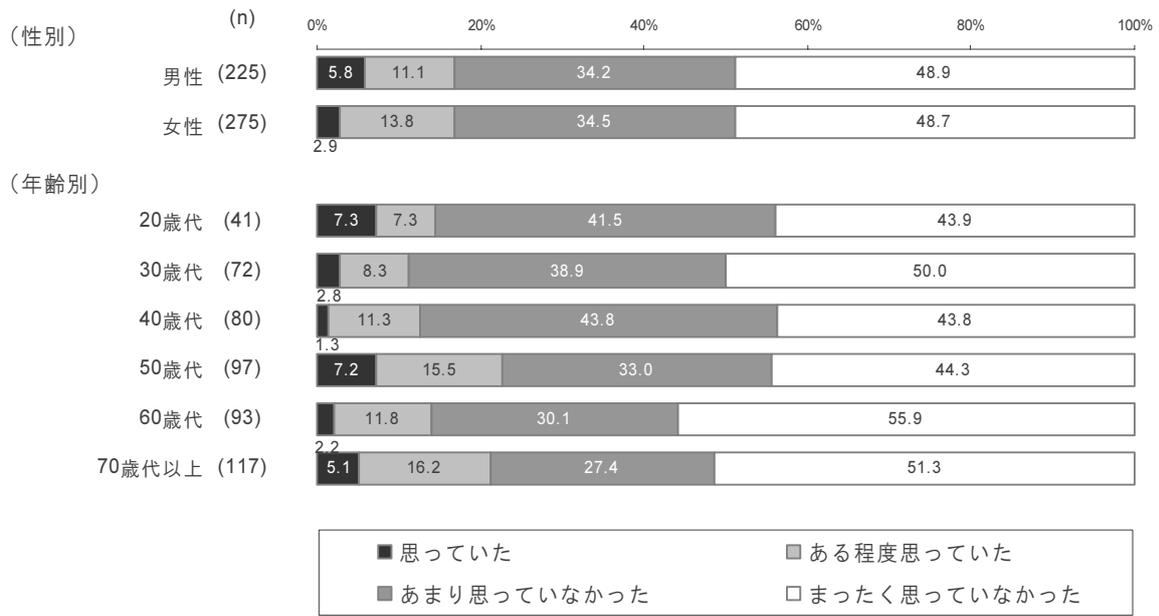


今回のような大地震が居住する地域で起こると思っていたかどうかを尋ねたところ、「まったく思っていなかった」(48.8%)との回答は最も高く5割弱を占め、「あまり思っていなかった」(34.4%)を合わせると8割強が大地震を想定していなかった。

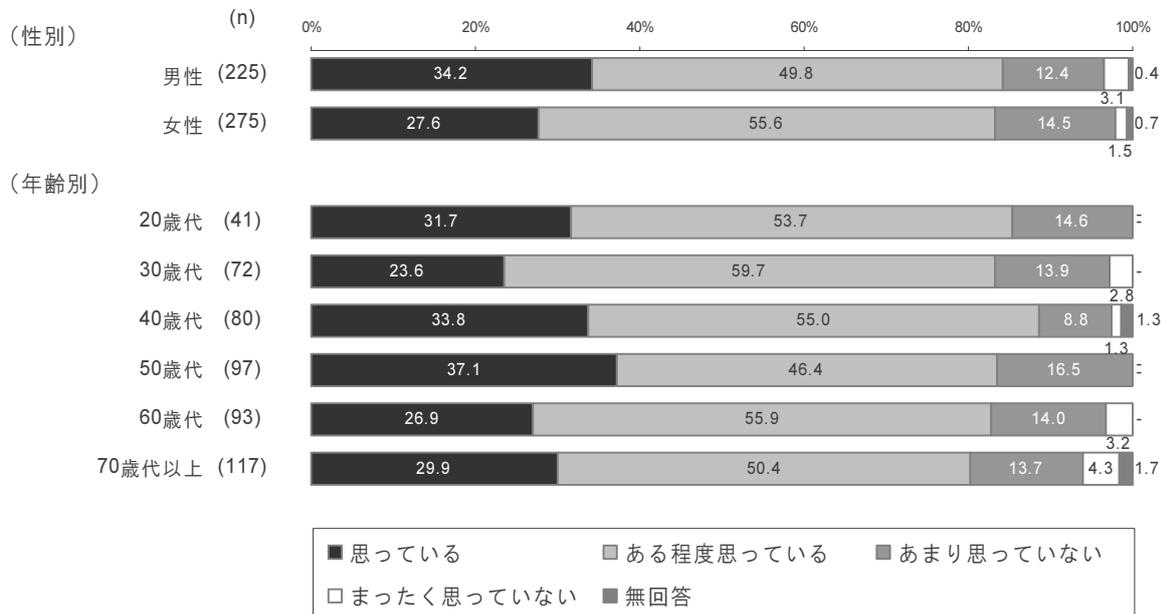
また、将来、この地域で今回のような大地震が起こると思うかどうかについては、「ある程度思っている」(53.0%)との回答が過半数を占め、「思っている」(30.6%)と合わせると8割強となった。

IV. 調査結果

[地震前の大地震発生予想：属性別集計結果（性別／年齢別）]



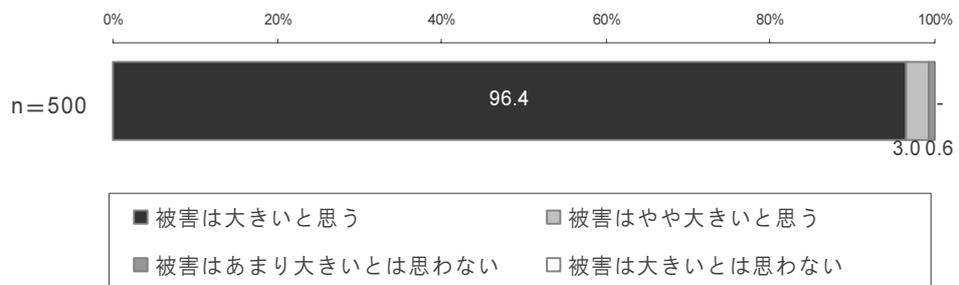
[地震後の大地震発生予想：属性別集計結果（性別／年齢別）]



## (2) 地震被害に対する意識

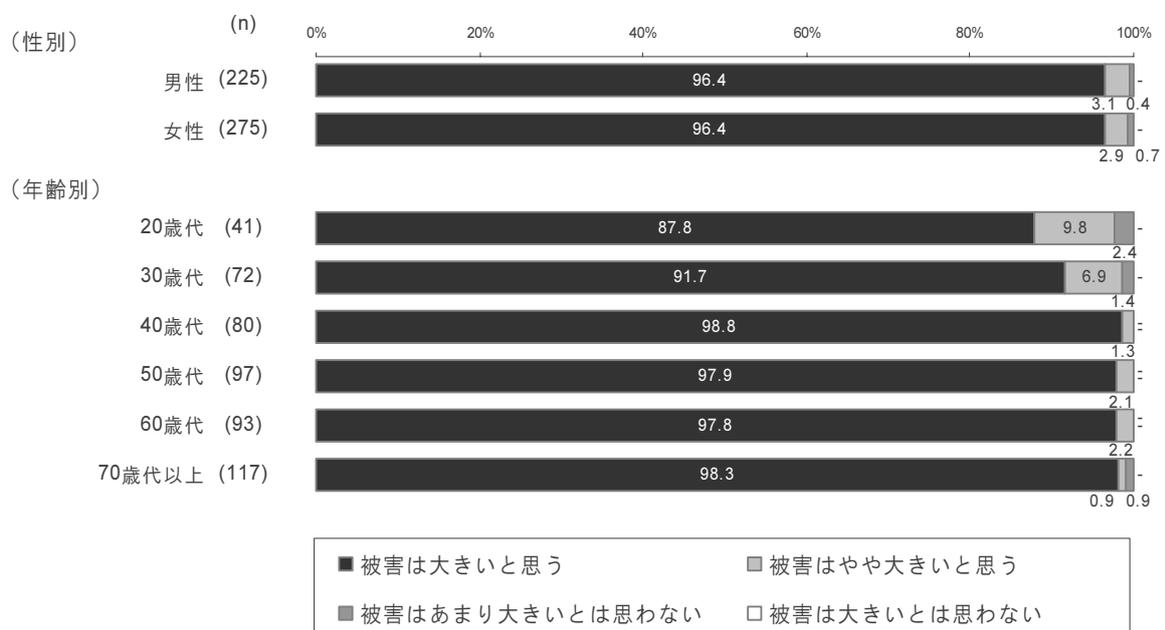
## 「被害は大きい」9割台半ば

問26 今回の地震の被害についてどのように感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。



今回の地震の被害については、「被害は大きいと思う」(96.4%)との回答が最も高く9割台半ばと大半を占めた。

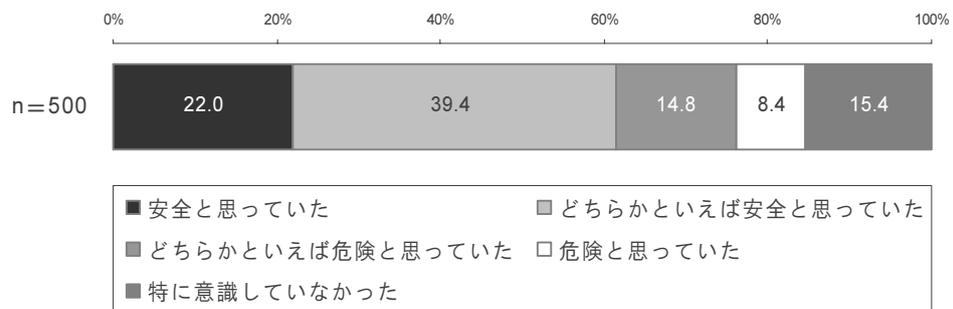
## [属性別集計結果 (性別/年齢別)]



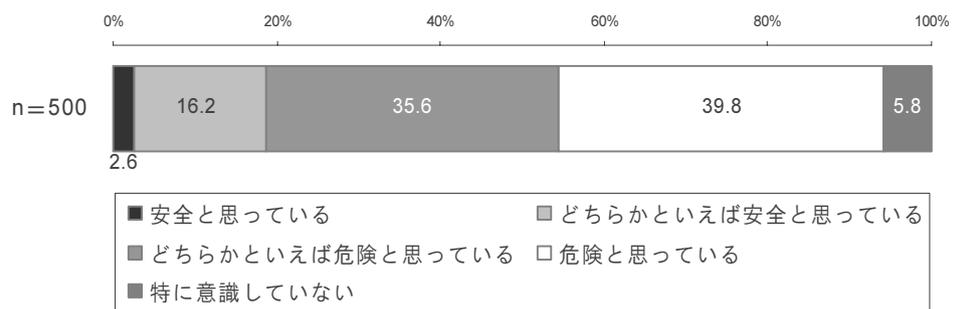
## (3) 地域の安全性に対する意識

## 居住地域が「安全」、地震前 6 割強 → 地震後 2 割弱

**問 27** 今回の地震の前、あなたの住んでいる地域は、地震に対して安全だと感じていますか。それとも危険だと感じていますか。あてはまるものを 1 つ選んでください。



**問 28** それでは今回の地震を経験して、あなたの住んでいる地域は、地震に対して安全だと感じていますか。それとも危険だと感じていますか。あてはまるものを 1 つ選んでください。

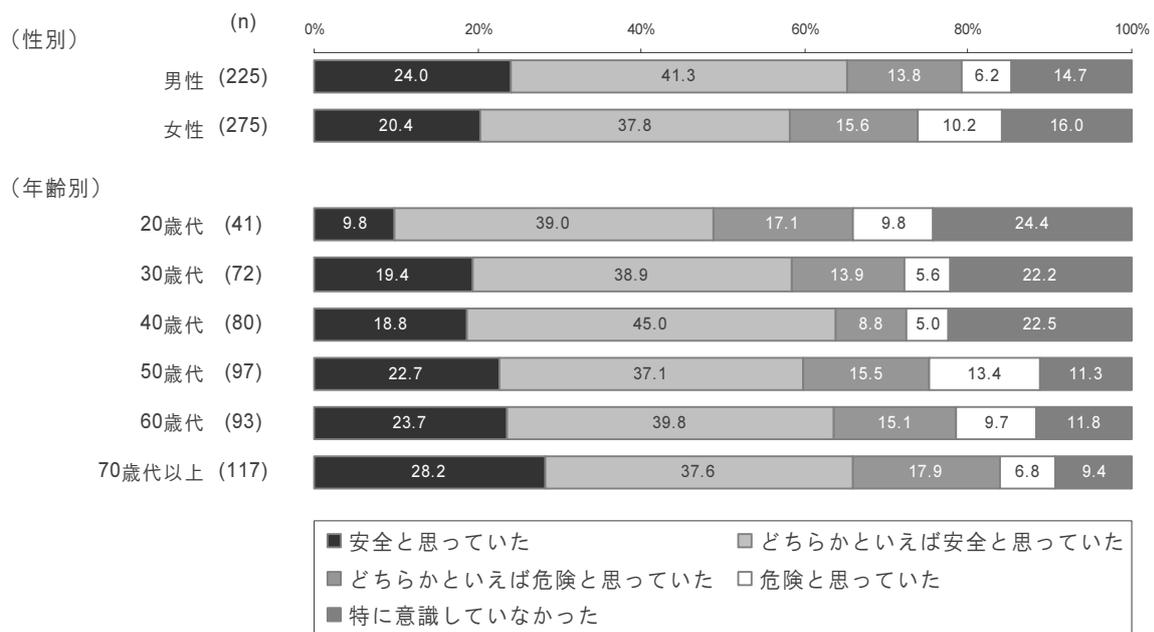


居住する地域の地震に対する安全性について、地震前後で尋ねた。

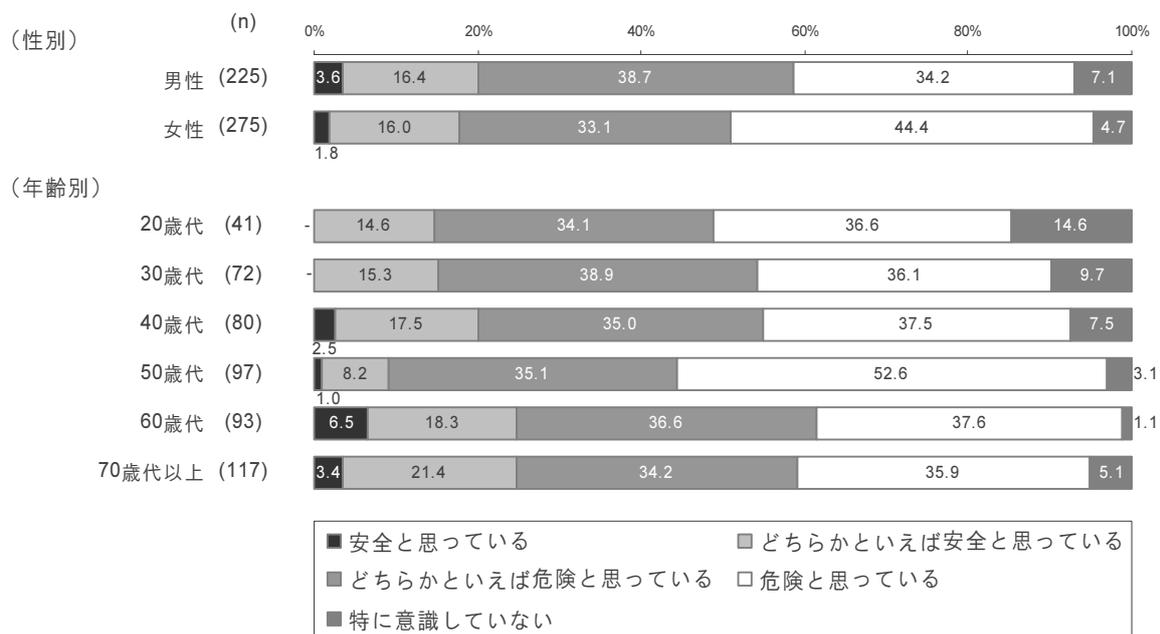
地震前は、「どちらかといえば安全と思っていた」(39.4%)との回答が最も高く、「安全と思っていた」(22.0%)を合わせると 6 割強が危険を感じていなかった。なお、「危険だと思っていた」(8.4%)、「どちらかといえば危険だと思っていた」(14.8%)といった回答は 2 割強に過ぎなかった。なお、「特に意識していない」(15.4%)との回答は 1 割台半ばであった。

一方、地震後は、「危険と思っている」(39.8%)との回答が最も高くなり、「どちらかといえば危険と思っている」(35.6%)を合わせると 7 割台半ばとなった。なお、「安全だと思っている」(2.6%)、「どちらかといえば安全と思っている」(16.2%)といった回答は 2 割に満たない。

[地震前の意識：属性別集計結果（性別／年齢別）]



[地震後の意識：属性別集計結果（性別／年齢別）]



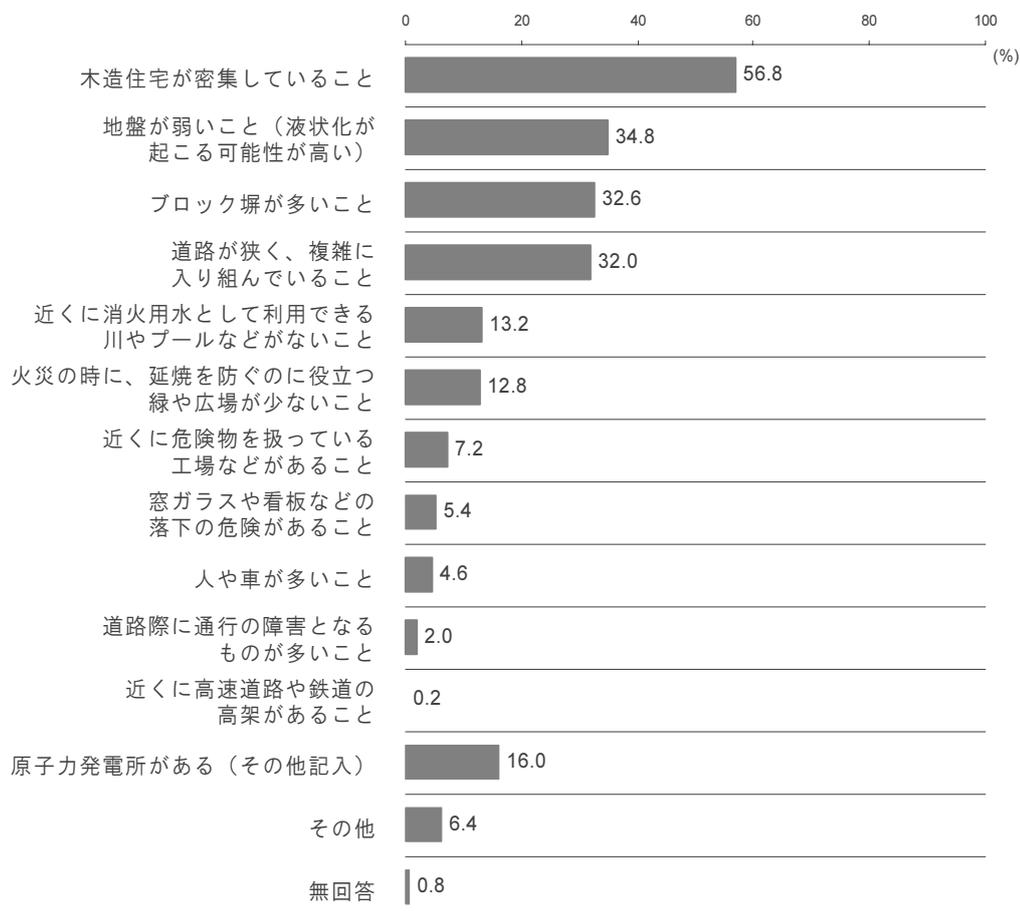
#### IV. 調査結果

### (4) 地域の危険な点

#### 「木造住宅の密集」5割台半ば

問 29 この地域はどのような点が危険だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

n=500



※「原子力発電所がある (その他記入)」は、「その他」に記入された文字回答からカテゴリ化。

居住する地域のどのような点が危険だと思うかを尋ねたところ、「木造住宅が密集していること」(56.8%)との回答が最も高く5割台半ばを占めた。次いで「地盤が弱いこと(液状化が起こる可能性が高い)」(34.8%)、「ブロック塀が多いこと」(32.6%)、「道路が狭く、複雑には入り組んでいること」(32.0%)が3割以上で続いている。

[属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|        | 調査数 | 木造住宅が密集していること | とプロツク塀が多いこと | 入り組んだ狭く、複雑な道路 | と道路際に通行の障害となるものが多いこと | 窓ガラスや看板などの落下の危険があること | 近くにある工場などがあること | 近くにある危険物を扱っていること | 地盤が弱いこと(液状化が起る可能性が高い) | 広場の少ないこと | 火災の時に、延焼を防ぐのに役立つこと | と近づくに消火用水と利用できない川や池 | 人や車が多いこと | 道に高架があること | その他 | 無回答 |
|--------|-----|---------------|-------------|---------------|----------------------|----------------------|----------------|------------------|-----------------------|----------|--------------------|---------------------|----------|-----------|-----|-----|
| 全体     | 500 | 56.8          | 32.6        | 32.0          | 2.0                  | 5.4                  | 7.2            | 34.8             | 12.8                  | 13.2     | 4.6                | 0.2                 | 22.4     | 0.8       |     |     |
| 性別     |     |               |             |               |                      |                      |                |                  |                       |          |                    |                     |          |           |     |     |
| 男性     | 225 | 57.3          | 34.2        | 35.1          | 1.3                  | 5.3                  | 3.6            | 38.7             | 15.1                  | 14.7     | 5.8                | -                   | 15.1     | 0.9       |     |     |
| 女性     | 275 | 56.4          | 31.3        | 29.5          | 2.5                  | 5.5                  | 10.2           | 31.6             | 10.9                  | 12.0     | 3.6                | 0.4                 | 28.4     | 0.7       |     |     |
| 年齢別    |     |               |             |               |                      |                      |                |                  |                       |          |                    |                     |          |           |     |     |
| 20歳代   | 41  | 58.5          | 41.5        | 41.5          | -                    | -                    | 12.2           | 26.8             | 2.4                   | 2.4      | 4.9                | -                   | 36.6     | 2.4       |     |     |
| 30歳代   | 72  | 51.4          | 38.9        | 41.7          | 2.8                  | 5.6                  | 13.9           | 30.6             | 9.7                   | 11.1     | 4.2                | -                   | 23.6     | 1.4       |     |     |
| 40歳代   | 80  | 57.5          | 31.3        | 33.8          | 2.5                  | 5.0                  | 2.5            | 37.5             | 6.3                   | 8.8      | 3.8                | -                   | 28.8     | -         |     |     |
| 50歳代   | 97  | 51.5          | 28.9        | 27.8          | 3.1                  | 10.3                 | 10.3           | 45.4             | 14.4                  | 16.5     | 6.2                | 1.0                 | 23.7     | 1.0       |     |     |
| 60歳代   | 93  | 62.4          | 31.2        | 23.7          | 2.2                  | 6.5                  | 3.2            | 35.5             | 23.7                  | 16.1     | 4.3                | -                   | 12.9     | 1.1       |     |     |
| 70歳代以上 | 117 | 59.0          | 30.8        | 31.6          | 0.9                  | 2.6                  | 5.1            | 29.1             | 12.8                  | 16.2     | 4.3                | -                   | 18.8     | -         |     |     |

(全体と比べて 10 ポイント以上高いものに 網掛け)

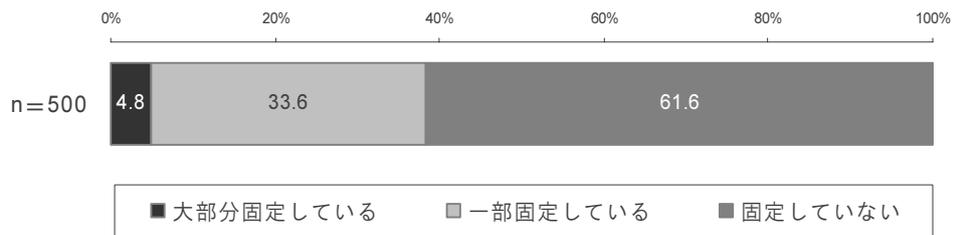
#### IV. 調査結果

### (5) 地震への備え

#### ① 家具の固定

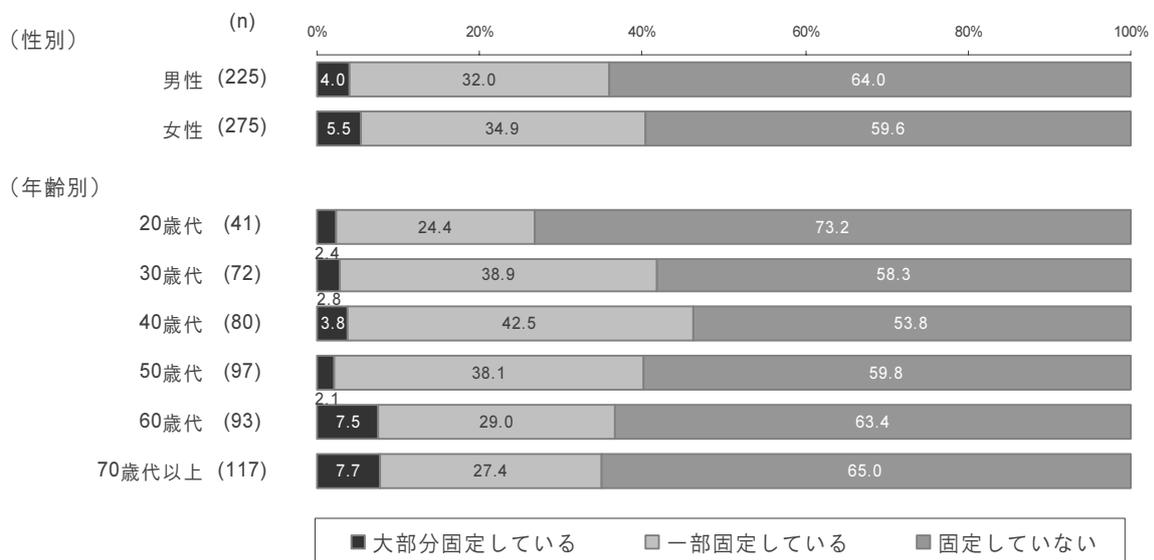
#### 家具の固定は4割弱

問30 お宅では、地震に備えて家具の固定をしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。



地震に備えて家具の固定をしていたかどうか尋ねたところ、「大部分固定している」(4.8%)、「一部固定している」(33.6%)を合わせると固定しているのは4割弱であった。

[属性別集計結果 (性別/年齢別)]

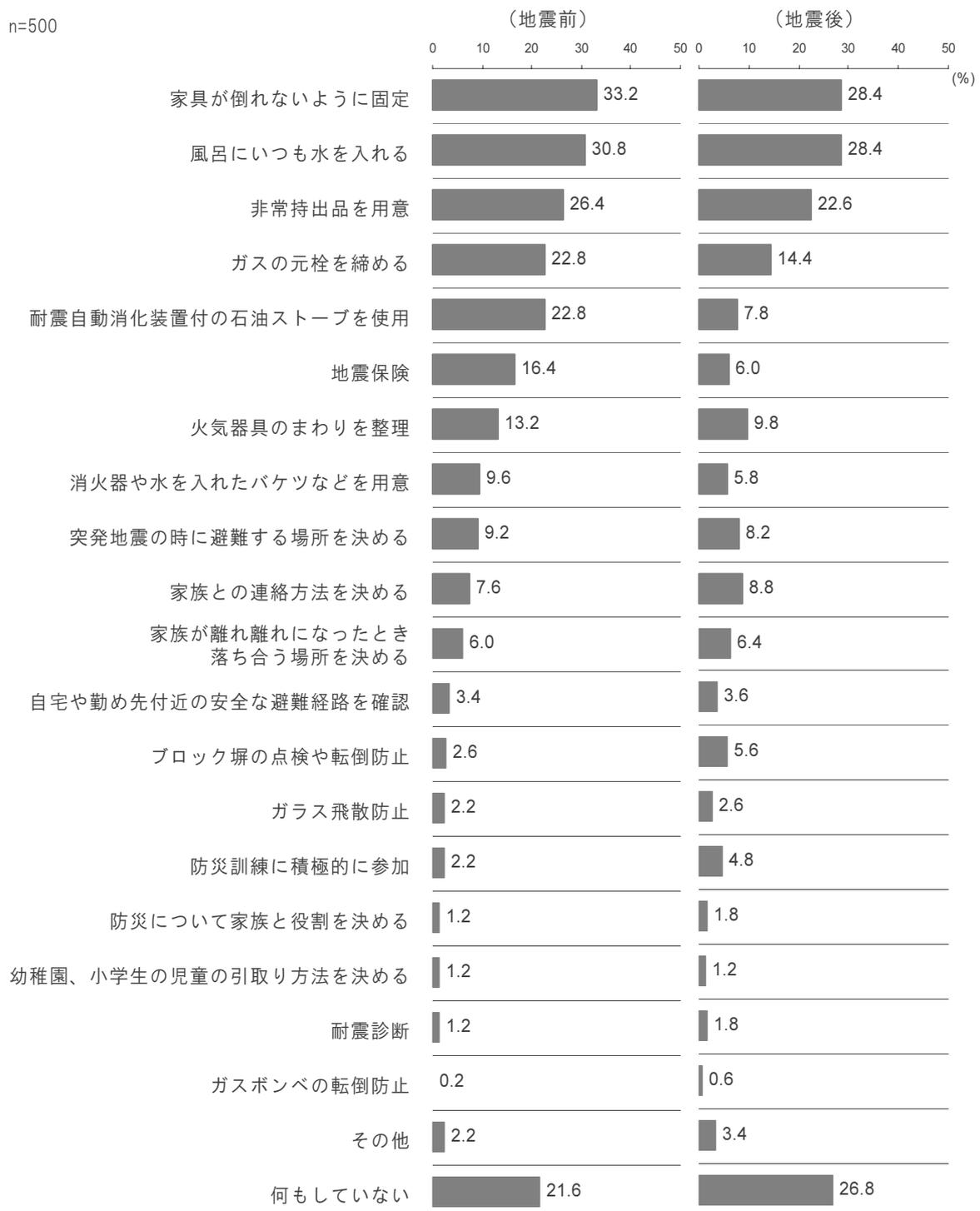


## ② 具体的な地震対策

## 「家具の固定」「風呂に水」3割強

**問 31** 次にあげるものの中で、地震に備えてお宅で行っていたものはありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

**問 32** 次にあげるものの中で、今回の地震をきっかけにお宅で行っているものはありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



#### IV. 調査結果

地震対策として行っていたことを地震前後で尋ねた。

地震前は、「家具が倒れないように固定していた」(33.2%)との回答が最も高く 3 割強、次いで「風呂にいつも水を入れていた」(30.8%)、「非常持出品を用意していた」(26.4%)、「ガスを使わないときに元栓を締めていた」(22.8%)、「石油ストーブは耐震自動消化装置付の物を使用していた」(22.8%)などが続いている。

地震後は、「家具が倒れないように固定していた」、「風呂にいつも水を入れていた」(ともに 28.4%)との回答が最も高く 2 割弱となった。「何もしていない」(26.8%)との回答も 2 割台半ばとなっており、今回の地震を受けての対策進捗度としては低調であるように見えるが、「その他」の具体的な内容として「まだ片付け中」、「まだ余裕がない」などの回答が多く、本調査を行った時期が早かったために次に起こる地震の対策まで手が回っていないということも考えられる。

[地震前：属性別集計結果（性別／年齢別）]

|        | 調査数 | 役割を決めて家族と | 家族との連絡方法を | 家族との連絡方法を | 突発地震の時に避難 | 家族が離れ離れに合 |
|--------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 全体     | 500 | 1.2       | 7.6       | 9.2       | 6.0       | 3.4       | 22.8      | 13.2      | 22.8      | 30.8      | 9.6       | 1.2       | 2.2       | 0.2       | 33.2      |           |           |           |
| 性別     |     |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |
| 男性     | 225 | 1.8       | 6.7       | 11.1      | 4.9       | 4.0       | 20.9      | 13.3      | 24.0      | 28.4      | 10.7      | 0.4       | 1.8       | -         | 28.4      |           |           |           |
| 女性     | 275 | 0.7       | 8.4       | 7.6       | 6.9       | 2.9       | 24.4      | 13.1      | 21.8      | 32.7      | 8.7       | 1.8       | 2.5       | 0.4       | 37.1      |           |           |           |
| 年齢別    |     |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |
| 20歳代   | 41  | -         | 4.9       | 4.9       | 9.8       | 2.4       | 19.5      | 12.2      | 14.6      | 14.6      | -         | -         | 2.4       | -         | 22.0      |           |           |           |
| 30歳代   | 72  | 1.4       | 8.3       | 4.2       | 2.8       | 2.8       | 15.3      | 11.1      | 13.9      | 23.6      | 15.3      | 2.8       | 4.2       | -         | 34.7      |           |           |           |
| 40歳代   | 80  | -         | 8.8       | 8.8       | 8.8       | 2.5       | 18.8      | 5.0       | 13.8      | 25.0      | 5.0       | 2.5       | 5.0       | -         | 35.0      |           |           |           |
| 50歳代   | 97  | 2.1       | 6.2       | 9.3       | 6.2       | 6.2       | 19.6      | 13.4      | 28.9      | 32.0      | 8.2       | 2.1       | -         | -         | 38.1      |           |           |           |
| 60歳代   | 93  | 1.1       | 12.9      | 9.7       | 5.4       | 3.2       | 35.5      | 21.5      | 36.6      | 38.7      | 9.7       | -         | 2.2       | -         | 32.3      |           |           |           |
| 70歳代以上 | 117 | 1.7       | 4.3       | 13.7      | 5.1       | 2.6       | 23.9      | 13.7      | 21.4      | 37.6      | 13.7      | -         | 0.9       | 0.9       | 31.6      |           |           |           |

|        | 調査数 | 転倒防止を施した | 参加した | 非常持出品を用意し | 耐震診断をした | 地震保険に入っ | その他 | 何もしていな |
|--------|-----|----------|------|-----------|---------|---------|-----|--------|
| 全体     | 500 | 2.6      | 2.2  | 26.4      | 1.2     | 16.4    | 2.2 | 21.6   |
| 性別     |     |          |      |           |         |         |     |        |
| 男性     | 225 | 4.4      | 1.8  | 25.8      | 1.3     | 16.0    | 1.3 | 25.3   |
| 女性     | 275 | 1.1      | 2.5  | 26.9      | 1.1     | 16.7    | 2.9 | 18.5   |
| 年齢別    |     |          |      |           |         |         |     |        |
| 20歳代   | 41  | -        | -    | 24.4      | -       | 19.5    | 4.9 | 29.3   |
| 30歳代   | 72  | 1.4      | -    | 20.8      | 1.4     | 16.7    | 4.2 | 23.6   |
| 40歳代   | 80  | 1.3      | 2.5  | 35.0      | 2.5     | 18.8    | 1.3 | 21.3   |
| 50歳代   | 97  | -        | 3.1  | 24.7      | 1.0     | 15.5    | 3.1 | 21.6   |
| 60歳代   | 93  | 4.3      | 4.3  | 22.6      | 1.1     | 19.4    | 1.1 | 17.2   |
| 70歳代以上 | 117 | 6.0      | 1.7  | 29.1      | 0.9     | 12.0    | 0.9 | 21.4   |

[地震後：属性別集計結果（性別／年齢別）]

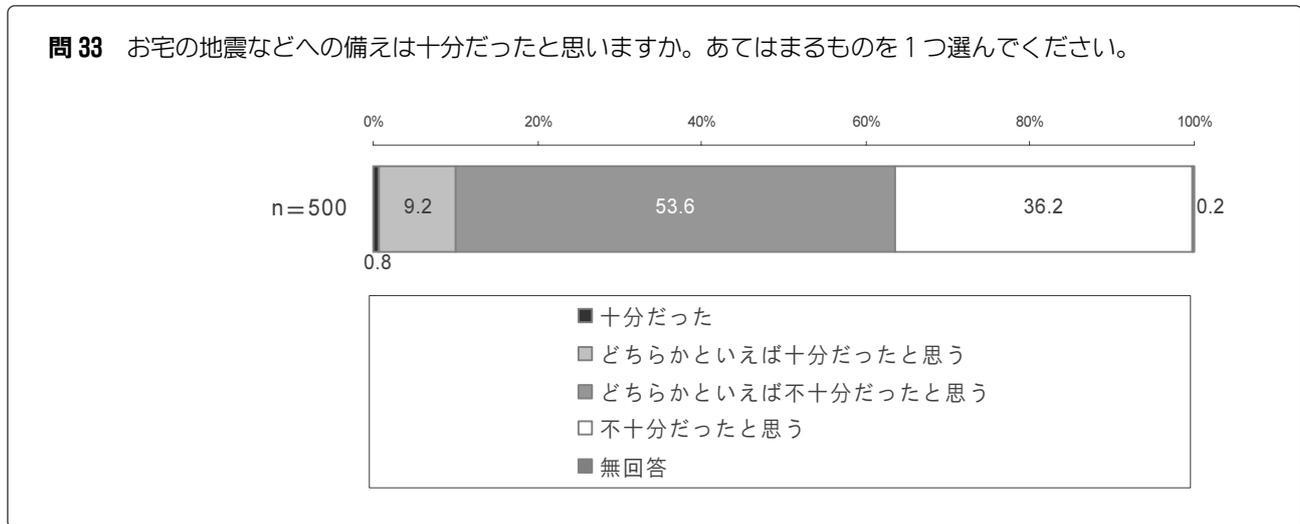
|        | 調査数 | 役割を決めて家族と | 家族との連絡方法を | 突発地震の時に避難 | 家族が離れ離れに合 |
|--------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 全体     | 500 | 1.8       | 8.8       | 8.2       | 6.4       | 3.6       | 14.4      | 9.8       | 7.8       | 28.4      | 5.8       | 1.2       | 2.6       | 0.6       | 28.4      |           |           |           |
| 性別     |     |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |
| 男性     | 225 | 2.2       | 8.4       | 10.2      | 5.8       | 4.0       | 12.9      | 10.2      | 4.4       | 28.0      | 5.8       | 0.9       | 1.3       | -         | 28.9      |           |           |           |
| 女性     | 275 | 1.5       | 9.1       | 6.5       | 6.9       | 3.3       | 15.6      | 9.5       | 10.5      | 28.7      | 5.8       | 1.5       | 3.6       | 1.1       | 28.0      |           |           |           |
| 年齢別    |     |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |
| 20歳代   | 41  | 2.4       | 12.2      | 2.4       | 7.3       | 7.3       | 7.3       | 9.8       | 2.4       | 22.0      | 7.3       | -         | 2.4       | 2.4       | 22.0      |           |           |           |
| 30歳代   | 72  | 2.8       | 13.9      | 9.7       | 9.7       | 4.2       | 6.9       | 6.9       | 4.2       | 22.2      | 6.9       | 1.4       | 4.2       | -         | 29.2      |           |           |           |
| 40歳代   | 80  | 1.3       | 5.0       | 6.3       | 7.5       | 1.3       | 16.3      | 10.0      | 1.3       | 31.3      | 7.5       | 1.3       | 1.3       | -         | 40.0      |           |           |           |
| 50歳代   | 97  | 3.1       | 5.2       | 7.2       | 6.2       | 4.1       | 14.4      | 10.3      | 5.2       | 24.7      | 5.2       | 1.0       | 3.1       | 1.0       | 28.9      |           |           |           |
| 60歳代   | 93  | -         | 9.7       | 8.6       | 7.5       | 3.2       | 17.2      | 10.8      | 16.1      | 28.0      | 3.2       | 2.2       | 3.2       | -         | 21.5      |           |           |           |
| 70歳代以上 | 117 | 1.7       | 9.4       | 11.1      | 2.6       | 3.4       | 17.9      | 10.3      | 12.0      | 35.9      | 6.0       | 0.9       | 1.7       | 0.9       | 27.4      |           |           |           |

|        | 調査数 | 転倒防止を施した | 参加した | 非常持出品を用意し | 耐震診断をした | 地震保険に入っ | その他 | 何もしていな |
|--------|-----|----------|------|-----------|---------|---------|-----|--------|
| 全体     | 500 | 5.6      | 4.8  | 22.6      | 1.8     | 6.0     | 3.4 | 26.8   |
| 性別     |     |          |      |           |         |         |     |        |
| 男性     | 225 | 7.1      | 5.3  | 17.8      | 1.3     | 5.8     | 3.1 | 29.8   |
| 女性     | 275 | 4.4      | 4.4  | 26.5      | 2.2     | 6.2     | 3.6 | 24.4   |
| 年齢別    |     |          |      |           |         |         |     |        |
| 20歳代   | 41  | -        | 2.4  | 36.6      | -       | 4.9     | -   | 22.0   |
| 30歳代   | 72  | 6.9      | 4.2  | 18.1      | 2.8     | 2.8     | 5.6 | 23.6   |
| 40歳代   | 80  | 3.8      | 2.5  | 23.8      | 2.5     | 5.0     | 2.5 | 22.5   |
| 50歳代   | 97  | 7.2      | 6.2  | 20.6      | 4.1     | 6.2     | 2.1 | 34.0   |
| 60歳代   | 93  | 7.5      | 2.2  | 18.3      | -       | 8.6     | 5.4 | 30.1   |
| 70歳代以上 | 117 | 5.1      | 8.5  | 24.8      | 0.9     | 6.8     | 3.4 | 24.8   |

(全体と比べて10ポイント以上高いものに 網掛け)

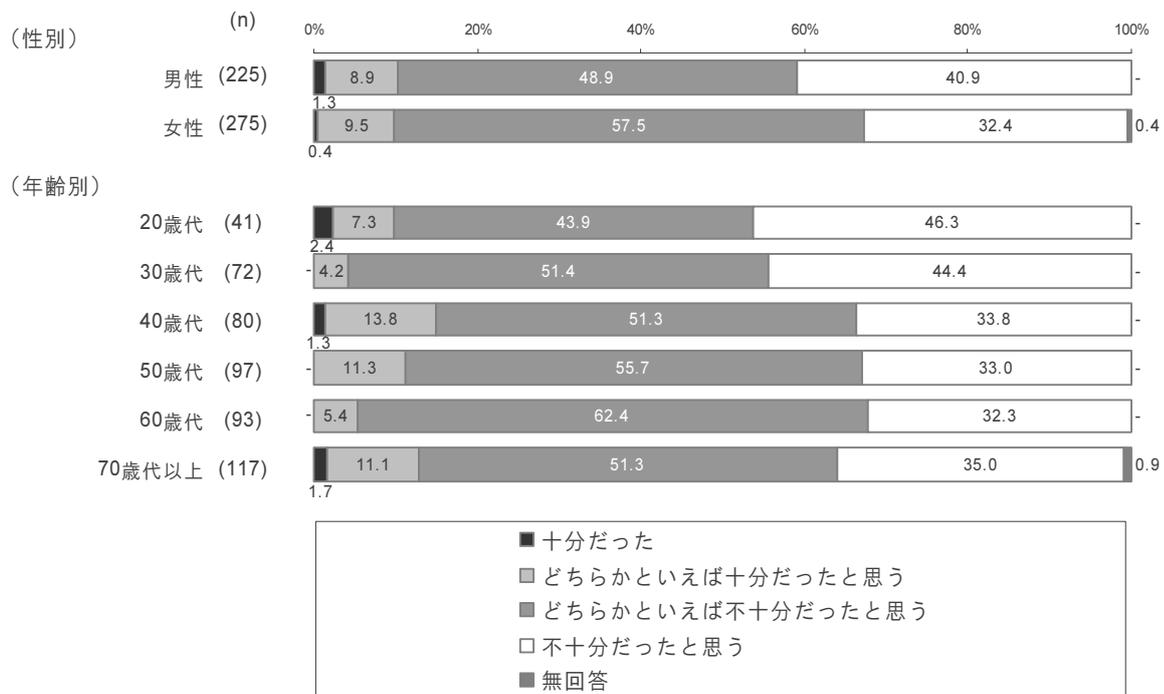
③ 地震対策の充足意識

不十分だった 9 割弱



地震などへの備えは十分だったかどうかを尋ねたところ、「どちらかといえば不十分だったと思う」(53.6%)との回答が過半数を占めた。「不十分だったと思う」(36.2%)を合わせると9割弱が不十分だったとの評価であった。

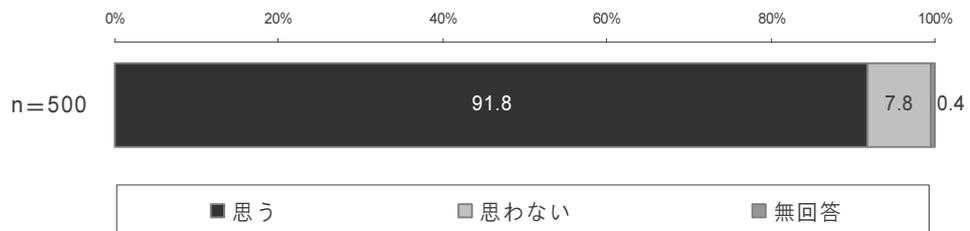
[属性別集計結果 (性別/年齢別)]



## ④ 今後の防災準備

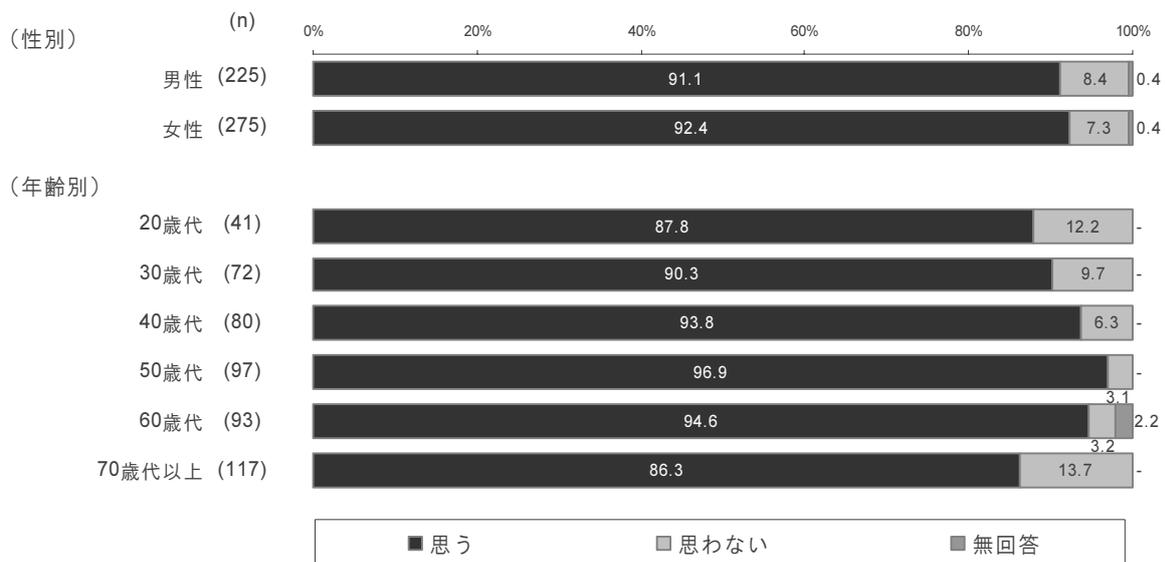
## 今後、防災準備をしようと「思う」9割強

問34 今回の地震を通じて、今後、防災の準備をしようと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。



今回の地震を経験して、今後、防災の準備をしようと思うかどうかを尋ねたところ、「思う」(91.8%)との回答が9割強を占め、「思わない」(7.8%)を大きく上回った。

[属性別集計結果 (性別/年齢別)]

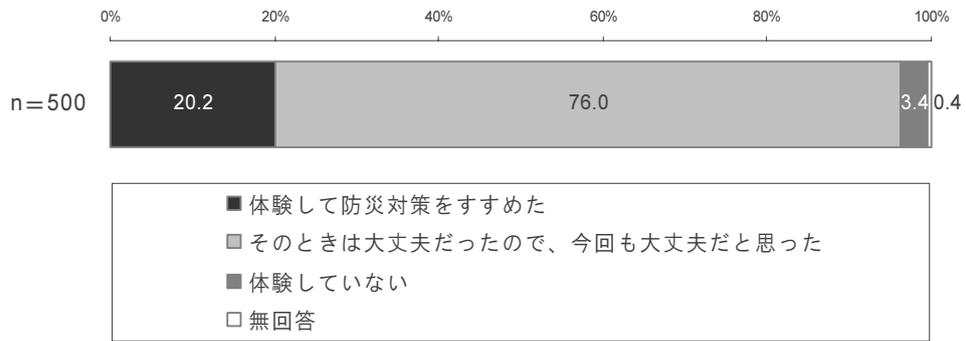


IV. 調査結果

⑤ 「新潟県中越地震」の経験

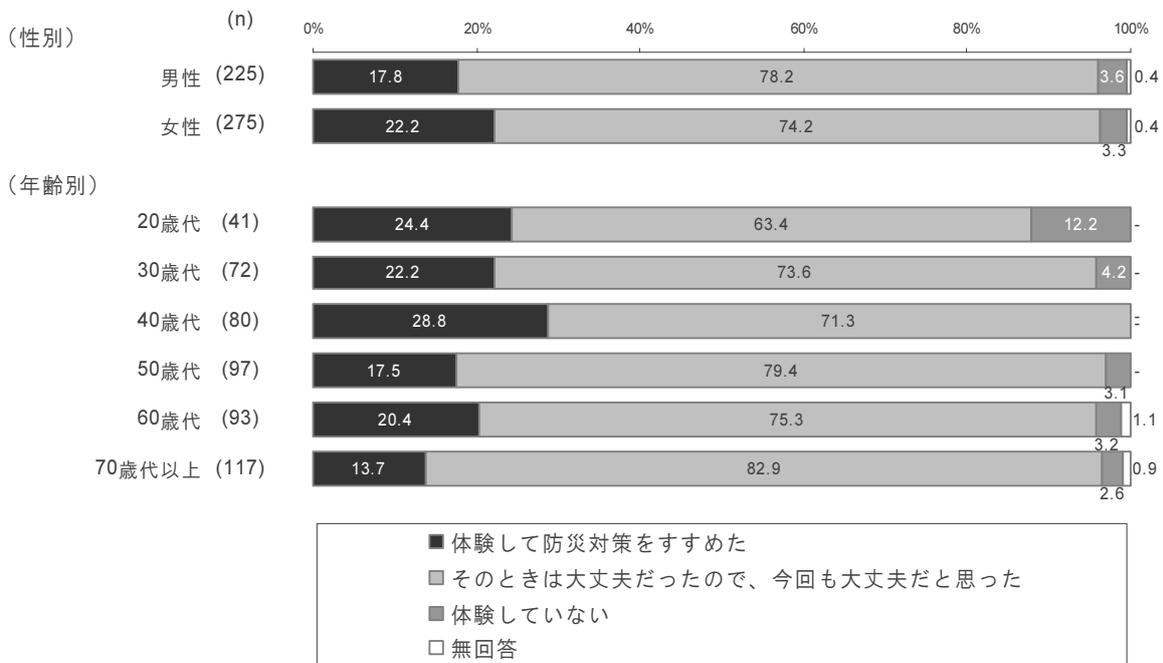
4人に3人以上が「そのとき大丈夫だったので、今回も大丈夫」

問 35 平成16年（2004年）10月の「新潟県中越地震」の体験についてうかがいます。次の中であなたにあてはまるものを1つ選んでください。



平成16年（2004年）10月の「新潟県中越地震」の体験について尋ねたところ、「そのときは大丈夫だったので、今回も大丈夫だと思った」（76.0%）との回答が7割台半ばを占めた。「体験して防災対策をすすめた」（20.2%）は2割にとどまった。

[属性別集計結果（性別／年齢別）]

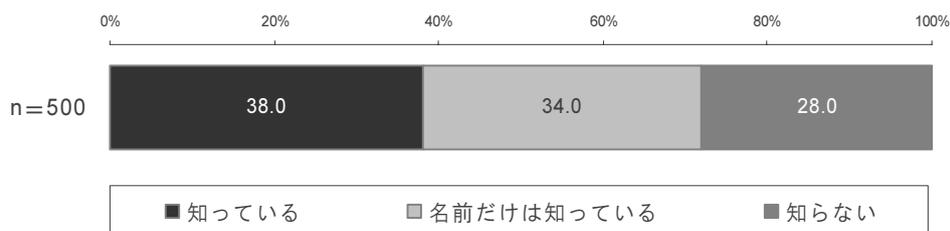


(6) 「緊急地震速報」

① 「緊急地震速報」の認知度

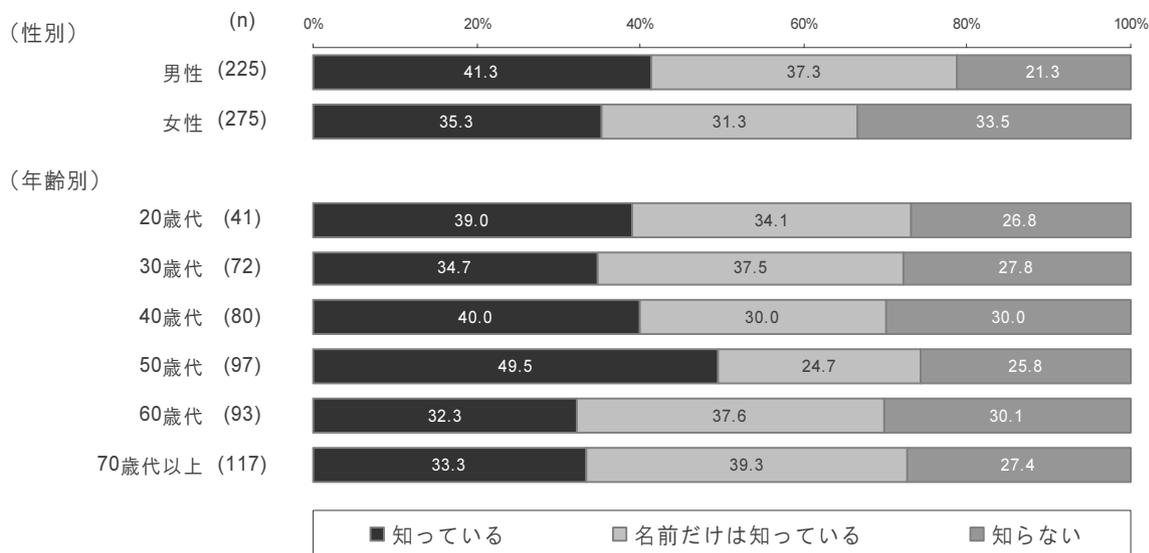
「知っている」4割弱、「名前だけ」を合わせると7割強

問36 あなたは「緊急地震速報」をご存知ですか。あてはまるものを1つ選んでください。



「緊急地震速報」について認知を尋ねたところ、「知っている」(38.0%)との回答が最も高く4割弱、「名前だけは知っている」(34.0%)も3割台半ばとなった。

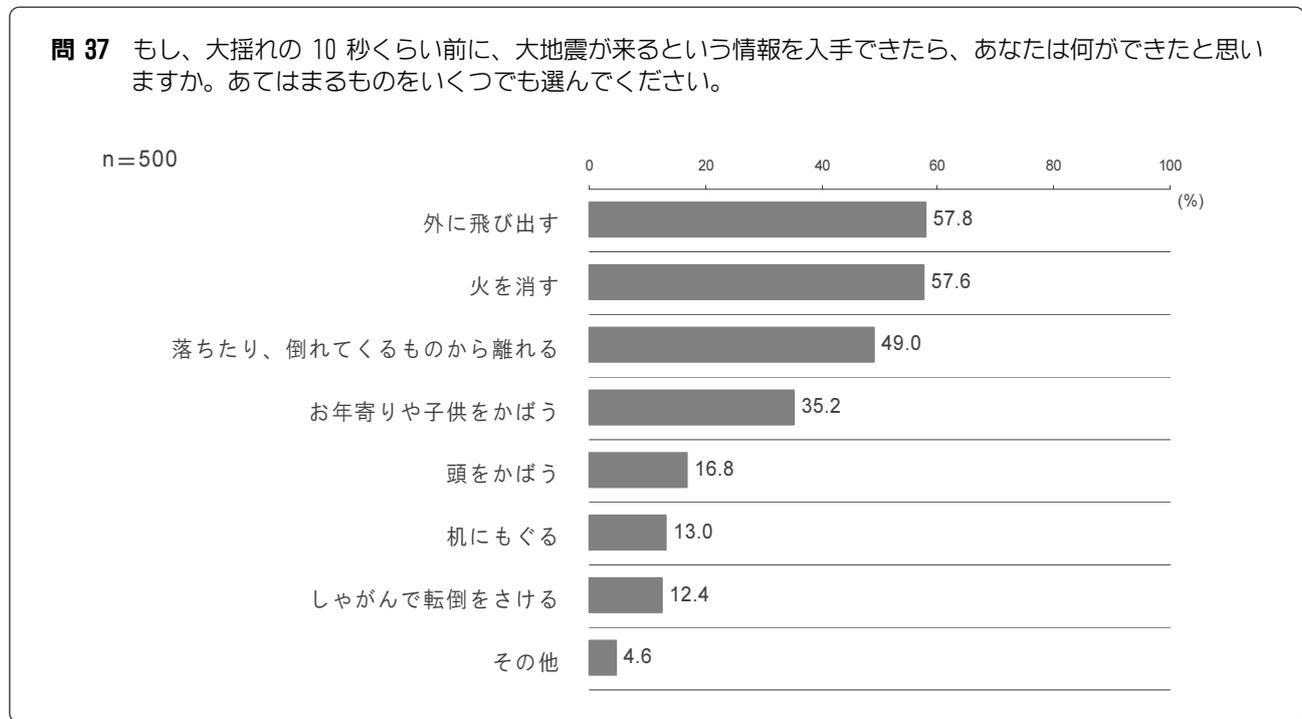
[属性別集計結果 (性別/年齢別)]



IV. 調査結果

② 大揺れの 10 秒前に情報を入手した場合にできたこと

「外に飛び出す」「火を消す」がともに 6 割弱



もし、大揺れの10秒くらい前に大地震が来るという情報を入手できたら、何ができたと思うかを尋ねたところ、「外に飛び出す」(57.8%)、「火を消す」(57.6%) との回答がともに6割弱を占めた。「落ちたり、倒れてくるものから離れる」(49.0%) との回答は5割に満たなかった。

[属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|        | 調査数 | 机にもぐる | 外に飛び出す | しゃがんで転倒をさける | 落ちたり、倒れてくるものから離れる | 頭をかばう | 火を消す | お年寄りや子供をかばう | その他 |
|--------|-----|-------|--------|-------------|-------------------|-------|------|-------------|-----|
| 全体     | 500 | 13.0  | 57.8   | 12.4        | 49.0              | 16.8  | 57.6 | 35.2        | 4.6 |
| 性別     |     |       |        |             |                   |       |      |             |     |
| 男性     | 225 | 10.7  | 57.3   | 9.3         | 44.9              | 10.2  | 52.4 | 32.9        | 4.9 |
| 女性     | 275 | 14.9  | 58.2   | 14.9        | 52.4              | 22.2  | 61.8 | 37.1        | 4.4 |
| 年齢別    |     |       |        |             |                   |       |      |             |     |
| 20歳代   | 41  | 7.3   | 51.2   | 9.8         | 51.2              | 19.5  | 51.2 | 41.5        | 7.3 |
| 30歳代   | 72  | 11.1  | 45.8   | 11.1        | 48.6              | 12.5  | 43.1 | 66.7        | 5.6 |
| 40歳代   | 80  | 11.3  | 60.0   | 13.8        | 53.8              | 16.3  | 57.5 | 56.3        | 5.0 |
| 50歳代   | 97  | 13.4  | 61.9   | 11.3        | 57.7              | 20.6  | 70.1 | 33.0        | 3.1 |
| 60歳代   | 93  | 12.9  | 63.4   | 9.7         | 45.2              | 11.8  | 62.4 | 22.6        | 5.4 |
| 70歳代以上 | 117 | 17.1  | 58.1   | 16.2        | 41.0              | 19.7  | 54.7 | 11.1        | 3.4 |

(全体と比べて 10 ポイント以上高いものに  網掛け)

## (7) 行政・公共機関・報道機関に対する意見や要望

**問 38** 今回の地震について、行政・公共機関・報道機関に対して意見や希望がありましたら、どんなことでも結構ですので、お書きください。

- ・避難所に避難している人へのマスコミの対応が行き過ぎている。もっと人の気持ちを考えて行動すべき。なんでもかんでも聞こうとするのは大きな間違い。(男性/20歳代)
- ・ヘリがうるさく、放送など聞こえない。(男性/20歳代)
- ・報道がなければ様々な全国からの支援が受けられないのは分かるが、直後に現場に入ってくるマスコミにはもう少し配慮が足りない部分が多く見受けられたと思う。道路をふさいでの報道。深夜まで続くヘリコプターでの取材には本当に疲れさせられた。行政・公共機関・原発に対しての激しい非難があったが、全員が被災者なのです。市民は被災地でありながら最低限のサービスを受けられたと思っています。冷静な批評も良いが、実際被災者の立場に立った報道をして頂きたいと思いました。大都市とは違う地方都市なのです。格差社会でしょうか。首相・小池大臣がこられたが、来る意味があったのだろうか。マスコミ・官房の車が殺到して困った。静かに来る方法、客観的に指示する方法、色々考えられるのでは。選挙のアピールに来たようなものだと周りでは怒りの声も聞かれた。小池大臣にいたっては「自衛隊の動きを見に来た」ありがたいが、来る必要はないのでは。(男性/20歳代)
- ・報道機関のヘリコプターがうるさくて、防災無線が聞き取りづらい。報道も大切なのは分かるが、もう少し考えて欲しい。行政ももっと早く報道関係者への自粛対応をするべき。(男性/20歳代)
- ・小さな避難所には食料が不足していた(男性/20歳代)
- ・前回の地震の時、裏のがけのことを心配して行政に言ったが、全然聞いてくれなかった(男性/20歳代)
- ・市の対応も早かった。物資も十分でした。中越地震の教訓が活かされていると思います。(男性/30歳代)
- ・ヘリコプターがうるさかった。(男性/30歳代)
- ・批判ばかりでなく、親身になって住民に接して欲しい。風評被害等、追い討ちばかりしている。(男性/30歳代)
- ・行政の方々も市民と同じ被災者なのに昼夜問わず活動してくださり感謝しています。中越地震の教訓が生かされていないことに関しては怒りを感じます。備蓄の把握についての様々な件を聞くと、一体この2年数ヶ月の間、何をしていたんだと思う。中心地が特に大きく報道されていたが、被災した人は多いし、被害は様々なので町内別に取上げて報道しても良いのでは...県外など遠くの親戚や知人で状況を知りたい人もいると思うので。避難所に差がある。支援物資の品、数、配布までの時間など差があるので、差をなるべく縮めて欲しい。足の不自由な人や高齢の方は取りに來いといわれても無理。災害時の助け合いが必要だが、各々自分のことで精一杯。行政の方で検討する必要があると思われる。でも、皆さん本当に一生懸命助けてくださるのでありがたいです。(男性/30歳代)
- ・地震の当日、報道関係のヘリコプターが多すぎて、近所の人たちとの会話が聞き取れず困った。もちろん電話も聞き取れなかった。映像を伝えるのも大切かもしれないが、もう少し考えて欲しい。(男性/30歳代)
- ・カメラとマイクを被災者に向けず、政治家に向けてください。必要な物資や困ったことなどを早急に援助し、家屋の損壊をした世帯には建て直しまでの補助金を出すくらいの制度を築いてください。無駄な官僚宿舎を建てるくらいなら。(男性/30歳代)
- ・空家(持ち主は住んでいないが、市外もしくは県外に地主がいる場合の)を市で管理し、倒れたブロックや門、柱、瓦などを処理するための応急マニュアルを作成しておくべきである(放置されている)。老人が水を取りに行くだけでも大変であるのに、避難所までの移手段に乏しく、近所に頼るほかに手段がない場合もある。老人になればなる程、家から離れることに嫌悪感が強くなり、配給は独居老人を優先して市が自宅に届けるマニュアルを作成すべき。町内会を利用しても問題ないと思われる。(男性/30歳代)
- ・地震後のマスコミのヘリが低空飛行で非常にうるさかった。(男性/30歳代)
- ・報道が邪魔(ヘリコプター、車、カメラマン)(男性/30歳代)
- ・ライフラインが不十分ながら家で何とか生活できる人たちの食料などが曖昧なところ。建物や家具など被害にあったものに対する保証。良かったところでは、3年前の地震が不幸中の幸いながら、良い経験に繋がっていること。近くの隣人より遠くの支援の方が役立ったこと(自衛隊など)。(男性/30歳代)
- ・報道機関やヘリの音がうるさかった。そのせいで防災無線の音が聞こえなくなる。(男性/30歳代)
- ・ライフラインの耐震性の強化(ガスの役割を電気で代替するなど)(男性/30歳代)
- ・報道関係の車両が道路に車を止めて、取材を行っているため、道路が余計に混雑した。(男性/30歳代)
- ・報道機関、無神経な中継・発言があった。(男性/30歳代)
- ・行政は可能な限り、早急な対応をしていると思う。報道機関も現地の状況を伝えていると思う。しかし、自分を含めてテレビの画面の出来事は他人事に写ってしまう。それが災害だと思う。(男性/30歳代)

#### IV. 調査結果

- 報道機関はもっと国民に対して配慮して欲しい（早朝からのヘリコプター、盗聴器の設置等）（男性／30歳代）
- 行政・公共機関に関しては感謝しております。報道機関と思われるヘリコプターが朝早くから夜遅くまで飛び交い、非常に不愉快です。もう少し配慮が必要と考えます。（男性／40歳代）
- ヘリがうるさくて防災無線が聞き取れなかった。災害支援のトラックの新藤を余震とってしまうし、日に日に建物の被害が進む。必要だしありがたいと思うが、被害の見極めをし、経路を決めて欲しい。（男性／40歳代）
- 特に自衛隊の方々の車を駐車するというので、柏崎には駐車場があまりない。海岸部に偏っている気がする。資源、リサイクルの搬出（収集）がしばらく出来ないらしい。家の中も置くところがないので、早めに収集を行って欲しい。（男性／40歳代）
- 第一中学校に逃げたが、初めのころは屋内にスピーカーが設置されておらず、広報等が聞こえない。（男性／40歳代）
- 直後の報道機関のヘリコプターがうるさくて、会話が出来なかった。又、防災無線も聞きづらくなった。（男性／40歳代）
- 報道関係のヘリコプターがたくさん飛んでいて、ラジオや行政の放送が全く聞こえなくなりました。（男性／40歳代）
- 被災者への支援をしっかりとって欲しい。具体的には負担のないようにして欲しい。（男性／40歳代）
- 自衛隊の皆さんが良くしてくれました。（男性／40歳代）
- 支援物資の均等な振分をして欲しい。子供への食べ物、ガス・水道が止まり、風呂に不自由がある。もっと入浴施設を増やして欲しい。この季節だから特に思う。（男性／40歳代）
- テレビニュースのコメントが「的外れ」だと思った（男性／40歳代）
- 消防・自衛隊・警察・役所などの方々にはご苦労かけていただき、大変感謝しております。報道か行政か分かりませんが、数日間ヘリコプターが早朝から暗くなるまで低空飛行旋回をしていたため、騒音でストレスが更に増大した（情報伝達は必要ではあるが）（男性／40歳代）
- 報道も必要だが、人・車・ヘリコプターなど多すぎて迷惑する場合がありますので、控えてほしい（男性／40歳代）
- 電気の回復まで一日がかりだった等地域の状況をテレビが付くまで全然分からなかった。（柏崎に首相が来たこと等も）原子力の問題について、どの局でも報道しているが、実際送電されるのは関東圏であり夏の電力不足を心配しているようだが、地元は発電所が実際にわるわけで、第三者が心配しているのは電力不足で他人事である。（男性／50歳代）
- 初日の水・食糧の配給をもう少し早く出来ないのか。3日目以降はほぼ満足です（みなさんにお礼が言いたいくらい）。（男性／50歳代）
- ヘリコプターが多かった。そのせいで防災無線からの話が聞き取りにくかった。（男性／50歳代）
- 行政の対応は早かったと思う。報道機関はうるさい（特にヘリコプター）。（男性／50歳代）
- 特に正確な情報を早く欲しい。電力の復旧が早く助かった。（男性／50歳代）
- 報道関係者が多すぎる。被災者には邪魔になる。自衛隊は良くやってくれている。マスコミは邪魔になるだけ。（男性／50歳代）
- テレビ等では物資が余っていると報道されても、もらいに行ってもくれない。報道機関の人やヘリコプターが多く来すぎて迷惑に思った。原発の安全に対する考え方が甘い。（男性／50歳代）
- 緊急地震速報を早めに実施して欲しい。（男性／50歳代）
- 電気の復旧がとても早かったので、市の防災無線、テレビ、ラジオなども聞けたので、情報に関しては周りの情勢も把握できた。特に市の防災無線で避難所や水・食料の配給情報も良く分かりやすく、とても役に立ったと思われる。市内全般的に道路が狭いところが多く、今後の復旧活動等に不便を感じる。（男性／50歳代）
- 避難所と家で避難している人達への行政の対応が準備されていなかったと思う。避難所ごとの物資の輸送量に差が出ていた。各家庭で避難している人達への配慮がなく、1人暮らしの老人への対応がなかった。各コミュニティや町内会での助け合いが必要であったし、事前に行政の方で地域との連携を考えていなかったのではないかと思えるくらい、何もなかった。むしろ隣近所同士で助け合いが目立っていた。（男性／50歳代）
- もう少し早く炊き出しをして欲しかった。報道の人が沢山いて道がふさがって大変だった。（男性／50歳代）
- 地震後、選挙期間中であったため、各政党の車が多く交通渋滞が多かった。マスコミの車かなにか分からないが、市外のタクシーが多く道路に停車しており、交通渋滞が多かった。特に市役所付近。（男性／50歳代）
- 行政へ援助物資はもらいに来なさいだった。忙しくて物資をもらいにいけなく、購入していた。（男性／50歳代）
- 対応は良かったと思っている（男性／50歳代）
- 3年前の中越地震の体験が活かされていると思う。対応が早く、みな自分の出来る事を一生懸命やっていると思う。ただ被災された方（倒壊）に対する土足で踏み込むような報道機関の人を見たとき残念だった。又、映像の絵が大変分かりにくかった。（男性／50歳代）
- 身近な情報をより分かりやすい広報をピッカラはしていた。（男性／50歳代）
- 上空での取材（ヘリコプター）の音がうるさくてイライラする。（男性／50歳代）
- 市からの防災放送が聞こえず、情報が入らず困った（男性／50歳代）
- もっと行政が動いて欲しい（男性／50歳代）
- 税金の無駄遣いはするが、大事な国民の為にはお金を使わない国だと思う。最もそんな人たちを選挙で選んでいるの

だから仕方がないのか。日本の国民の大多数は真実を知らされていない。メディアも NHK も同じ権力の方を向いているから。参院選が終われば、又消費税の大増税などを自民党はもくろんでいるが、国民は知らされていない。アメリカの州のひとつになるのでは。とにかく今、政府では何も国民の為にならない。都合のいいのはアメリカと企業だけだ。(男性/50歳代)

- 朝早くから上空をヘリコプターが4~5機飛んでいて騒音でイライラした。(男性/50歳代)
- ヘリコプターによる上空からの撮影は控えて欲しい(かなりの音です)(男性/50歳代)
- ヘリコプターが低空を飛びすぎる。違法ではないのか?(男性/60歳代)
- ヘリコプターがうつつすぎる(5~6台同時に)。1台にして情報を共有すれば良いのでは。避難所、水、食料など対応がよく不便はなかった。(男性/60歳代)
- 地震の対策に対し本腰を入れてなかったと思う(非常食などの期限切れの物があったと聞いているので)。(男性/60歳代)
- 報道ヘリコプターが多すぎて、市の広報が聞こえず困った(電話がないので、市の広報だけが頼りだった)(男性/60歳代)
- 柏崎では広報で家庭及び地域に連絡網があり、スピーカーを通して市からの放送を聞くことができますが、地震当日報道機関と思われるヘリコプターの音で大変広報が聞きづらかったので、今後の対応を検討するべきだ。(男性/60歳代)
- 行政・公共機関・自治体、報道機関の皆様には大変お世話様です。(男性/60歳代)
- 行政の遅れと、市長の顔が全く見えず。もっとマスコミが何かで行動を示して欲しいが。手腕にかけるのか、無理とは思いますが選択を考える。(男性/60歳代)
- ピックラはよく利用しました。とにかく自衛隊の皆さんにお世話になったことには涙が出るほど感謝しております。(男性/60歳代)
- 自衛隊の出動や決断が早く対応も良かった。ライフラインを早く復旧してもらうため、トップに立つ人は技術畑の方で電気水道ガスのことをよく知っている人になってもらってれば、対応が迅速になると思う。局長は事務方のトップではなく、たたき上げで水道等のことがよく分かる人になってもらいたい。災害と原発対応には、現場のことが良くわかる副市長を立てておき、災害の時は副市長が災害対策本部長になれば、混乱も少なくできると思う。(男性/60歳代)
- 自衛隊の人たちは良くやってくれた。炊き出しなど。又、ボランティアの人も頑張ってくれた。ありがたいと思っている。(男性/60歳代)
- 色々なところからやたらと調査とアンケートが来る。全国各地の行政・民間の応援に深く感謝いたします。日本に大物政治家が居ないので今後の対応に不安だ。(男性/60歳代)
- 心配することがあっても、どこに相談に行ったら良いかわからなかった。(男性/60歳代)
- 早めの復興をお願いします。(男性/60歳代)
- すばやい対応が有りがたかった。(男性/60歳代)
- 救援物資の供給、食事・水等の支給情報がないので、情報を流して欲しい。高齢者はいけないので、家に来るような方法を考えて欲しい。(男性/60歳代)
- 準備不足で対応がうまくいかなかった(男性/60歳代)
- 地下配管のガス、水道管、下水道間の古い管等の点検・交換等をして頂きたいと思います。(男性/60歳代)
- 原子力に関して、これは国策だと思うので地域の人たちが安心して暮らせるよう、今回のトラブルのないよう実行して欲しい。隠し事がないように。(男性/60歳代)
- 地震発生時震度6になると動くことが3秒間はできない。そのため外に出ることが精一杯でした。(男性/60歳代)
- 地震予知装置があるとテレビで見ました。その会社はその装置で避難した。そういう情報を有線等で流せないか。(男性/60歳代)
- ヘリコプターの飛行音(うるさい)(男性/60歳代)
- ガスや水道管は老朽化していたと思うので、復旧が遅い。これからは管の点検や交管工事を行って欲しい。(男性/70歳代以上)
- 原子力発電そのものが危険だと実感。小都市とはいえ、こんな近くに原発を作るなんてそもそも世界にも例がないのでは?一刻も早い廃止に向けて検討すべきである。地球エネルギーを甘く見てはいけない。原発との強制的道など有り得ない。人類破滅への道です。(男性/70歳代以上)
- 日常必要な日用設備(ガス、水道、丸気)を早く。(男性/70歳代以上)
- 行政の対応には感謝します。自衛隊、警察の方、役所の方、電力・水道などの応援の方。(男性/70歳代以上)
- 報道がうるさかった。来ない方がよい。(男性/70歳代以上)
- ヘリコプターの音で防災無線の音が聞き取れない(報道機関)。防犯に力を入れてください(警察)。ライフライン関係について行政はよくやってくれました。他地区からの応援に感謝しています(自衛隊他)。(男性/70歳代以上)
- 家屋倒壊の費用をどの程度援助できるか。早めに決定して通知して欲しい。独居者や高齢者は再び建設できないから。倒壊家屋をそのまま放置して近隣に不安を与えている。どうすればよいのか早めに指示すべきだ。実費で壊せといっ

#### IV. 調査結果

ても無理。(男性/70歳代以上)

- 市役所の方からの放送や連絡、現在の様子等が細かく分かってとても助けられた。(男性/70歳代以上)
- ヘリコプターの飛行音が多く、うるさく感じた(男性/70歳代以上)
- 情報伝達が非常に遅い。正確な情報がなかった。頭上にヘリコプターがうるさく、放送が聞き取れなかった。避難場所以外の住人へ差別が甚だ多かった。ストレスのたまりっぱなし。(男性/70歳代以上)
- 市の防災無線による情報、全戸配置されており、その指示に従い行動するよう、注意するようにした。近隣の年寄り、病人等に対応する(気づかう)ことが頭の中で考えていてもなかなか実行することが出来なかった。若い世代の人がすくないことにもよるが。(男性/70歳代以上)
- 大変よくやってくれています(全ての機関に感謝しています)(男性/70歳代以上)
- 地震予知が出来ないものか。5秒でも10秒前でも知りたい。(男性/70歳代以上)
- ヘリコプターが何回も飛び、テレビの音や防災無線の音が聞こえにくかった。(男性/70歳代以上)
- 当日午後、報道機関と見られるヘリが絶えず5~6機低空飛行で旋回し、ものすごい騒音でした。いままし被害者の身になっていただきたい。(男性/70歳代以上)
- 特に不満等はありません。当柏崎市・県・国の災害救助について、どの程度が満足か不満かということは一口では言われなと思います。行政の人達も自分の家庭を顧みずして、日夜の努力は大変だと感謝しております。お互いが協力の下、助け合い協力し合うことが大切だと思います。(男性/70歳代以上)
- 老人家庭なので、交通機関がなくて次のことが全部出来なくて困っています。食料等の確保、お風呂の場所まで歩いて行けません。かかりつけの病院へ行けません。(男性/70歳代以上)
- 幸い電燈が消えなかったことが幸いしたと思う。行政の方より詳しく知らせています。(男性/70歳代以上)
- ライフラインの復旧を早めて欲しい(男性/70歳代以上)
- テレビを見ている余裕がほとんどなかったにもかかわらず、あまりにも報道関係の人、車が多くて誰のために情報を流しているのか疑問に思った。(女性/20歳代)
- 市は、昼夜問わず防災無線で情報をくれた。しかし、屋外スピーカーでは、ヘリコプター等の音がうるさすぎてほとんど聞き取れなかった。室内の個別受信機は家の中にないと使えない。柏崎市役所や各避難所周辺、いたる所にマスコミの車両があり、大渋滞だった。記者が乗っていた個人タクシーも路上駐車ばかり。緊急車両もなかなか動けなかった。報道関係者は正直邪魔者でしかなかった。(女性/20歳代)
- 市役所に報道関係者(テレビ局)の車が多く止まっていて駐車場を占領して困った。中越地震よりもひどい被害なのに、テレビ報道されないこと。(女性/20歳代)
- 食事・入浴など助かりましたが、市の動きは遅すぎる。市は何もしていないのでは。ゴミやがれきの山はどこへ処分するのか、アスベストの問題が出る前から遅すぎる。報道は同じ場所ばかりを映していた。実際はもっと悲惨。そして、県外・市外の親戚は状況が良く分からなかったと言っていた。FMピッカラは柏崎市民にとって唯一ちゃんとした情報だった。(女性/20歳代)
- 地震からの日が経つごとに報道されなくなり、哀しいです。私達の生活は不自由なままなのに。他の地域の人は関心がないのかと思うと悲しくてなりません。テレビ局の方が笑いながら撮影されていたのも腹が立ちました。健康管理センターでの助産師相談やアカデミーでの赤ちゃんの沐浴は助かりました。もっと機会を増やして欲しいです。各保育園での子育て支援ルームも早く始まってもらいたいです。ボランティアの方、自衛隊の方には大変感謝しています。また市職員の方々もご苦労様です。よろしく願いいたします。(女性/20歳代)
- 人が大変だというのにインタビューするのはどうかと思う。(女性/20歳代)
- 報道に対して、報道も大切だがマナーは守って欲しい。路上に車などが溢れ、交通が不便だった(女性/20歳代)
- 報道機関のものと思われるヘリコプターの音がうるさい時があった(女性/20歳代)
- 報道機関が市役所に多くいたので、車が止められなくて混雑した。(女性/20歳代)
- ご苦労様です。正直に公表してください。(女性/20歳代)
- 今、どのような状態なのか、どうしたら良いのか情報が欲しい。(女性/20歳代)
- 地震直後のヘリの音がうるさくてイライラした。野菜が足りなかったのも、早めに野菜ジュースを配って欲しかった。とにかくガスが来なくて、お風呂が不自由なので、なんとかしてほしい。特に勤めに出ていると入力できる施設が少なく、長岡や上越まで行かなくてはならず、時間もとられて疲れる。無料入浴してくれている場所も民間企業が多いので、いつまでやってくれるのかわからない。報道は「原子力発電所」がニュースになるのかもしれないけれど、「報告が遅い」だの「放射能もれ」だの本当に欲しい情報がない。私達が知りたいのは漏れたことによる「安全性がどの程度おびやかされたのか」ということで、いたずらに不安をあおるのはやめて欲しい。(女性/30歳代)
- 避難所に各政党の代議士御一行が来られても、テレビ対応で接見して帰って行ったように見えた。本当に心配して来られているようには見えなかった。報道の方々ももう少し被災されている方々の気持ちになって取材して欲しかった。プライバシー全くなしだった。(女性/30歳代)
- テレビカメラがあまりにも早く来ていてビックリした。車の渋滞がひどく困った。(女性/30歳代)
- 地震当日の日、報道関係のヘリコプターの音がとてもうるさく、また怖かったです。もう少し控えてもらいたいと感じました(子供は大きな音、サイレンの音に敏感でした)(女性/30歳代)

- 市からの防災無線は大変良かった。(女性/30歳代)
- 地震当日の夜、避難所に大勢の報道陣がカメラを向けていました(夜遅くまで)。この大変な時にマナーが悪すぎます。どれだけつらい思いをしたことか。ストレスになりました。まず被害にあった人をいたわる心をもって、報道をして欲しいと思います。(女性/30歳代)
- 地震後食料が遅かった。取りにきた人数分しか配布しなかった(家に小さい子供、隣の動けない年寄りの分も欲しかった)。一般の家庭にいる人には配慮が足りなかった(避難所の人は良かったのではないか)。(女性/30歳代)
- 被害者支援のことももっと考えて欲しい。全壊の家が多いも、市の話ではほとんど被災金は出ないということです。(女性/30歳代)
- 報道機関の車が各地から来て、市役所や避難所の駐車場を陣取っています。地震の現場では渋滞が予想されるので、車での移動は控えているつもりですが、駐車スペースがなくなってしまうのには問題があると思います。どうしても車を利用しなければならない方がおられるので、路上駐車等も考えて欲しいです。自衛隊の方々には助けられました。(女性/30歳代)
- 前の生活に戻るのにお金がかかってしまう。地震直後から食事や水の手配ありがとうございました。とても助かりました。(女性/30歳代)
- 報道のそれぞれの局が同じことを聞いていくので、答える方も大変です。最低限の取材にして欲しい。例えばマスコミで統一するなど。原発の正確な情報を流して欲しい。(女性/30歳代)
- 地震後の防災無線で津波の情報しかなく、原発・震度の情報が全くなかった。柏崎の住民にとって、原発はとても心配なものだ。(女性/30歳代)
- ヘリコプターがよく飛んでいて、防災案内放送が聞こえにくいことが多かった。(女性/30歳代)
- 職場(老人ホーム)も大変です。お年寄りは入浴できず、近くの施設まで何往復もして1回だけ入浴できました。あとは体を拭くのみ。そのため床ずれもできてしまう方もいました。健常者はなんとかしてお風呂にも入れますが、寝たきりの方でもせめてお湯だけでもかけられるようなことが出来たらなと思いました。水はたくさん頂きましたが、お湯も欲しいです。(女性/30歳代)
- 市の防災行政無線は凄く情報がわかって良い。自衛隊の方々にはすごく助けられました。炊き出しや船の中のシャワーなど。報道の方も大変だと思いますが、ヘリコプターはうるさいです。避難所で不安がっていたお母さんにインタビューしていたのが嫌だった。(女性/30歳代)
- 地震予報などを教えて欲しい。津波情報も。(女性/30歳代)
- 今回は休みの日だったが、平日だったら子供の安否を確認できるようなメールだったりを作って欲しい(女性/30歳代)
- 電気が止まらないことが幸いでした(女性/30歳代)
- FMピッカラで防災無線が聞けるということを知らなかったの、教えて欲しかった(居間や寝室、台所、屋外など防災無線が聞き取りづらい所にいることも多いので)(女性/30歳代)
- 市の対応が遅すぎる。復旧の進行状況がまったく分からない。避難したくてもペットがいるので出来ない。炊き出しも避難していなければもらえないのか。自炊も出来ない状態なのに、自宅にいるということでもらえないのは不平等ではないか。市の倉庫には有り余っているお弁当やおにぎりなどたくさんあったと聞いている。捨てるくらいなら市民に配布してもらえないか。炊き出しのところにもたくさんのパンなどあまっているように見えたが、あれはどうされたのか。もらいたいのにもらえない人がたくさんいた。コンビニに行ってお金を出して買う状態だった。片付けで疲れて夕食を作る気力もなく、炊き出しをもらいに行っはいけないのか。働いているので子供が留守番になる。働かなければお金がもらえない。(女性/30歳代)
- 原発の嘘の報道はやめてほしい。ヘリコプターがうるさかった。幼児がいたので昼寝が出来ない。地震直後安全であるという放送がながれたが、近所や家族の者は誰も信用しなかった。放送した市にも問題がある(女性/30歳代)
- 問の趣旨とは違いますが、親戚が阪神大震災にあい被災しました。そのときの経験談等を聞き、食器棚(引き出し式のものに)やオール電化にする、また家に筋かいを多く入れるなど不安材料を少しでもなくするようになってきました。停電すると使えない固定電話より携帯電話のありがたさを感じました。行政・公共機関・福祉・コンビニ・スーパー等、自らも被災されているにも関わらず、笑顔で接して下さった方々に感謝します。ありがとうございます。自衛隊のお風呂サービスでさわやかな隊員さんに励まされました。(女性/40歳代)
- いろいろと文句を言う人もいますが、私は関係機関には非常に迅速に対応していただいたと感謝しています。3年前の地震の教訓が生きていると思います。ありがとうございました。報道機関に関しては、ヘリコプターの音がうるさかったです。近所の方との会話もままなりません。また本当の被災者というのは、テレビを見れないのだということを学びました。ラジオが本当に役に立ちました。(女性/40歳代)
- 避難所の対応が各地でいろいろと差がありすぎた。赤十字の方々がすぐにつけてくれたのがとても心強かった。(女性/40歳代)
- 港があり、交通も機能していたため、自衛隊をはじめ本当によく対応してもらい感謝。特に連日の炊き出しはありがたい。取材が非常に多く、同じコトを各社に聞かれる知人は気の毒だった。東京電力はそもそもどこに電力を供給しているのか、そのために住民が不安をかかえていることを、東京の人たちにもっと知ってもらって欲しい(柏

#### IV. 調査結果

崎の電気は東北電力)。これを機に今後の地震対策、原発対策に生かして欲しい。一方的な行政は、東電はという批判ばかりの報道は決して望まない。市役所の人間など、激務で心配になる。あまり無理をして人的な二次災害が心配。

(女性/40歳代)

- 破損状況、物など写真を撮っておくものなどの案内は早めにして欲しい。(女性/40歳代)
- すばやい対応に感謝しています。たくさんのボランティアや市の職員の方の徹夜の仕事に頭が下がります。自衛隊の方々の活動に感謝しています。いくつかの大地震の教訓が活かされていることに日本は素晴らしいと思います。(女性/40歳代)
- 広報があるにも関わらず、地震直後の情報が遅すぎる。取材のヘリコプターがうるさすぎて広報すら聞こえなかった。避難所付近だけでなく、パトロールの強化をして欲しい。(女性/40歳代)
- 震源地ということもあり、混乱していたためか3年前より市の放送がなかなか流れなかった。この間みんな外にいたが不安だった。(女性/40歳代)
- 報道機関に対して、地震直後の報道は多かったが二週間も経つと報道が少なくなってきて、全国の人の関心が薄くなって来ています。まだまだ大変なので、現在の状況も報道し、苦しい様子を全国の人に知ってもらいたい。(女性/40歳代)
- 避難所によって食事や提供してもらえるものの差がかなりあったこと。報道のヘリコプターが多すぎて、広報が聞こえなかったこと。原発の被害の報告が遅すぎること。(女性/40歳代)
- 普段連絡すら来ることがない遠方の人から電話が来たり、無事だということを知りたいからメールではなく直接電話してくれとか、とても非常事態を理解していない人が多く、報道機関からもっと注意してくれると助かる。一部テレビで注意してくれたアナウンサーがいた(たぶん、古館さん)。本当に連絡を撮りたい人に電話が繋がらないのが困る。(女性/40歳代)
- 行政の対応には感謝している。自宅の被害もあった方もいたのに仕事を優先させてくださり、頭の下がる思いです。地域コミュニティ放送 FM ピッカラの重要性が身にしみました。全国版のテレビは地震の一週間後には取り扱いがぐっと減った。まだまだ避難所で不自由な生活をしている人もいますので、それを知ってもらう意味で継続して取り扱って欲しい。(女性/40歳代)
- 我が家は主人が市役所の職員なので、地震当日から休みなしに仕事に行っている。これからも当分休みが取れないようだ。マスコミなどでは役所の対応が悪いとか遅いなど、悪い面ばかり強調するが、必死で対応している姿も見たい。過労死にならないよう休みを取らせて欲しい。(女性/40歳代)
- ガス・水道が民営化していたらもっと早く水が出て、ガスが通っていたのではと思う。外からの応援がもっと来たのではと思う。(女性/40歳代)
- 行政・公共機関に関しては感謝しておりますが、1つだけ出来るだけ被災者に平等になるようにして欲しいです。報道機関の皆様にも同じ避難所の様子ばかりでなく、もっと小さな避難所や避難所に避難していない被災者の様子等も報道して欲しいです(特にテレビ関係)。FM ピッカラの方々には本当に身近な情報を流していただき、感謝のみです。(女性/40歳代)
- 今現在、実務的な処理に追われていて、それどころではありません。このようなアンケートも現状処理に夢中で迷惑です。(女性/40歳代)
- 行政の対応が早く、全体的には感謝しているが、避難所にいけないお年寄りの自宅には物資が届かなかった。薬品など支給されたが、賞味期限切れのものが多かった。(女性/40歳代)
- すぐ避難しないと食料が足りないので、困った。何故かという避難した人の分ということで、小学校に食料と水をもらいに行ったが、「だめだ」ということで、もたうことができなかつたから。避難したもん勝ちということになりうる。他の学校でもあったと聞きました。困りました。(女性/50歳代)
- ここは市役所、柏崎小学校にも近く配給に随分助けてもらったが、真性はここから離れていて、水の配給はあっても食べ物の配給はほとんどなく、ずいぶんと差があった。(女性/50歳代)
- 地震翌日の早朝からヘリコプターの音が大変耳障りだった。ヘリコプターの音で広報のスピーカーの音が聞こえなかった。(女性/50歳代)
- 報道のヘリコプターの音で防災無線が聞きづらかった。地震後、自宅は一部損壊でしたが、余震が心配で3日間祖母は親戚の家に預け、夫と2人車で過ごしました。当面はコンビニで水とカップめんとおにぎりとパンで過ごしましたが、3日目頃から小学校～食事を日に1~2回貰いに行きましたが、10日過ぎ頃から食事をもらいに行くのも片見が狭くなる思いでした。水道と電気は大丈夫ですが、ガスがまだ使えず、食事の仕度と夜、鍋にお湯を沸かし、バケツに1人1杯のぬるま湯で行水をしたりと、カセットボンベのはかどること。小学校にカセットボンベが欲しいといったら、今日はありませんと断られました。自宅の損壊部分を今後直さなくてはならないので、出費はなるべくおさえないと思っていますが、自宅で頑張っているのに肩身が狭いです。(女性/50歳代)
- ヘリコプターがうるさかった。自衛隊など良くしてくれてよかった。反面、対応が手際よく、全国に手馴れる程災害が多くあるのかと感じた。行政はいつ起こるか分からない、こんな災害時に補助金をたくさん出せるように不必要な建物を造ったり、使ったりせずに貯めておいて欲しい。(女性/50歳代)
- 配給物の渡し方に不公平がありすぎるような気がします。場所によって沢山あまっていて、大盤振る舞いしていると

ころがあると聞きました。私も孫のおむつを貰いに行ったら緊急以外は渡せないようなことを言われました。その日他のところでは 2 袋もらってきた人がいました（連絡を取り合って回すべきだと思います）。市外からの応援の方々には感謝しております。（女性／50 歳代）

- 電力・水道・ガスの復旧作業が迅速に早く進められた（被害の大きいわりに）。自衛隊員の活躍が素晴らしかった。報道陣が被災した人に心無い質問をしていた。いきなりテレビに映すためカメラを向けてきて、イヤだった。（女性／50 歳代）
- 配給の数量に地域とその他の地域の人との間に大差があった。（女性／50 歳代）
- 個人宅への全ての情報が無い。行きたくともいけない状況の人が沢山いるのに、この人たちをどう考えているのか。報道関係の方の路上駐車が迷惑だった。車も出せない。年寄り、子供がいるのに。避難所にいけない方のことです。（女性／50 歳代）
- 報道機関のヘリコプターの音がとてもドキドキした。ボランティアが多くいて対応がうまく出来なかったようだ（対応ボランティアの人たちに任せるようにしたらどうか、地元の間人は自分たちの事で手一杯だったと思う）（女性／50 歳代）
- 半壊までの保証の範囲が広すぎる。壁にひびが入っても、瓦が落ちてでも 5 万円まででは差がありすぎる。全壊でも 300 万円程度の補償では少なすぎる（女性／50 歳代）
- 地震の次の日、朝 5 時くらいからヘリコプターが空を飛んでいて、とてもうるさかった。不燃ゴミ、粗大ゴミをわざわざステーションまで持って行かなくてはならなかった（トラックなど大きな道路で回収して欲しかった）（女性／50 歳代）
- ライフラインを早くやって欲しい。避難所の不平等をなくして欲しい。（女性／50 歳代）
- 原発報道は早く正確であること（女性／50 歳代）
- 柏崎市は防災無線があって大変良かったです。報道の方へ同じ（柏崎小学校）ばかりではなく、もっと色々な場所の報道もして欲しかったです。例）西山町、出雲崎町、刈羽村、柿山町、柏崎市でも地区別に。（女性／50 歳代）
- ヘリコプターや飛行機の音がうるさくて、防災行政無線の放送内容がほとんど分からなかった。（女性／50 歳代）
- 防災無線が役に（頼りに）立つ。原発情報をもっと早く（不信感が募った）。今もだが、炊き出しが本当にありがたい。（女性／50 歳代）
- 大変良くしていただいていると感じています。今後の財政負担のことを考えると、自分で出来ることは自分で行うように（何でも支援してもらえると考えるのは駄目だと思っている）皆が考えて行動すべき。そうしないと支援が本当に必要な人に行き渡らない。自分で出来そうなことは自分でやろうと思っています（でも、私には家があるからそんなこと言ってるのかな）（女性／50 歳代）
- 防災無線の放送が屋外では聞こえにくい。ヘリコプター等の音で（取材用のもの）聞きづらい。1～2 日目くらい、集中的に来られるのは迷惑だと思った。共同ヘリとかにすべきである。テレビが壊れたため、あまり報道番組を見なかったが、同じ場面を繰り返し映していたのが被災者の立場ではつらいように思った。（女性／50 歳代）
- マスコミは被災報道も大事かもしれないが、電力を使う中央の人たちの意見を聞くことにも力を入れていただきたい。（女性／50 歳代）
- 避難所によって物資が違いすぎる。何とか自宅で頑張っている人たちにも物資を。報道の人の対応が良くなかった。（女性／50 歳代）
- 直後ヘリコプターなど頭の上の音が耳障りでした。防災無線が役に立ちました。FM ピッカラも良かったが、いつも聞いていられるわけでもないので、炊き出しがどの程度出るのか、配布品は何が出るのか分かりにくかった。（女性／50 歳代）
- 被災してみて初めて行政・一般のボランティアの方々のご苦勞、ありがたく感謝するのみです。自分のみは自分で守るのが基本だと思いますが、それが困難なことは天災です。健康な方が少しでも弱い人を助けることこそ大事だと思います（女性／50 歳代）
- 市の防災無線での連絡はわかりやすくありがたいと思った。（女性／60 歳代）
- 市の対策本部から防災無線放送が流されても、ヘリコプターの騒音で聞き取りにくく情報が入手できないことが多かった。取材は協働で出来ないのだろうか。地域の現状を伝えてくれるのは、情報を流す意味で有効だけど、あまりにも取材合戦みたいで不愉快です。各避難所に平等に対応してもらいたい（行政には）。（女性／60 歳代）
- 広報が重なって、聞き取りにくかった（家の中にある場所まで行くに行かれず）。携帯（メール）で入っていましたが、何日くらいでしょうか。メールが来なくなってしまいました。（女性／60 歳代）
- 家の診断をしてもらいよかったです。仮設住宅の準備も早く、自衛隊の応援も良かった。（女性／60 歳代）
- 自衛隊の支援を喜んでいる。（女性／60 歳代）
- 屋内受信機やスピーカーがうるさいくらいだが、役に立っているものはない。（女性／60 歳代）
- ヘリコプターの騒音がひどかった。情報を共有する事は出来ないのか。避難所にいる方だけでなく、一般家庭にいる人も炊き出しをいただけることが分からず、困っている人がいた。情報を密に流して欲しい。（女性／60 歳代）
- 地震直後のヘリコプターの数の多さにはビックリしました。大騒音の中では助けを求める人の声も分からないのではないかと思います。しかし、この現状を全国に知らせることも重要なことだとは思っています。（女性／60 歳代）

#### IV. 調査結果

- 市からの防災無線が遅かった。当日、市の役所が休日だったのか、人数が足りない。(女性/60歳代)
- 報道が過熱過ぎる。食事をもらいに行ってもマイクを向ける、風呂に行けばマイクを向ける、切なくて涙が出た。(女性/60歳代)
- 倒壊している家を処理する日 때가遅い。対応をすばやくして欲しい。(女性/60歳代)
- 家で過ごすことができたので避難所での苦しさは分かるつもりでも本当のところは知っていないと思う。7/16の食料がなく、普段用意してなかったのか不満を感じた。日が経つにつれて、職員や世話をしてくれる人たちの報道や防災無線でのお知らせを聞き、一生懸命さが伝わってきてありがたいと思っていた。水、ガスなどなく不便だが、住むところのなくなった人のことを思うと、多少我慢できる。行政の良き指導と市民の助け合いで柏崎市を元に戻していただきたい。国の応援をお願いします。東電が許せない。自衛隊はとてもありがたかったが、こいう支援と憲法をかえて国を守るという考えは別である。戦争する国にしたくないから。(女性/60歳代)
- 新潟県の年間予算の1.5倍の損害を受けたので、夕張みたいにならないようお願いしたい。柏崎、刈羽、長岡だけの被害なのに、新潟県、日本と迷惑をかけているので報道機関は過大に報道しないで欲しい。(女性/60歳代)
- 東電を色々非難する話題は？注意していただければと思いますが。では東京の人はろうそくで生活が出来ますか？私たち柏崎は、東電に心よりお礼して頂きたい。現状、ろうそくでの生活は無理です。(女性/60歳代)
- 各々の避難所での格差があると思う。どういう支援物資があるのか、どこでもらえるのか分からなかった。給水車は各町内をまわってもらいたいと思った(お年寄り遠くまで無理に行けない)。(女性/60歳代)
- 自衛隊の援助には大変感謝しています。(女性/60歳代)
- 自衛隊がよくしていただき、炊き出し・入浴が出来たこと(女性/60歳代)
- バス路線の復興を早くして欲しい。この辺はまだ開通していないので、通勤に不便を感じる。(女性/60歳代)
- ヘリコプターが飛び、情報が聞き取れにくかった。報道陣が柏崎小学校だけに集中し、他にも被害を受けたところがあったのに。(女性/60歳代)
- 何事も早めの対策を希望します。(女性/60歳代)
- 困っている人に変なインタビューはしない方がいいと思う。災害無線だけでなく、回覧板などで情報を文字にして出して欲しい(ごみ収集情報など)(女性/60歳代)
- FMピッカラの放送が大変役立っている。給水車が各地からいち早く駆けつけてくれたことはあり難かった。その他救援体制が大変早かったこと。当市も他地域が災害の時支援できるのか。食事の配布が行われたこと(自衛隊による)。市の災害に備えての食糧備蓄が大変少なかったことに驚いた。今後考慮して欲しい。市中心部の映像ばかりでなく、周辺部の情報や中心部からはずれたところの情報も広く伝えてもらえるともっと良い。(女性/60歳代)
- ヘリコプターの音で放送が聞きづらかった。(女性/60歳代)
- みんな一生懸命やってくれているので、ありがたいと思う。(女性/60歳代)
- 普段は夫が単身赴任のため、年寄り(86歳)と二人暮らしで、今回の地震があったとき、常盤高校が避難所になり、水をもらいに行ったり、食事も頂いたり、大変助かりました。しかし、地震発生から一週間で校舎の修理とのことで避難所がなくなりました。ガスも水も出ない時で、年寄りを1人家に残して水をもらいに出かけるのには、とても心配です。急ぎの修理でなかったらもう少し先行っていただけないものかと思いました。我が家のおばあさんは病人ではありませんが、高齢の為避難所のお風呂に遠くまで歩いていけず、親類の人に温泉に時々連れて行ってもらいます。病人には手厚いですが、高齢者がいるとこんな事でもストレスになります。(女性/60歳代)
- 復興が進んでいないので頑張って早くして欲しい。(女性/70歳代以上)
- ガスがまだ繋がらないが、朝晩の食事を作ってもらえるのは嬉しい(昼は自宅に帰り片付けや洗濯が出来ると、昼は家で適当に食べている)。(女性/70歳代以上)
- とても良くしていただきました。(女性/70歳代以上)
- 自分ひとりで何から手をつけて良いのかわからず、泣きたくなりました。公共機関の方々には良くしていただきました。(女性/70歳代以上)
- 今回の地震での放送で、原発が安全ですと安心して安んずるようにとのことでしたが不安だった。市の連絡が遅い。報道記者のうるさいこと、しつこすぎる。自衛隊の水の供給が早く、助かった。(女性/70歳代以上)
- メディアのヘリコプターの数、飛行が低空で多すぎ。難聴になる程だった。数えたら7機も同時刻に飛んでいた。(女性/70歳代以上)
- ヘリコプターがうるさくひどすぎた。電話が通じるようになってもうるさくて困った。(女性/70歳代以上)
- すぐに町内会長が来てくれて、声かけがあったりしてとても助かった。(女性/70歳代以上)
- 町内会長さんがすごく気配りがあり、食料を持って来てくれたりして、不自由することはなかった。(女性/70歳代以上)
- 各地から災害派遣の方々に来て頂き、避難はしませんが、給水・給食に行くことができ、自分自身の体が丈夫、健康だったので耐えられて幸せでした。自宅で生活できて幸せでした。給食も十分です。1人住まいの私宅に民生員の方が訪れ、避難するか否か聞きに来て下さいました。(女性/70歳代以上)
- 祭日の為か災害対策本部の設置が遅れたが、その後の情報を沢山流してくれたので安心した(女性/70歳代以上)
- 市は良く対応してくれたと思う。(女性/70歳代以上)

- 他県からの人たちがテレビに映るものと同じ地域ばかりが出てもっと多方面の情報が伝わってこなくて、困ってたとの声。現地への交通情報を早く知らせたい。(女性/70歳代以上)
- 防災無線で絶えず連絡が入っていたのでありがたかった。(女性/70歳代以上)
- 柏崎小とか同じ避難所をいろんな局が映している。大須等、別の所の様子も映して欲しい(例えば大須等の自分の部落など)(女性/70歳代以上)
- 詳しく放送してくれております。安心感があります。(女性/70歳代以上)
- ライフラインの復旧が一日でも早くなるように希望します。(女性/70歳代以上)
- テレビ等がしっかり報道してくれたので、ありがたかった。(女性/70歳代以上)
- ご苦労様です。早めの復興をお願いします。(女性/70歳代以上)
- ボランティア、辺りの人が良くしてくれるので感謝している(女性/70歳代以上)

## 7 柏崎刈羽原子力発電所の事故について

## (1) 柏崎刈羽原子力発電所で発生した事象の認知経路と重大性

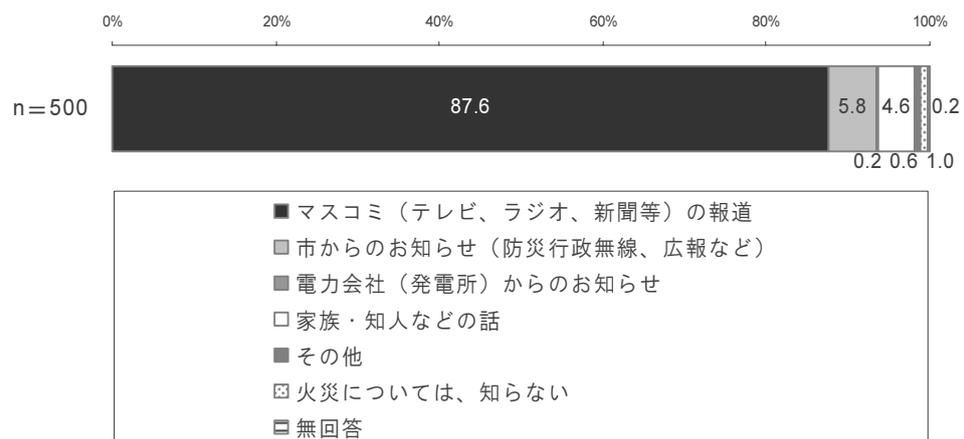
情報の入手先は「マスコミの報道」9割程度、「非常に重大」8割程度

## ① 地震直後に起きた変圧器火災について

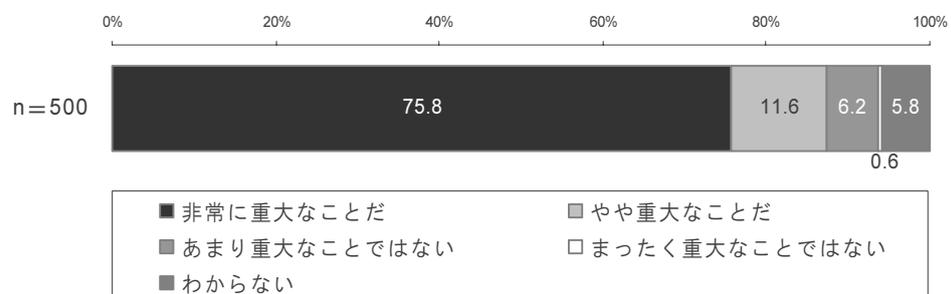
今回の地震では、柏崎刈羽原子力発電所にもさまざまな影響がありました。このうち次の (a) ~ (c) について、それぞれお答えください。

## (a) 地震直後に起きた変圧器火災について

問 39-1 あなたは、この火災に関する情報をどのように知りましたか。最もあてはまるものを1つ選んでください。



問 39-2 あなたは、この火災をどのように受け止めましたか。あてはまるものを1つ選んでください。



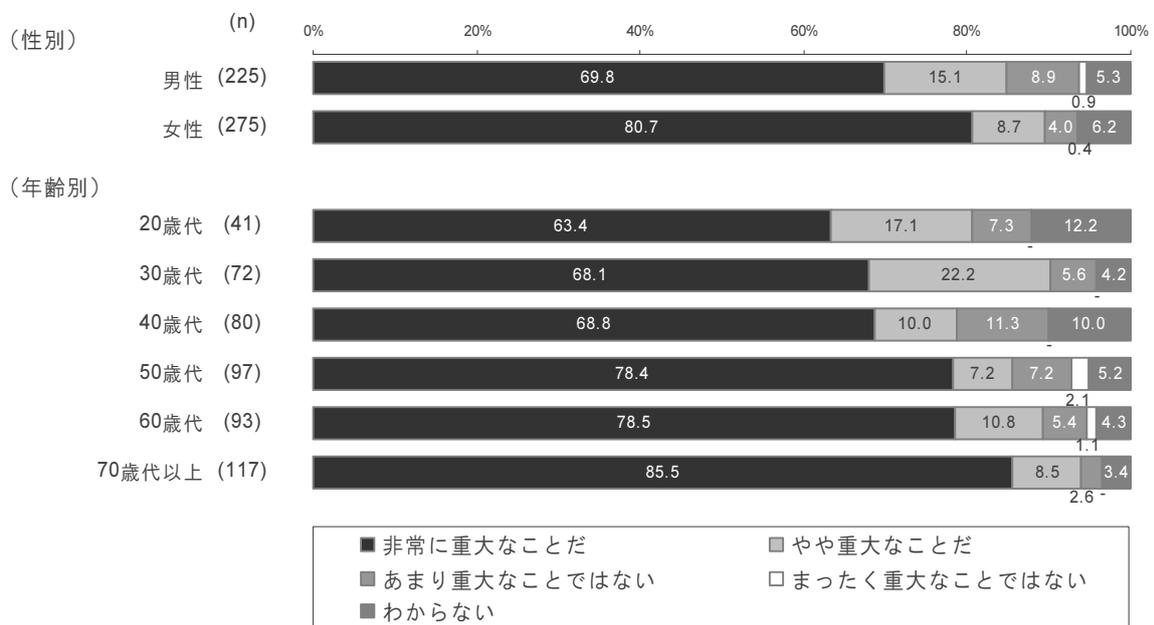
地震直後に起きた変圧器火災に関する情報をどのように知ったか尋ねたところ、「マスコミ（テレビ、ラジオ、新聞等）の報道」（87.6%）との回答が大半を占めた。

また、この火災をどのように受け止めたか尋ねたところ、「非常に重大なことだ」（75.8%）との回答が7割台半ばを占め、「やや重大なことだ」（11.6%）と合わせると9割近くが火災を重大なことだと受け止めていた。

[情報の入手先：属性別集計結果（性別／年齢別）]



[受け止め方：属性別集計結果（性別／年齢別）]



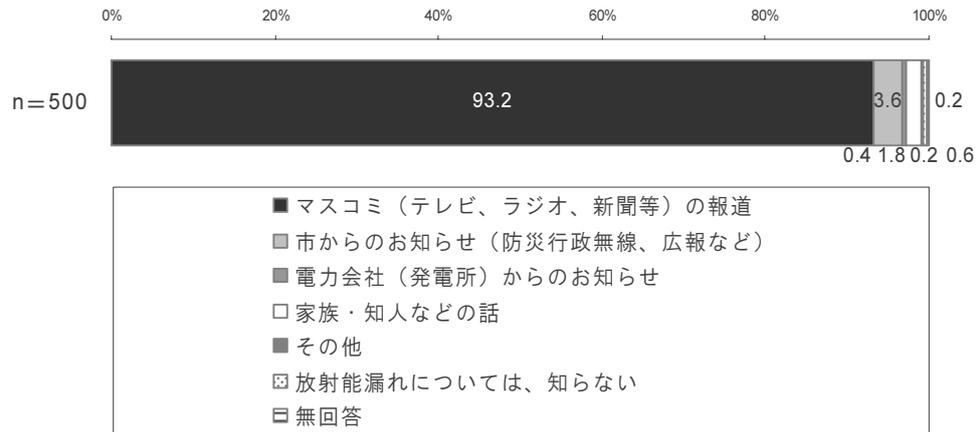
#### IV. 調査結果

### ② 放射性物質を含む水が海に流出したこと（放射能漏れ）について

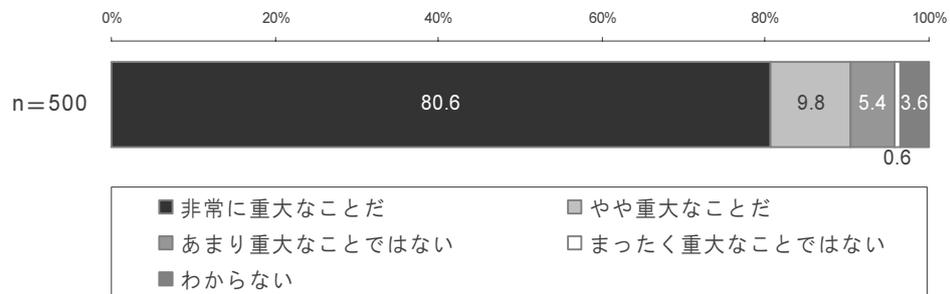
今回の地震では、柏崎刈羽原子力発電所にもさまざまな影響がありました。このうち次の (a) ~ (c) について、それぞれお答えください。

#### (b) 放射性物質を含む水が海に流出したこと（放射能漏れ）について

問 40-1 あなたは、この放射能漏れをどのように知りましたか。最もあてはまるものを1つ選んでください。



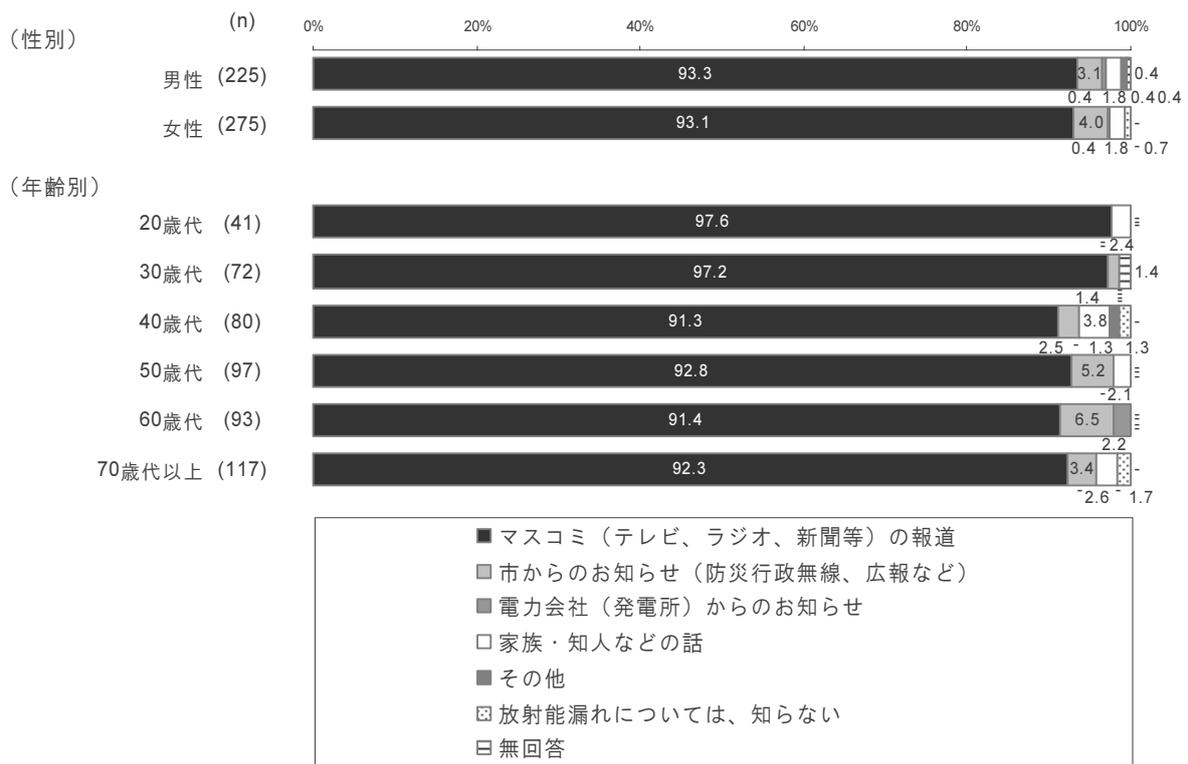
問 40-2 あなたは、この放射能漏れをどのように受け止めましたか。あてはまるものを1つ選んでください。



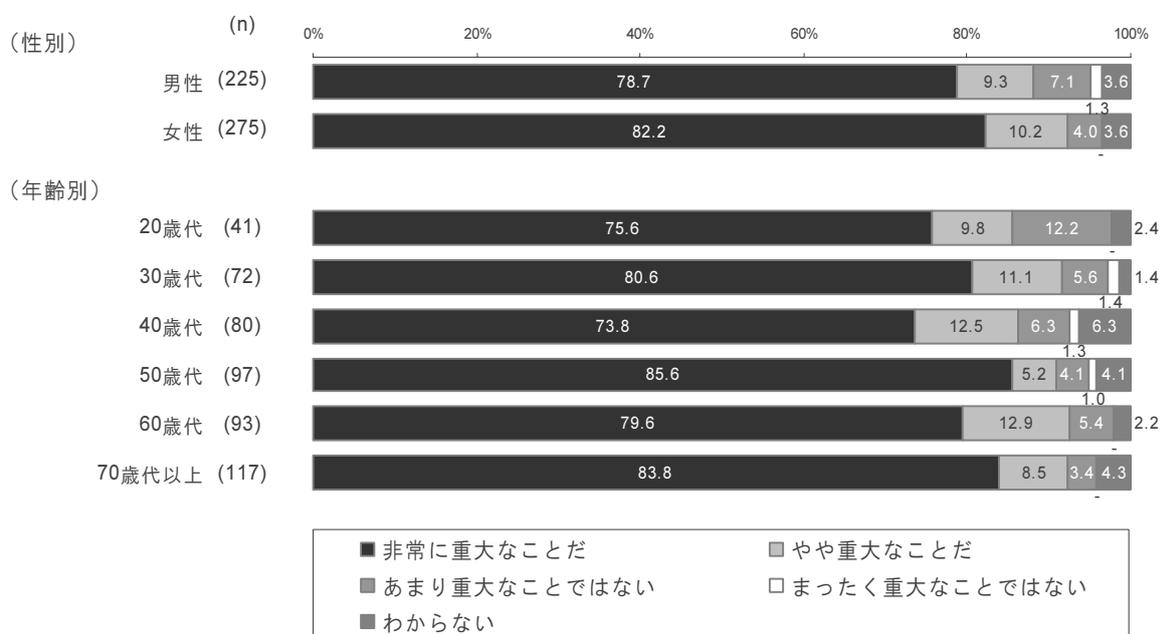
放射性物質を含む水が海に流出したことをどのように知ったか尋ねたところ、「マスコミ (テレビ、ラジオ、新聞等) の報道」(93.2%) との回答が大半を占めた。

また、放射能漏れをどのように受け止めたか尋ねたところ、「非常に重大なことだ」(80.8%) との回答が8割を占め、「やや重大なことだ」(9.8%) と合わせると9割が放射能漏れを重大なことだと受け止めていた。

[情報の入手先：属性別集計結果（性別／年齢別）]



[受け止め方：属性別集計結果（性別／年齢別）]

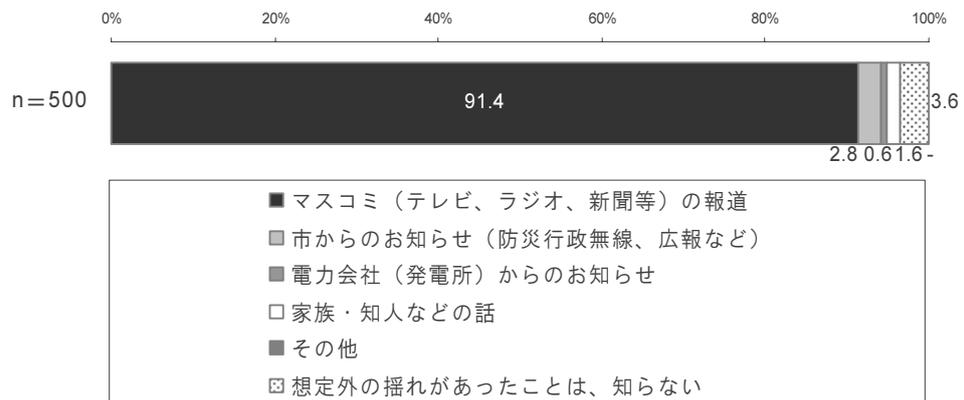


③ 発電所設計時の想定を大きく超える揺れ（加速度）が観測されたことについて

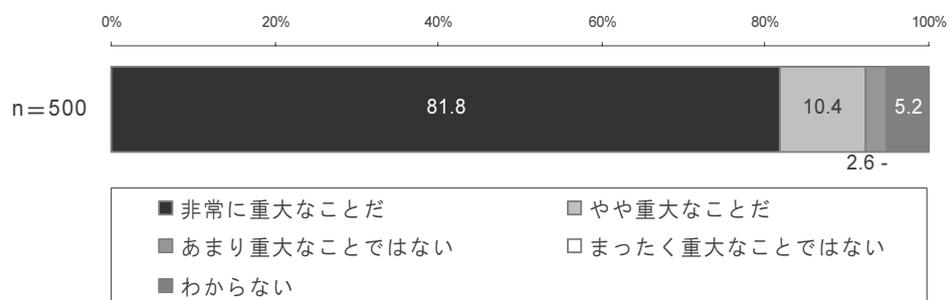
今回の地震では、柏崎刈羽原子力発電所にもさまざまな影響がありました。このうち次の (a) ~ (c) について、それぞれお答えください。

**(c) 発電所設計時の想定を大きく超える揺れ（加速度）が観測されたことについて**

**問 41-1** あなたは、この想定外の揺れがあったことをどのように知りましたか。最もあてはまるものを1つ選んでください。



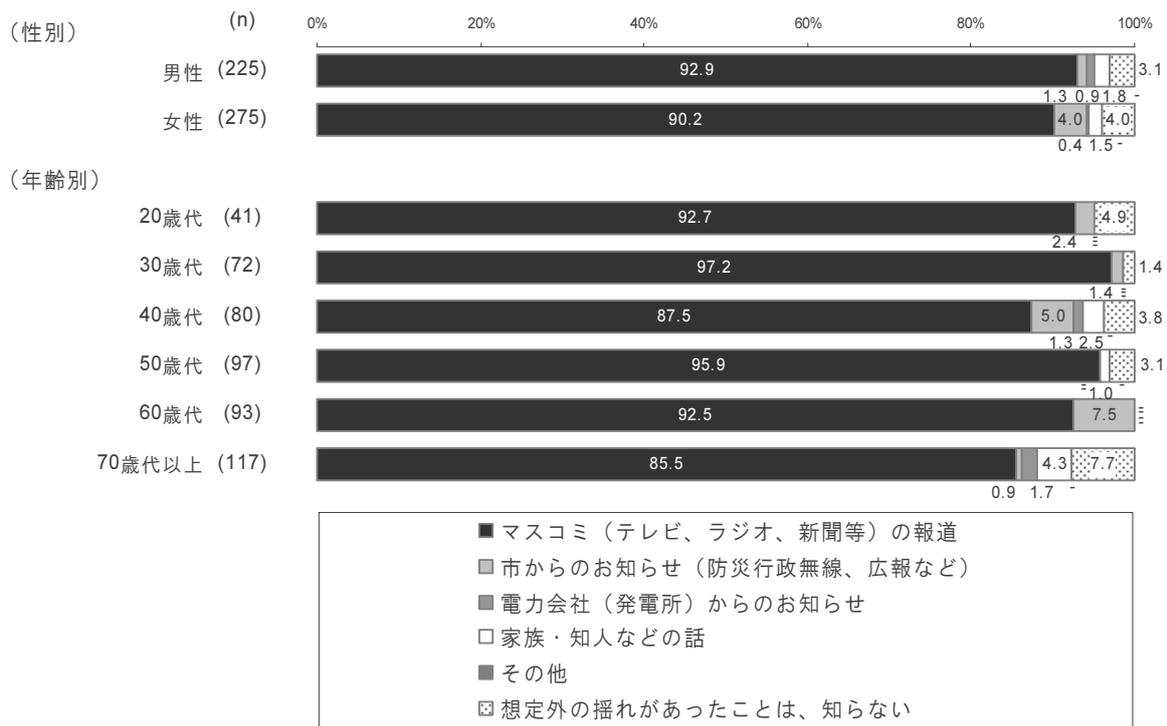
**問 41-2** あなたは、この想定外の揺れがあったことをどのように受け止めましたか。あてはまるものを1つ選んでください。



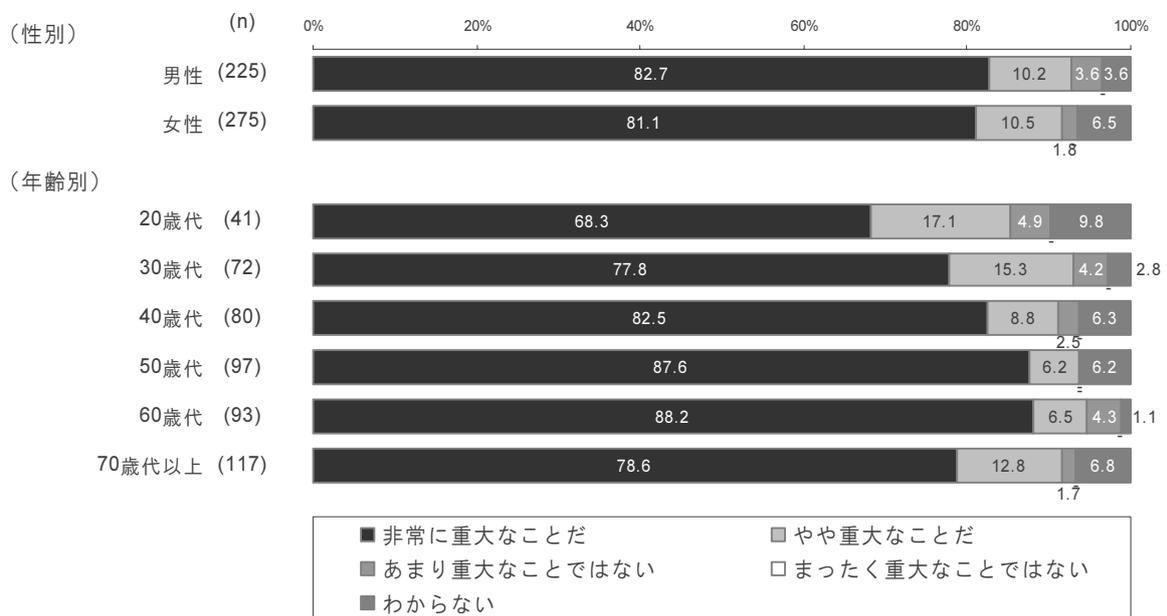
発電所設計時の想定を大きく超える揺れ（加速度）が観測されたことをどのように知ったか尋ねたところ、「マスコミ（テレビ、ラジオ、新聞等）の報道」（91.4%）との回答が大半を占めた。

また、この想定外の揺れがあったことをどのように受け止めたか尋ねたところ、「非常に重大なことだ」（81.8%）が8割強を占め、「やや重大なことだ」（10.4%）と合わせると9割強が想定外の揺れを重大なことだと受け止めていた。

[情報の入手先：属性別集計結果（性別／年齢別）]



[受け止め方：属性別集計結果（性別／年齢別）]

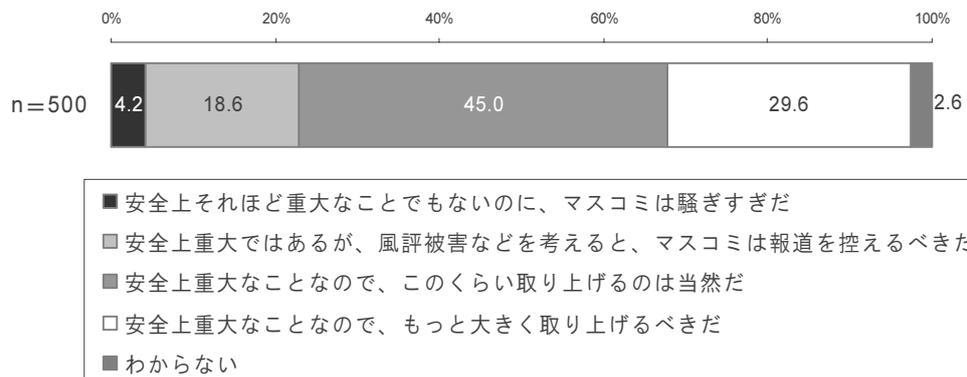


#### IV. 調査結果

### (2) マスコミ報道

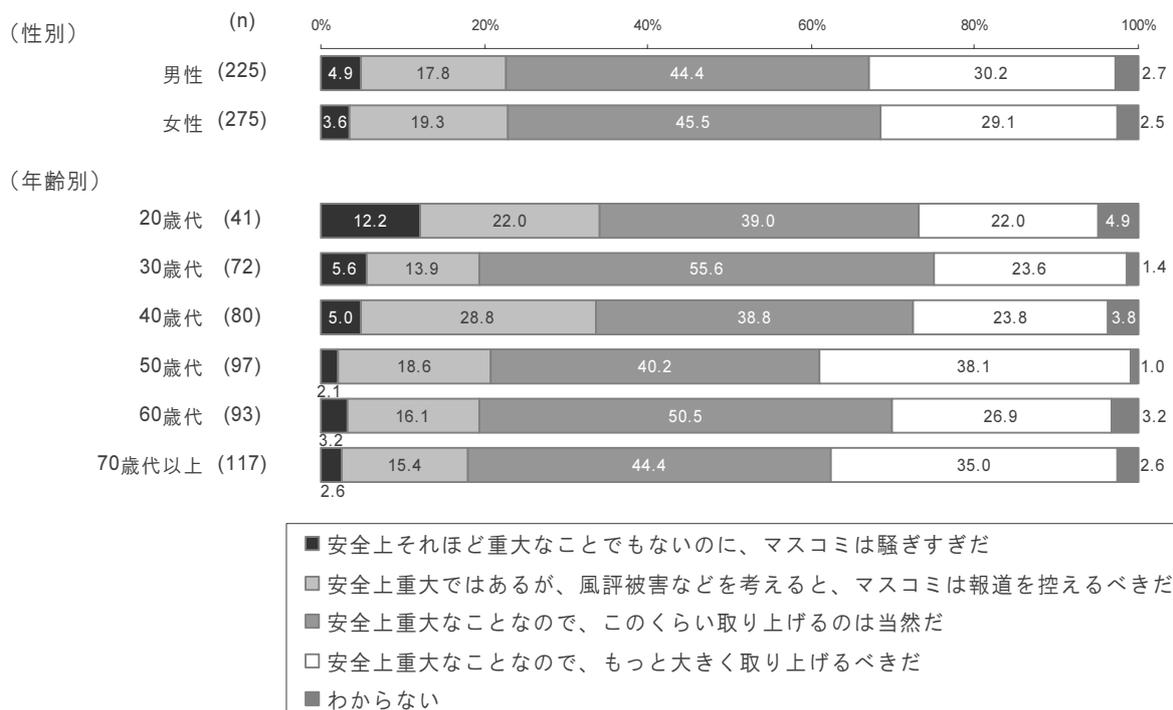
#### 「このくらい取り上げるのは当然だ」4割台半ば

**問 42** 柏崎刈羽原子力発電所に地震の影響があったことは、マスコミ報道でも大きく取り上げられています。これについて、あなたはどのように感じていますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。



柏崎刈羽原子力発電所に地震の影響があったことがマスコミで大きく取り上げられていることについて、どう感じているかを尋ねたところ、「安全上重大なことなので、このくらい取り上げるのは当然だ」(45.0%)との意見が最も高く4割台半ばとなった。次いで「安全上重大なことなので、もっと大きく取り上げるべきだ」(29.6%)、「安全上重大であるが、風評被害などを考えると、マスコミは報道を控えるべきだ」(18.6%)が続いている。

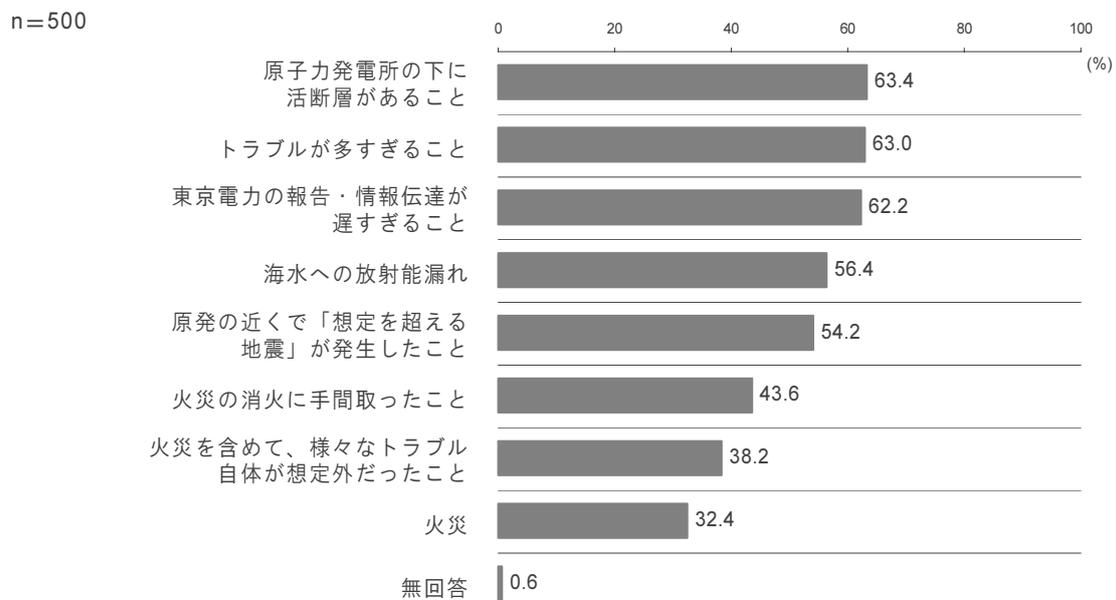
#### [属性別集計結果 (性別/年齢別)]



## (3) 今回の柏崎刈羽原子力発電所の事故の問題点

「発電所の下に活断層がある」「トラブルが多すぎる」「報告・情報伝達が遅い」6割強

**問 43** あなたは、今回の柏崎刈羽原子力発電所の事故で何が問題だと思いますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。



今回の柏崎刈羽原子力発電所の事故で何が問題だと思うかを尋ねたところ、「原子力発電所の下に活断層があること」(63.4%)との回答が最も高く、「トラブルが多すぎること」(63.0%)、「東京電力の報告・情報伝達が遅すぎること」(62.2%)がいずれも6割以上を占めた。これらに次いで「海水への放射能漏れ」(56.4%)、「原発の近くで「規定を超える地震」が発生したこと」(54.2%)との回答も5割台半ばを占め高くなった。

[属性別集計結果 (性別/年齢別)]

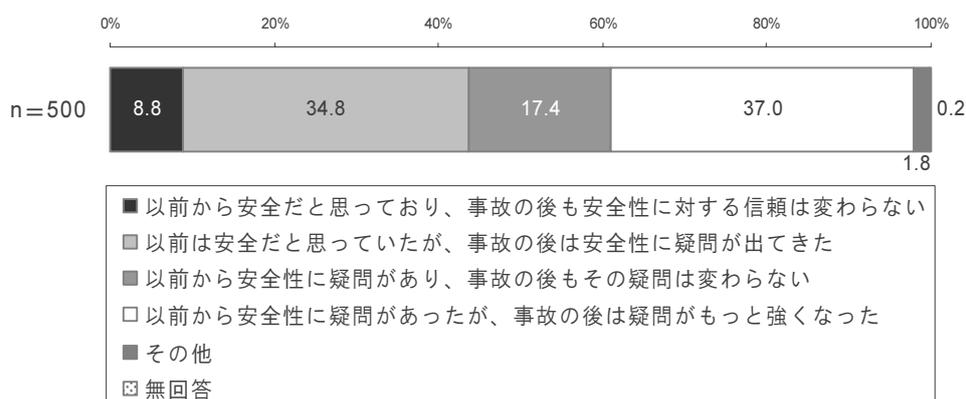
|        | 調査数 | 生を原<br>し超発<br>したえ<br>ること<br>と地<br>震」<br>が想<br>定 | 活原<br>断子<br>層力<br>が発<br>電所<br>のこ<br>と下<br>に | 海<br>水<br>へ<br>の<br>放<br>射<br>能<br>漏<br>れ | 火<br>災 | 取火<br>つ災<br>たの<br>こ消<br>と火<br>に<br>手<br>間 | こ<br>ト<br>ラ<br>ブ<br>ル<br>が<br>多<br>す<br>ぎ<br>る | 定な<br>外ト<br>だラ<br>つブ<br>たラ<br>つた<br>こと<br>自体<br>が様<br>々 | と報<br>伝東<br>達京<br>が力<br>遅の<br>ず報<br>ぎ告<br>る・<br>こ情 | 無<br>回<br>答 |
|--------|-----|---|---|---|--------|---|--|---|--|-------------|
| 全体     | 500 | 54.2  | 63.4  | 56.4                                      | 32.4   | 43.6                                      | 63.0   | 38.2  | 62.2   | 0.6         |
| 性別     |     |   |   |   |        |   |  |   |  |             |
| 男性     | 225 | 50.2  | 64.4  | 54.2                                      | 28.9   | 44.9                                      | 60.0   | 33.8  | 60.9   | -           |
| 女性     | 275 | 57.5  | 62.5  | 58.2                                      | 35.3   | 42.5                                      | 65.5   | 41.8  | 63.3   | 1.1         |
| 年齢別    |     |   |   |   |        |   |  |   |  |             |
| 20歳代   | 41  | 48.8  | 61.0  | 65.9                                      | 39.0   | 51.2                                      | 70.7   | 41.5  | 61.0   | -           |
| 30歳代   | 72  | 51.4  | 47.2  | 44.4                                      | 20.8   | 40.3                                      | 56.9   | 37.5  | 63.9   | 1.4         |
| 40歳代   | 80  | 53.8  | 57.5  | 50.0                                      | 31.3   | 47.5                                      | 51.3   | 43.8  | 56.3   | -           |
| 50歳代   | 97  | 52.6  | 70.1  | 60.8                                      | 32.0   | 43.3                                      | 63.9   | 39.2  | 69.1   | -           |
| 60歳代   | 93  | 53.8  | 66.7  | 53.8                                      | 28.0   | 39.8                                      | 67.7   | 35.5  | 61.3   | 1.1         |
| 70歳代以上 | 117 | 59.8  | 70.1  | 63.2                                      | 41.9   | 43.6                                      | 67.5   | 35.0  | 60.7   | 0.9         |

(全体と比べて10ポイント以上高いものに 網掛け)

## (4) 原子力発電の安全性

「以前：疑問、事後：疑問強める」4割弱、「以前：安心、事後：疑問」3割台半ば

**問 44** 今回の事故をきっかけとして、あなたの原子力発電の安全性についての考えは変わりましたか。あてはまるものを1つ選んでください。



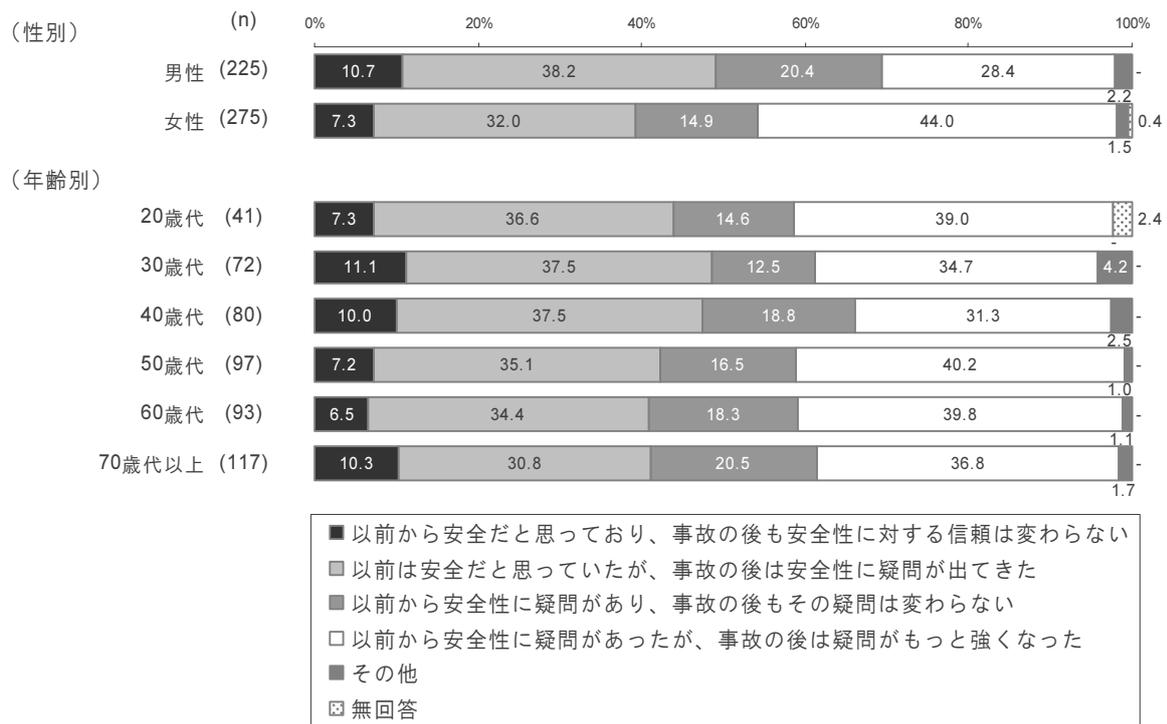
今回の事故をきっかけとして、原子力発電の安全性についての考えは変わったかどうかについて尋ねた。

「以前から安全性に疑問があったが、事故の後には疑問がもっと強くなった」(37.0%)との回答が最も高く、次いで「以前は安全だと思っていたが、事後の後には安全性に疑問が出てきた」(34.8%)とともに3割台半ばとなった。

今回の事故の前に安全だと思っていたのは4割強（「以前から安全だと思っており、事故の後も安全性に対する信頼は変わらない」(8.8%)、「以前は安全だと思っていたが、事後の後には安全性に疑問が出てきた」(34.8%)）であったが、そのうちの8割弱が事故をきっかけに安全性に疑問を抱いたことになる。一方、事故の前から安全性に疑問を持っていたのは5割台半ば（「以前から安全性に疑問があり、事故の後もその疑問は変わらない」(17.4%)、「以前から安全性に疑問があったが、事故の後には疑問がもっと強くなった」(37.0%)）であり、そのうちの7割弱が事故の後に更に疑問を強めている。

性別にみると、「以前から安全性に疑問があったが、事故の後には疑問がもっと強くなった」との回答は女性(44.0%)で4割台半ばとなっており、男性(28.4%)を大きく上回っている。

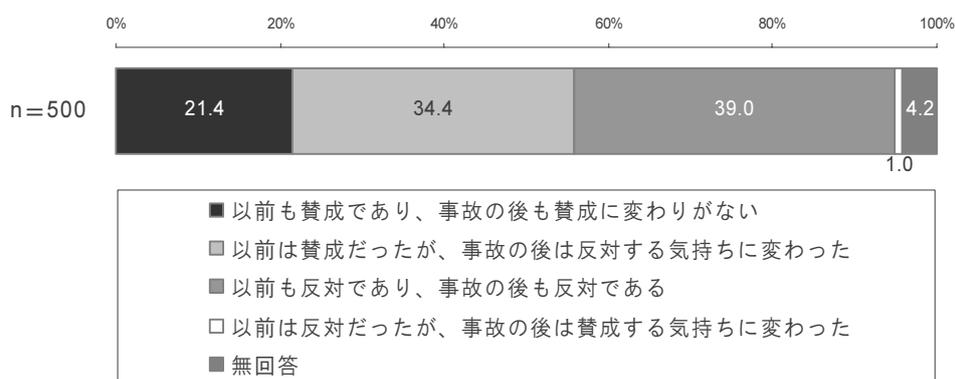
[属性別集計結果 (性別/年齢別)]



## (5) 原子力発電に対する賛否

「以前：反対、事後：反対」4割弱、「以前：賛成、事後：反対」3割台半ば

**問 45** では、今回の事故をきっかけにして、あなたの原子力発電に対する賛成－反対の意見は変わりましたか。あてはまるものを1つ選んでください。



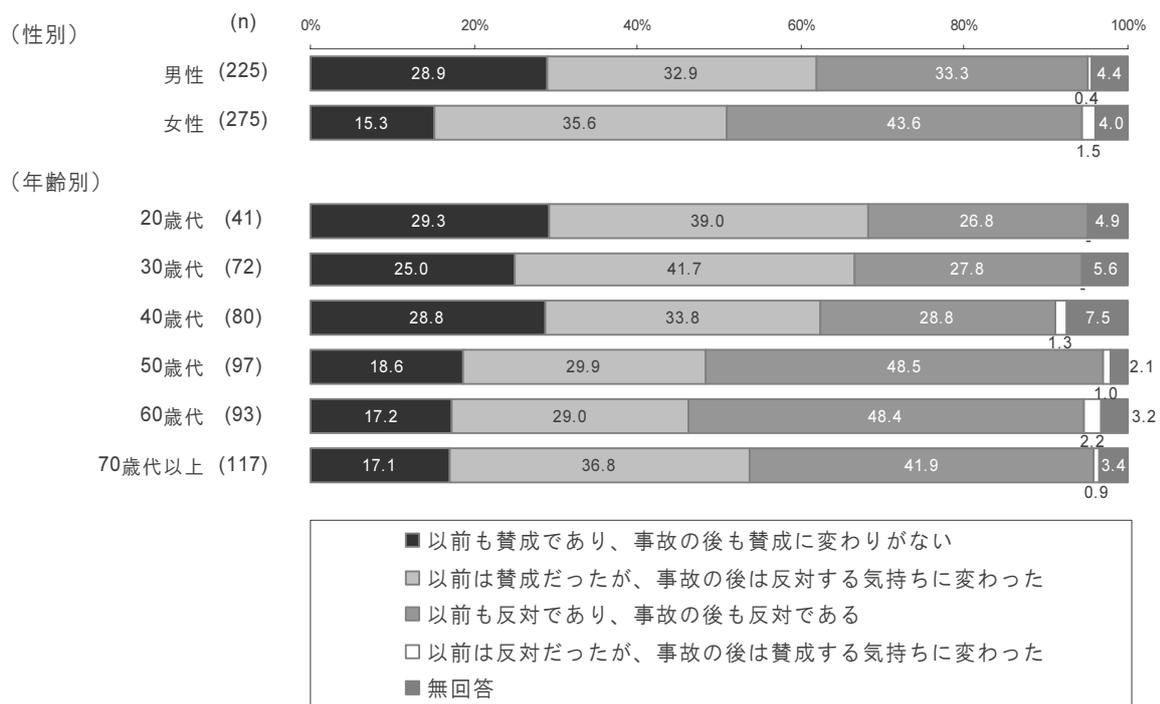
今回の事件をきっかけにして、あなたの原子力発電に対する意見が変わったかどうか尋ねたところ、「以前も反対であり、事故の後も反対である」(39.0%)との回答が4割弱で最も高く、次いで「以前は賛成だったが、事故の後は反対する気持ちに変わった」(34.4%)、「以前も賛成であり、事故の後も賛成に変わらない」(21.4%)の順となっている。

今回の事故の前に賛成だとしていたのは5割台半ば(「以前も賛成であり、事故の後も賛成に変わらない」(21.4%)、「以前は賛成だったが、事後の後は反対する気持ちに変わった」(34.4%))であったが、そのうちの6割強が事故をきっかけに反対する気持ちに変わったことになる。

性別にみると、「以前も反対であり、事故の後も反対である」との回答は、女性(43.6%)で4割台半ばを占め、男性(33.3%)と比べ10ポイント高い。また、「以前も賛成であり、事故の後も賛成に変わらない」は女性(15.3%)で1割台半ばであるのに対し、男性(28.9%)で3割弱と13ポイントの差がある。

年齢別にみると、「以前も反対であり、事故の後も反対である」との回答は、50歳代(48.5%)、60歳代(48.4%)、70歳代以上(41.9%)など高齢層で比較的高い。一方、「以前も賛成であり、事故の後も賛成に変わらない」との回答は、20歳代(29.3%)、30歳代(25.0%)、40歳代(28.8%)で2割台半ばから2割台後半と若年層で高くなっている。

## [属性別集計結果（性別／年齢別）]

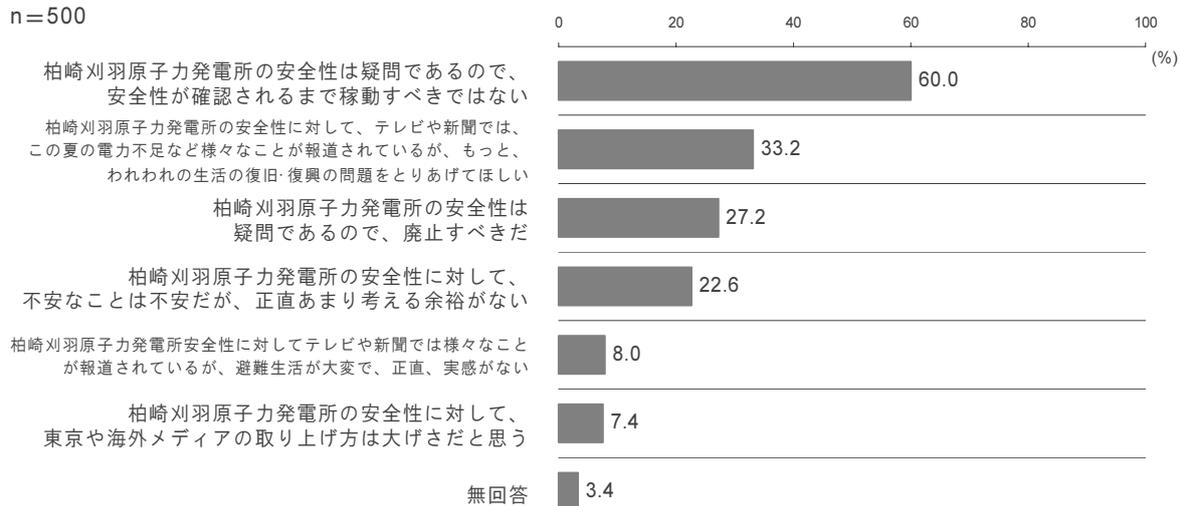


## (6) 柏崎刈羽原子力発電所の事故について

## 「安全性が確認されるまで稼働すべきではない」6割

**問 46** 今回の柏崎刈羽原子力発電所の事故について、あなたの考えとして、次のことはあてはまりますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

n=500



今回の柏崎刈羽原子力発電所の事故については、「柏崎刈羽原子力発電所の安全性は疑問であるので、安全性が確認されるまで稼働すべきではない」（60.0%）との回答が最も高く6割を占めた。次いで「柏崎刈羽原子力発電所の安全性に対して、テレビや新聞では、この夏の電力不足など様々なことが報道されているが、もっと、われわれの生活の復旧・復興の問題をとりあげてほしい」（33.2%）が3割強、「柏崎刈羽原子力発電所の安全性は疑問であるので、廃止すべきだ」（27.2%）が3割弱などとなった。

年齢別にみると、「柏崎刈羽原子力発電所の安全性は疑問であるので、安全性が確認されるまで稼働すべきではない」との回答は20歳代（46.3%）、30歳代（48.6%）で半数近くにとどまっており、若年層で低い傾向がある。一方、「柏崎刈羽原子力発電所の安全性に対して、不安なことは不安だが、正直あまり考える余裕がない」との回答も若年層で高く、20歳代（41.5%）で4割強、30歳代（34.7%）で3割台半ばとなった。

## [属性別集計結果 (性別/年齢別)]

|        | 調査数 | 柏崎刈羽原子力発電所の安全性が、正直考える余裕がない不安だ | 柏崎刈羽原子力発電所の安全性なことが報道され、正直、実感が避けない | 柏崎刈羽原子力発電所の安全性の問題をとり上げて欲しい | 柏崎刈羽原子力発電所の安全性がこの夏の電力不足など様々なことが報道されているが、もつと、われわれの生活の復旧・復興の問題をとり上げて欲しい | 安全性に対して東京や海外までアイデアの取り上げ方は大きすぎだと思ふ | 柏崎刈羽原子力発電所の安全性は疑問であるので、安全性が確認されるまで稼働すべきではない | 柏崎刈羽原子力発電所の安全性は疑問であるので、廃止すべきだ | 無回答 |
|--------|-----|-------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|---|-----------------------------------|---|-------------------------------|-----|
| 全体     | 500 | 22.6                          | 8.0                               | 33.2                       | 7.4   | 60.0                              | 27.2  | 3.4                           |     |
| 性別     |     |                               |                                   |                            |   |                                   |   |                               |     |
| 男性     | 225 | 23.6                          | 8.4                               | 32.4                       | 10.2  | 60.4                              | 24.4  | 2.7                           |     |
| 女性     | 275 | 21.8                          | 7.6                               | 33.8                       | 5.1   | 59.6                              | 29.5  | 4.0                           |     |
| 年齢別    |     |                               |                                   |                            |   |                                   |   |                               |     |
| 20歳代   | 41  | 41.5                          | 14.6                              | 46.3                       | 7.3   | 46.3                              | 14.6  | 4.9                           |     |
| 30歳代   | 72  | 34.7                          | 5.6                               | 26.4                       | 5.6   | 48.6                              | 22.2  | 2.8                           |     |
| 40歳代   | 80  | 25.0                          | 6.3                               | 41.3                       | 11.3  | 62.5                              | 16.3  | 7.5                           |     |
| 50歳代   | 97  | 19.6                          | 12.4                              | 30.9                       | 9.3   | 63.9                              | 36.1  | 1.0                           |     |
| 60歳代   | 93  | 19.4                          | 7.5                               | 31.2                       | 3.2   | 64.5                              | 30.1  | 1.1                           |     |
| 70歳代以上 | 117 | 12.0                          | 5.1                               | 30.8                       | 7.7   | 63.2                              | 32.5  | 4.3                           |     |

(全体と比べて 10 ポイント以上高いものに  網掛け)

## (7) 原子力発電所についてのうわさ

**問 47** 今回の地震以後に、原子力発電所について、何かうわさを聞きましたか。内容や誰から聞いたかなどについて、差し支えない範囲で教えてください。

- 様々な方面からいろいろと聞く。風評被害的なもので言えば、近海への放射能漏れにより何年間は海水浴ができない、貝など食べられない等。施設で言えば、原子力建物の内部。管理レベルの高い部屋から外が見える程損傷しているなど。テレビで報道されている以上にひどい状況だとか。(男性/20歳代)
- 原発に出入している人がもう原発はひきあげるというのを聞いた。(男性/20歳代)
- 大規模なリストラがあるらしい(同じ職場の人から聞いた)。→従業員の移動、早期退職(男性/20歳代)
- 原発が動いていないので、下請け会社の社員が解雇されていること(男性/20歳代)
- 放射能漏れが発表の3倍の量が漏れていると聞きました。(男性/30歳代)
- 発電所内の地震計の計器に問題があり、データが上書きされたと聞いているが、そういったシステムは理論上有り得ない。実施は報道による非難を小さくするために、計測された震度は公表せず、低めの震度で情報を外部に出している。実際各地の震度はテレビ等で報道されているが、原発内震度は速報で見た記憶が一度もない。(男性/30歳代)
- 原発全体での隠蔽体質(職員)が根付いているように思える。(男性/30歳代)
- 東京の人間がクーラーが使えなくなって困るらしい(男性/30歳代)
- 情報開示の嘘だらけ。(男性/50歳代)
- 東京電力が何か重大なことを隠しているのでは(男性/50歳代)
- 今後4~5年は稼働できない。報道以外にももっと重大なトラブルがあるのでは。中が潰れているのでは(原子力発電所の内部)。(男性/50歳代)
- 戦争と同じでブッシュもイラクへ行って最前線で自分が戦うわけでないから出来る。これと同じで安全・安心という人間がいたら身体で原発の中でも入って示すべきだ。日本の原発は労務者の人たちの犠牲の上に成り立っていると聞いたか。(男性/50歳代)
- 原発の初期から活断層があるという説があったのに、国が無視して設立した(裁判にまでなった)(男性/60歳代)
- 爆発寸前だという噂を聞いた。(男性/70歳代以上)
- 設置前に建設現場に活断層有りと言われていたが、問題ないとして建設された。チェルノブイリのようになる前に廃止すべきである。(男性/70歳代以上)
- 原発の関連会社に勤める知人より、地震当日(夜)聞きました。「火災だけとか言っているが、もと大変なことが(放射能漏れとか、予想以上の揺れだったとか)起こっているよ」「これからたくさん報道されるよ」(女性/20歳代)
- 死んでいる人やケガをしている人はもっている。その家族にはお金をあげて、黙っててもらっているという噂を聞いて怖くなりました。(女性/30歳代)
- 常にトラブルが多すぎる。表沙汰にならないことが多いと聞きます。(女性/30歳代)
- 震度や放射能漏れも、もっと高い数値も嘘を言っているのではないか(女性/30歳代)
- 刈羽住民は放射能に対する特別な薬をもらって飲んでいる(女性/30歳代)
- 東京電力は放射能がもれても言うわけがない。海では泳がないほうがよい。地元の人々は海水浴は控えている。今回の地震で放射能漏れは報道よりもあると思っています。(女性/30歳代)
- まだ何か重大な事故を隠しているのではないか。(女性/40歳代)
- 「微量の放射能漏れ」より使用済み燃料の処理の問題の方が重大な問題である等、報道されていることよりももっと重大な問題があるといううわさ。(女性/40歳代)
- 東京電力の社員の家族が被爆した時に飲む薬を購入したとのこと。それほど危険だったのかと不安になった。(女性/40歳代)
- 危険なので社員は出勤していない(女性/40歳代)
- 地震があるたびに震度を一つ下げて報告しているらしい。例えば、柏崎震度2であるなら震度1と報告するらしい。(女性/50歳代)
- 子供が新聞社へ勤めているので聞いた(海水への放射能漏れについて)。(女性/50歳代)
- 原子力発電所(東京電力)の言うことは全く信用できない。隠し事、嘘ばかりで今後運転が再開されれば、又事故が起きる。閉鎖すべきだと多くの人が言っている。自分もそう思う。(女性/50歳代)
- 公表されているより被害が大きいのではないかと。(女性/50歳代)
- 保健所にヨウ素をもらいに行ったが、もらえなかったと聞いた。(女性/50歳代)
- マスコミでは3,6号機を取り上げているが、1号機が一番酷いという話を聞きました。(女性/50歳代)

- 内部がマニュアル化されていて、マニュアル以外の対応が出来なくなっているのではないか。(女性／50 歳代)
- もっと隠していることがあるのではないかと思う。(女性／60 歳代)
- 原子力発電所の下に活断層があることが証明された。これは柏崎市民にとって重要なこととっております。前からそのようなことは一部で言われておりましたが、なかなか証明されなかった。今回それが分かったことは不幸中の幸いと思っております。簡単に原発再開などもってのほか。絶対反対します。東京の電力を地方がリスクをしょってられません。そんなに安全なら東京のど真ん中に作れ。(女性／60 歳代)
- 軽装で作業を行っている。放射能に対して所内全体が無神経なのではないか。(女性／70 歳代以上)
- 原発の設置場所の選び方を間違っていたのでは。上に立つ人々が間違えた調査をしたのでは。(女性／70 歳代以上)

## **V 調査票（単純集計結果）**

# 新潟県中越沖地震に関する調査

株式会社サーベイリサーチセンター  
東洋大学社会学部中村研究室

訪問日

|   |   |   |
|---|---|---|
| / | / | / |
|---|---|---|

SEQ

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|

## 被害についてお聞きします

**問1** 今回の地震で、あなたが住んでいた建物は、何か被害がありましたか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                   |                   |                    |
|-------------------|-------------------|--------------------|
| 1. 「全壊」だった 0.8    | 3. 「半壊」した 4.0     | 5. 建物に被害はなかった 22.6 |
| 2. 「大規模半壊」だった 1.2 | 4. 「一部損壊」だった 71.4 |                    |

**問2** お宅では家屋（建物）に被害がありましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 屋根瓦が落ちたり、ずれたり破損した 19.8 | 4. 塀、庭の灯籠などが倒れた 30.2 |
| 2. 窓ガラスがわれた 17.0          | 5. ほとんど被害はなかった 11.6  |
| 3. 家の壁の一部にひびや亀裂が入った 76.0  | 6. 全く被害はなかった 3.2     |

**問3** では、家具などの家の中はどのような状況でしたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

- |   |
|---|
| 1. タンス、食器棚、冷蔵庫、ステレオなど安定した大きなものが崩れた 79.4   |
| 2. 倒れはしなかったが、扉が開くなどして、中の食器やビン類等がこわれた 48.2 |
| 3. 花瓶や額縁、人形ケースなど比較的小さいものが倒れたり落下した程度 39.8  |
| 4. 落下・転倒などの被害はなかった 1.8                    |

**問4** あなたは、地震でけがをしましたか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. けがをした 13.6 | 2. けがはしなかった 86.4 |
|---------------|------------------|

**付問 4-1** (問4で「1. けがをした」と回答した方にお聞きします) どのようにしてけがをしたのですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=68)

- |                      |                    |             |
|----------------------|--------------------|-------------|
| 1. 転んだり落ちたりした 33.8   | 5. 塀・自動販売機などの転倒 -  | 9. その他 16.2 |
| 2. 家具の転倒 17.6        | 6. 看板・ベランダの転倒・落下 - | (具体的に: )    |
| 3. 照明・壁・天井などの落下 -    | 7. 熱湯・油などによるやけど -  |             |
| 4. ガラス・食器などの破片で 29.4 | 8. 外に逃げようとして 27.9  |             |

## 地震当日のことについてお聞きします

**問5** 地震が起きたとき、あなたはどこにいましたか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                               |                                |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 自宅にいた 60.0                 | 5. 車・バイクで走っていた 6.8             |
| 2. 会社・学校にいた 5.8               | 6. 電車やバスなどに乗っていた 0.2           |
| 3. 上記（自宅・会社・学校）以外の建物の中にいた 6.0 | 7. その他（具体的に：） 1.8              |
| 4. 建物の外にいた 12.6               | 8. 柏崎市内にいなかった 6.8 → <b>問8へ</b> |

**問6** 地震が起きたとき、あなたの体はどんな状態になりましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=466)

- |                    |                     |                    |
|--------------------|---------------------|--------------------|
| 1. 体が飛んだ 15.5      | 3. 壁や家具にぶつかった 13.5  | 5. 家具の下敷きになった 0.4  |
| 2. 倒れたり転んだりした 26.6 | 4. 壁や天井の下敷きになった 0.2 | 6. その他（具体的に：） 23.2 |

無回答 30.7

**問7** 地震が起こってから揺れがおさまるまでの間、とっさにどんなことができましたか。1番目から3番目まで1つずつ選んでください。(n=466)

|                       | 1番目  | 2番目  | 3番目  |
|-----------------------|------|------|------|
| じっと様子を見ていた            | 20.2 | 22.1 | 12.7 |
| 歩けなかった（動けなかった）        | 36.1 | 16.7 | 2.6  |
| 火の始末をしたり、ガスの元栓を締めたりした | 1.3  | 5.4  | 2.4  |
| 家具や壊れ物を押さえたりした        | 1.3  | 1.9  | 0.2  |
| 安全な場所にかくれたり、身を守ったりした  | 3.4  | 3.4  | 2.8  |
| 頑丈なものにつかまって身を支えた      | 10.3 | 6.2  | 2.4  |
| 子供や老人、病人などを保護した       | 6.2  | 6.9  | 2.6  |
| 戸、窓などを開けた             | 0.9  | 1.7  | 1.5  |
| 家や建物の外に飛び出した          | 6.7  | 8.8  | 10.7 |
| 建物の中に飛び込んだ            | 0.4  | 0.2  | 0.4  |
| 安全な場所に避難した            | 0.6  | 3.4  | 11.2 |
| 車・バイクを止めた             | 6.0  | -    | 0.2  |
| まわりの人の安全を確かめようとした     | 2.4  | 8.4  | 16.1 |
| 無我夢中でおぼえていない          | 0.6  | 1.3  | 1.5  |
| その他（具体的に：）            | 1.9  | 1.1  | 0.9  |
|                       | ( )  | ( )  | ( )  |
| 何もしなかった（できなかった）       | 1.7  | 12.4 | 32.0 |

**問8** 地震が起こった日の夜、あなたはどこで過ごしましたか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 自宅の家の中 67.2    | 4. 市外の親戚・知人の家 2.2  |
| 2. 車の中 10.8       | 5. 市が指定した避難場所 12.0 |
| 3. 市内の親戚・知人の家 3.6 | 6. その他（具体的に：） 4.2  |

**問9** 地震当日、あなたにとって困ったことは何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

- |                           |                           |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. どこに逃げてよいか分からなかった 6.8   | 9. 携帯電話・PHS が使えなかった 37.4  |
| 2. 行政からの情報が少なかった 6.4      | 10. インターネットが使えなかった 4.0    |
| 3. 鉄道などの公共交通機関がストップした 3.0 | 11. 食料の買い出しに困った 21.8      |
| 4. 道路が渋滞した 18.0           | 12. 何をしてよいかわからなかった 12.8   |
| 5. 電気がとまった 27.6           | 13. 家族との連絡が取れなかった 18.8    |
| 6. ガスがとまった 86.8           | 14. 親戚・知人の安否がわからなかった 18.2 |
| 7. 水道がとまった 92.8           | 15. その他(具体的に：) 5.6        |
| 8. 固定電話が使えなかった 25.8       | 16. 何も困らなかった 0.6          |

**問10** 地震直後、あなたはどのようなことを知りたかったですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

- |                                      |                              |
|--------------------------------------|------------------------------|
| 1. 今回の地震についての震源地や規模などの情報 59.0        | 8. 水や食料についての情報 39.2          |
| 2. 今後の余震の可能性や、その規模 63.4              | 9. どの病院に行けばよいかという情報 4.2      |
| 3. 自分や自分の家族が避難すべきかどうかという情報 14.4      | 10. 原発についての情報 49.8           |
| 4. 自分の住む地域にどんな被害が起こっているかについての情報 43.4 | 11. 具体的にどう行動すればよいかという情報 10.0 |
| 5. 家に戻らない家族の安否や居場所 13.6              | 12. その他 1.8                  |
| 6. 役所、警察、消防署の応急処置の内容や指示・連絡 7.4       | (具体的に： )                     |
| 7. 道路、通信、電気、ガス、水道が大丈夫かといった情報 45.2    | 13. 特になかった 3.6               |

**問11** 地震当日、知りたい情報は主に何から得ましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 避難所のテレビ 5.4     | 6. 有線放送・同報無線の屋外スピーカー 35.6 |
| 2. 家のテレビ 50.2      | 7. 有線放送・同報無線の屋内受信機 46.2   |
| 3. ラジオ 59.8        | 8. 市役所、警察・消防の人 7.6        |
| 4. 電話 5.2          | 9. その他(具体的に：) 4.0         |
| 5. 近所の人たちとの会話 35.8 | 10. 知りたいことはなかった 0.4       |

## 避難生活についてお聞きします

**問 12** 地震から 1 週間後で、あなたが困ったことは何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 余震が怖くて家に入れなかった 10.2 | 10. 留守宅への泥棒が心配だった 9.0 |
| 2. 電気が止まった 13.2        | 11. 入浴 87.4           |
| 3. ガス・水道が止まった 96.8     | 12. 体調 20.8           |
| 4. 食事 33.8             | 13. ゴミや廃棄物の処理 31.8    |
| 5. 交通機関がマヒした 13.0      | 14. ペット 4.2           |
| 6. 冷房 1.6              | 15. 携帯電話の電池切れ 5.0     |
| 7. 避難する場所がなかった -       | 16. ガソリン 2.2          |
| 8. 寝具 0.8              | 17. その他（具体的に：） 3.4    |
| 9. トイレ 62.6            | 18. 何も困ったことはなかった 0.4  |

無回答 0.6

**問 13** この地震の直後、あなたは、自宅や敷地を離れて、どこかに避難しましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

- |                                   |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 市が指定した避難場所 14.8                | 4. 市外の親戚・知人の家 2.6 → <b>問 14 へ</b> |
| 2. 車の中 8.6 → <b>問 14 へ</b>        | 5. その他（具体的に：） 3.6 → <b>問 14 へ</b> |
| 3. 市内の親戚・知人の家 2.6 → <b>問 14 へ</b> | 6. 避難しなかった 69.4 → <b>問 15 へ</b>   |

**付問 13-1** (問 13 で「1. 市が指定した避難場所」と回答した方にお聞きします) 公的避難所に避難しているとき良かったと感じたことがありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=74)

- |                       |                      |                    |
|-----------------------|----------------------|--------------------|
| 1. 体が不自由な人のためのトイレ 6.8 | 5. ボランティアの支援 50.0    | 9. 電話を設置してくれた 21.6 |
| 2. 小規模な施設だったこと 5.4    | 6. お風呂に入ることができた 18.9 | 10. その他 14.9       |
| 3. 新聞が寄贈されたこと 54.1    | 7. 医師や看護師がいたこと 36.5  | (具体的に：)            |
| 4. 近所の人と一緒にだったこと 56.8 | 8. テレビを置いてくれた 36.5   | 11. とくになし 8.1      |

**付問 13-2** (問 13 で「1. 市が指定した避難場所」と回答した方にお聞きします) 公的避難所で、不便や不満を感じたことがありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=74)

- |                     |                |                          |
|---------------------|----------------|--------------------------|
| 1. プライバシーがない 24.3   | 7. 風呂 33.8     | 13. 交通が不便 1.4            |
| 2. 人間関係が煩わしい 1.4    | 8. 洗濯 25.7     | 14. 電話が使いにくい 2.7         |
| 3. 騒がしい 32.4        | 9. トイレ 36.5    | 15. 情報入手 8.1             |
| 4. なんとなく落ち着かない 32.4 | 10. 寝具 8.1     | 16. マスコミ取材が迷惑 18.9       |
| 5. 眠れない 47.3        | 11. 食事や飲料水 6.8 | 17. その他（具体的に：） 2.7       |
| 6. 持病の手当てができない 1.4  | 12. 暖房が弱い 1.4  | 18. 特に不便を感じることはなかった 17.6 |

**問 14** あなたは次のようなことを避難場所での生活で体験しましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=153)

- |                              |                         |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. トイレが心配で、水を飲むのも控えた 23.5    | 7. 風邪をひいた 5.9           |
| 2. 常用していた薬が無くなり困った 3.3       | 8. 胃腸障害にあった 5.9         |
| 3. 避難生活で足腰が弱った 6.5           | 9. 他の人より行動が遅く、気がねした 1.3 |
| 4. 避難所で、段差や階段があつて動くのに困った 2.6 | 10. その他(具体的に:) 4.6      |
| 5. 避難生活で体調を崩して医者にかかった 3.3    | 11. 以上のようなことはなかった 58.8  |
| 6. 避難生活で持病が悪化した 2.0          |                         |

無回答 1.3

## 地震についての情報についてお聞きします

**問 15** 地震の後、災害の情報をどこから入手しましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。また、入手した媒体のうち、役に立ったものをいくつでも選んでください。(n=500)

|                              | 入手した媒体 | 役に立ったもの |
|------------------------------|--------|---------|
| NHK テレビ                      | 67.0   | 51.8    |
| NHK ラジオ                      | 23.0   | 16.8    |
| 民間放送テレビ                      | 44.8   | 28.8    |
| 民間放送ラジオ                      | 17.2   | 11.2    |
| コミュニティ FM 放送 (FM ピッカラ)       | 57.2   | 54.2    |
| CATV                         | 0.6    | 0.6     |
| インターネットのホームページ               | 6.4    | 4.8     |
| 携帯電話の情報サービス (i モード、Ezweb など) | 4.6    | 2.6     |
| 家族や近所の人たちとの会話                | 47.6   | 36.8    |
| 役所、警察、消防署からの情報               | 19.4   | 16.0    |
| その他 (具体的に：)                  | 67.8   | 57.6    |
|                              | ( )    | ( )     |

無回答 1.4

**問 16** テレビ・ラジオからの情報を、どのように感じましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

1. 津波の有無に関する情報を、もっと早く伝えてほしい 10.0
2. 具体的にどのような行動や対応をとればよいかという情報を、もっと伝えてほしい 19.4
3. 情報を伝えるアナウンサーやキャスターは、もっと冷静に対応するべきである 4.2
4. 自分の住んでいる地域の情報を、もっと多く伝えてほしい 38.2
5. 電話・携帯電話の状況について、もっと詳しく伝えてほしい 5.6
6. 放送局が、地震直後に被害のあった市町村役場や消防署などに電話取材をするのは、控えるべきである 18.2
7. 地震発生時の映像が多すぎるのではないかと 6.2
8. 余震に関する情報を、もっと伝えてほしい 38.2
9. 特になかった 26.8

無回答 1.8

## 電話・インターネットについてお聞きします

**問 17** 地震当日、あなたは誰かに連絡を取ろうとしましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

- |                        |                                |
|------------------------|--------------------------------|
| 1. 一般の固定電話からかけた 44.8   | 4. 携帯電話・PHS のメールで連絡しようとした 44.4 |
| 2. 公衆電話からかけた 2.2       | 5. 電子メール (パソコン) で連絡しようとした 2.4  |
| 3. 携帯電話・PHS からかけた 60.2 | 6. 連絡をとろうとしなかった 19.6           |

**付問 17-1** (問 17 で「3. 携帯電話・PHS からかけた」あるいは「4. 携帯電話・PHS のメールで連絡しようとした」と回答した方にお聞きします) 連絡をした (しようとした) 携帯電話・PHS の通信会社は、どちらの会社ですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=339)

- |                 |               |                  |
|-----------------|---------------|------------------|
| 1. NTT ドコモ 80.5 | 3. ソフトバンク 6.5 | 5. WILLCOM 0.9   |
| 2. au 13.6      | 4. TUKA -     | 6. その他 (具体的に:) - |

無回答 2.7

**問 18** 地震直後 (2~3 時間以内) にあなたが利用しようとした通信手段はどのくらいつながりましたか。あてはまるものを 1 つずつ選んでください。また、それぞれの通信手段を利用し始めてから、つながった時間を分単位で具体的にお答えください。(n=500)

|               | 問題なく利用できた<br>すくにつながり | つながりにくかったが、<br>利用できた | 全く利用できなかった<br>つながりにくく | 利用しようとしなかった | 普段も利用することはない | 無回答 | つながるまでの<br>所要時間 (分) 平均 |
|---------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-------------|--------------|-----|------------------------|
| 固定電話          | 10.6                 | 14.8                 | 22.2                  | 49.8        | 1.4          | 1.2 | 66.8                   |
| 公衆電話          | 0.4                  | 0.8                  | 1.2                   | 42.8        | 52.8         | 2.0 | 51.7                   |
| 携帯電話・PHS (音声) | 5.0                  | 26.0                 | 28.8                  | 22.4        | 17.2         | 0.6 | 62.7                   |
| 携帯電話・PHS のメール | 8.0                  | 23.4                 | 11.0                  | 32.8        | 23.4         | 1.4 | 39.8                   |
| パソコンのメール      | 0.8                  | -                    | 1.4                   | 44.2        | 51.6         | 2.0 | 60.0                   |
| パソコンのウェブ検索    | 0.2                  | -                    | 1.0                   | 45.2        | 51.4         | 2.2 | -                      |

**問 19** 地震当日、家族や知人と連絡が取れず、安否が心配でしたか。あてはまるものを 1 つ選んでください。(n=500)

- |                           |                            |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. なかなか連絡が取れず、心配だった 39.2  | 3. 連絡は取れなかったが、心配ではなかった 9.2 |
| 2. すぐ連絡が取れたので、心配なかった 41.2 |                            |

無回答 10.4

**問 20** 地震当日、あなたは、次にあげる「安否確認サービス」を知っていましたか。あてはまるものを1つずつ選んでください。(n=500)

|                           | 聞いたこともなかった | 聞いたことはあるが、<br>使い方までは知らなかった | 聞いたことはあるし、<br>使い方も知っていた | 今現在、この質問で<br>初めて知った | テレビ・新聞などで見聞きしたが、<br>使い方までは知らなかった | 今回の地震の後、<br>使い方も分かった | 今回の地震の後、<br>テレビ・新聞などで見聞きして、<br>使い方も分かった | 無回答 |
|---------------------------|------------|----------------------------|-------------------------|---------------------|----------------------------------|----------------------|---|-----|
| 災害用伝言ダイヤル (171)           | 22.2       | 47.4                       | 16.6                    | 8.0                 | 5.0                              | 0.8                  | -                                       |     |
| 災害用伝言板サービス (携帯)           | 30.6       | 41.6                       | 10.4                    | 13.8                | 3.2                              | 0.4                  | -                                       |     |
| 災害用ブロードバンド伝言サービス (web171) | 47.6       | 25.4                       | 3.8                     | 20.4                | 2.4                              | -                    | 0.4                                     |     |

**問 21** あなたは、今回の地震で「安否確認サービス」を使いましたか。あてはまるものを1つずつ選んでください。(n=500)

|                           | 使った | 使わなかった | 無回答 |
|---------------------------|-----|--------|-----|
| 災害用伝言ダイヤル (171)           | 1.8 | 98.0   | 0.2 |
| 災害用伝言板サービス (携帯)           | 3.4 | 96.6   | -   |
| 災害用ブロードバンド伝言サービス (web171) | -   | 99.6   | 0.4 |

**問 22** (問 21 で「1. 使った」と回答した方にお聞きします)「安否確認サービス」は役に立ちましたか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

|                           | (n) | 非常に役に立った | 多少役に立った | あまり役に立たなかった | 役に立たなかった | 無回答  |
|---------------------------|-----|----------|---------|-------------|----------|------|
| 災害用伝言ダイヤル (171)           | 9   | 22.2     | 33.3    | 33.3        | -        | 11.1 |
| 災害用伝言板サービス (携帯)           | 17  | 11.8     | 41.2    | 23.5        | 23.5     | -    |
| 災害用ブロードバンド伝言サービス (web171) | -   | -        | -       | -           | -        | -    |

**問 23** 災害情報を伝えるホームページがいろいろありましたが、地震後、それらを見たことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                 |                                 |
|-----------------|---------------------------------|
| 1. 見たことがある 13.4 | 2. 見たことはない 86.6 → <b>問 24 へ</b> |
|-----------------|---------------------------------|

**付問 23-1** (問 23 で、「1. 見たことがある」と回答した方にお聞きします) あなたはどのようなホームページを見ましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=67)

- |                        |                               |
|------------------------|-------------------------------|
| 1. 市のホームページ 74.6       | 4. その他の機関のホームページ (具体的に:) 19.4 |
| 2. ボランティア団体のホームページ 3.0 | 5. 個人のホームページ 4.5              |
| 3. 放送局や新聞社のホームページ 29.9 | 6. その他 (具体的に:) 4.5            |

**付問 23-2** (問 23 で、「1. 見たことがある」と回答した方にお聞きします) そうしたホームページは役に立ちましたか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=67)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 大変役に立った 32.8 | 3. あまり役に立たなかった 4.5 |
| 2. 多少役に立った 62.7 | 4. 全く役に立たなかった -    |

## あなたのお考えや体験についてお聞きします

**問 24** あなたは、これまで、この地域で今回の「新潟県中越沖地震」のような大きな地震が起こると思っていましたか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 思っていた 4.2      | 3. あまり思っていなかった 34.4  |
| 2. ある程度思っていた 12.6 | 4. まったく思っていなかった 48.8 |

**問 25** あなたは、将来、この地域で今回の「新潟県中越沖地震」のような大きな地震が起こると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 思っている 30.6     | 3. あまり思っていない 13.6 |
| 2. ある程度思っている 53.0 | 4. まったく思っていない 2.2 |

無回答 0.6

**問 26** 今回の地震の被害についてどのように感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 1. 被害は大きいと思う 96.4  | 3. 被害はあまり大きいとは思わない 0.6 |
| 2. 被害はやや大きいと思う 3.0 | 4. 被害は大きいとは思わない -      |

**問 27** 今回の地震の前、あなたの住んでいる地域は、地震に対して安全だと感じていますか。それとも危険だと感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 安全と思っていた 22.0         | 4. 危険と思っていた 8.4     |
| 2. どちらかといえば安全と思っていた 39.4 | 5. 特に意識していなかった 15.4 |
| 3. どちらかといえば危険と思っていた 14.8 |                     |

**問 28** それでは今回の地震を経験して、あなたの住んでいる地域は、地震に対して安全だと感じていますか。それとも危険だと感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| 1. 安全と知っている 2.6          | 4. 危険と知っている 39.8 |
| 2. どちらかといえば安全と知っている 16.2 | 5. 特に意識していない 5.8 |
| 3. どちらかといえば危険と知っている 35.6 |                  |

**問 29** この地域はどのような点が危険だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。(n=500)

- |                              |                                    |
|------------------------------|------------------------------------|
| 1. 木造住宅が密集していること 56.8        | 7. 地盤が弱いこと（液状化が起こる可能性が高い） 34.8     |
| 2. ブロック塀が多いこと 32.6           | 8. 火災の時に、延焼を防ぐのに役立つ緑や広場が少ないこと 12.8 |
| 3. 道路が狭く、複雑に入り組んでいること 32.0   | 9. 近くに消火用水として使用できる川やプールがないこと 13.2  |
| 4. 道路際に通行の障害となるものが多いこと 2.0   | 10. 人や車が多いこと 4.6                   |
| 5. 窓ガラスや看板などの落下の危険があること 5.4  | 11. 近くに高速道路や鉄道の高架があること 0.2         |
| 6. 近くに危険物を扱っている工場などがあること 7.2 | 12. その他（具体的に：） 22.4                |

無回答 0.8

**問 30** お宅では、地震に備えて家具の固定をしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                  |                  |                 |
|------------------|------------------|-----------------|
| 1. 大部分固定している 4.8 | 2. 一部固定している 33.6 | 3. 固定していない 61.6 |
|------------------|------------------|-----------------|

**問 31** 次にあげるものの中で、地震に備えてお宅で行っていたものはありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

|                                    |                             |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 防災について家族と役割を決めていた 1.2           | 12. ガラス飛散防止をしていた 2.2        |
| 2. 家族との連絡方法を決めていた 7.6              | 13. ガスボンベを倒れないようにしていた 0.2   |
| 3. 突発地震の時に避難する場所を決めていた 9.2         | 14. 家具が倒れないように固定していた 33.2   |
| 4. 家族が離れ離れになったとき落ち合う場所を決めていた 6.0   | 15. ブロック塀の点検や転倒防止を施していた 2.6 |
| 5. 自宅や勤め先付近の安全な避難経路を確認していた 3.4     | 16. 防災訓練に積極的に参加していた 2.2     |
| 6. ガスを使わないときに元栓を締めていた 22.8         | 17. 非常持出品を用意していた 26.4       |
| 7. 火気器具のまわりを整理していた 13.2            | 18. 耐震診断をした 1.2             |
| 8. 石油ストーブは、耐震自動消化装置付の物を使用していた 22.8 | 19. 地震保険に入っていた 16.4         |
| 9. 風呂にいつも水を入れていた 30.8              | 20. その他（具体的に：） 2.2          |
| 10. 消火器や水をいれたバケツなどを用意していた 9.6      | 21. 何もしていなかった 21.6          |
| 11. 幼稚園、小学生の児童の引取り方法を決めていた 1.2     |                             |

**付問 31-1** (問 31 で「21. 何もしていなかった」と回答した方にお聞きします) その理由は何ですか。

**問 32** 次にあげるものの中で、今回の地震をきっかけにお宅で行っているものはありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

|                                   |                              |
|-----------------------------------|------------------------------|
| 1. 防災について家族の役割を決めた 1.8            | 12. ガラス飛散防止をした 2.6           |
| 2. 家族との連絡方法を決めた 8.8               | 13. ガスボンベを倒れないようにした 0.6      |
| 3. 突然地震の時に避難する場所を決めた 8.2          | 14. 家具が倒れないように固定した 28.4      |
| 4. 家族が離れ離れになったとき落ち合う場所を決めた 6.4    | 15. ブロック塀の点検や転倒防止を施した 5.6    |
| 5. 自宅や勤め先付近の安全な避難経路を確認した 3.6      | 16. 防災訓練に積極的に参加しようと考えている 4.8 |
| 6. ガスを使わないときに元栓を締めるようにした 14.4     | 17. 非常持出品を用意した 22.6          |
| 7. 火気器具のまわりを整理するようにした 9.8         | 18. 耐震診断をした 1.8              |
| 8. 石油ストーブは、耐震自動消化装置付の物を使用していた 7.8 | 19. 地震保険に入った 6.0             |
| 9. 風呂にいつも水を入れるようにした 28.4          | 20. その他（具体的に：） 3.4           |
| 10. 消火器や水をいれたバケツなどを用意するようにした 5.8  | 21. 何もしていない 26.8             |
| 11. 幼稚園、小学生の児童の引取り方法を決めた 1.2      |                              |

**付問 32-1** (問 32 で「21. 何もしていない」と回答した方にお聞きします) その理由は何ですか。

**問 33** お宅の地震などへの備えは十分だったと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

|                         |                           |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 十分だった 0.8            | 3. どちらかといえば不十分だったと思う 53.6 |
| 2. どちらかといえば十分だったと思う 9.2 | 4. 不十分だったと思う 36.2         |

無回答 0.2

**問 34** 今回の地震を通じて、今後、防災の準備をしようと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

|            |             |
|------------|-------------|
| 1. 思う 91.8 | 2. 思わない 7.8 |
|------------|-------------|

無回答 0.4

**問 35** 平成 16 年 (2004 年) 10 月の「新潟県中越地震」の経験の体験についてうかがいます。次の中であなたにあてはまるものをいくつでもお選びください。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

|                                   |                |
|-----------------------------------|----------------|
| 1. 体験して防災対策をすすめた 20.2             | 3. 体験していない 3.4 |
| 2. そのときは大丈夫だったので、今回も大丈夫だと思った 76.0 |                |

無回答 0.4

**問 36** あなたは「緊急地震速報」をご存知ですか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

|               |                    |              |
|---------------|--------------------|--------------|
| 1. 知っている 38.0 | 2. 名前だけは知っている 34.0 | 3. 知らない 28.0 |
|---------------|--------------------|--------------|

**問 37** もし、大揺れの 10 秒くらい前に、大地震が来るという情報を入手できたら、あなたは何ができたと思いますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

|                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 机にもぐる 13.0             | 5. 頭をかばう 16.8       |
| 2. 外に飛び出す 57.8            | 6. 火を消す 57.6        |
| 3. しゃがんで転倒をさける 12.4       | 7. お年寄りや子供をかばう 35.2 |
| 4. 落ちたり、倒れてくるものから離れる 49.0 | 8. その他(具体的に:) 4.6   |

**問 38** 今回の地震について、行政・公共機関・報道機関に対して意見や希望がありましたら、どんなことでも結構ですので、お書きください。

|  |
|--|
|  |
|--|

## 柏崎刈羽原子力発電所の事故についてお聞きします

問 39 今回の地震では、柏崎刈羽原子力発電所にもさまざまな影響がありました。このうち次の(a)～(c)について、それぞれお答えください。

### (a) 地震直後に起きた変圧器火災について

問 39-1 あなたは、この火災に関する情報をどのように知りましたか。最もあてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                              |                     |
|------------------------------|---------------------|
| 1. マスコミ（テレビ、ラジオ、新聞等）の報道 87.6 | 4. 家族・知人などの話 4.6    |
| 2. 市からのお知らせ（防災行政無線、広報など） 5.8 | 5. その他（具体的に：） 0.6   |
| 3. 電力会社（発電所）からのお知らせ 0.2      | 6. 火災については、知らない 1.0 |

無回答 0.2

問 39-2 あなたは、この火災をどのように受け止めましたか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                   |                      |              |
|-------------------|----------------------|--------------|
| 1. 非常に重大なことだ 75.8 | 3. あまり重大なことではない 6.2  | 5. わからない 5.8 |
| 2. やや重大なことだ 11.6  | 4. まったく重大なことではない 0.6 |              |

### (b) 放射性物質を含む水が海に流出したこと（放射能漏れ）について

問 40-1 あなたは、この放射能漏れをどのように知りましたか。最もあてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                              |                        |
|------------------------------|------------------------|
| 1. マスコミ（テレビ、ラジオ、新聞等）の報道 93.2 | 4. 家族・知人などの話 1.8       |
| 2. 市からのお知らせ（防災行政無線、広報など） 3.6 | 5. その他（具体的に：） 0.2      |
| 3. 電力会社（発電所）からのお知らせ 0.4      | 6. 放射能漏れについては、知らない 0.6 |

無回答 0.2

問 40-2 あなたは、この放射能漏れをどのように受け止めましたか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                   |                      |              |
|-------------------|----------------------|--------------|
| 1. 非常に重大なことだ 80.6 | 3. あまり重大なことではない 5.4  | 5. わからない 3.6 |
| 2. やや重大なことだ 9.8   | 4. まったく重大なことではない 0.6 |              |

### (c) 発電所設計時の想定を大きく超える揺れ（加速度）が観測されたことについて

問 41-1 あなたは、この想定外の揺れがあったことをどのように知りましたか。最もあてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                              |                           |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. マスコミ（テレビ、ラジオ、新聞等）の報道 91.4 | 4. 家族・知人などの話 1.6          |
| 2. 市からのお知らせ（防災行政無線、広報など） 2.8 | 5. その他（具体的に：） -           |
| 3. 電力会社（発電所）からのお知らせ 0.6      | 6. 想定外の揺れがあったことは、知らない 3.6 |

問 41-2 あなたは、この想定外の揺れがあったことをどのように受け止めましたか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

- |                   |                     |              |
|-------------------|---------------------|--------------|
| 1. 非常に重大なことだ 81.8 | 3. あまり重大なことではない 2.6 | 5. わからない 5.2 |
| 2. やや重大なことだ 10.4  | 4. まったく重大なことではない -  |              |

**問 42** 柏崎刈羽原子力発電所に地震の影響があったことは、マスコミ報道でも大きく取り上げられています。これについて、あなたはどのように感じていますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

1. 安全上それほど重大なことではないのに、マスコミは騒ぎすぎだ 4.2
2. 安全上重大なことではあるが、風評被害などを考えると、マスコミは報道を控えるべきだ 18.6
3. 安全上重大なことなので、このくらい取り上げるのは当然だ 45.0
4. 安全上重大なことなので、もっと大きく取り上げるべきだ 29.6
5. わからない 2.6

**問 43** あなたは、今回の柏崎刈羽原子力発電所の事故で何が問題だと思えますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

1. 原発の近くで「想定を超える地震」が発生したこと 54.2
2. 原子力発電所の下に活断層があること 63.4
3. 海水への放射能漏れ 56.4
4. 火災 32.4
5. 火災の消火に手間取ったこと 43.6
6. トラブルが多すぎること 63.0
7. 火災を含めて、様々なトラブル自体が想定外だったこと 38.2
8. 東京電力の報告・情報伝達が遅すぎること 62.2

無回答 0.6

**問 44** 今回の事故をきっかけとして、あなたの原子力発電の安全性についての考えは変わりましたか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

1. 以前から安全だと思っており、事故の後も安全性に対する信頼は変わらない 8.8
2. 以前は安全だと思っていたが、事故の後は安全性に疑問が出てきた 34.8
3. 以前から安全性に疑問があり、事故の後もその疑問は変わらない 17.4
4. 以前から安全性に疑問があったが、事故の後は疑問がもっと強くなった 37.0
5. その他(具体的に:) 1.8

無回答 0.2

**問 45** では、今回の事故をきっかけにして、あなたの原子力発電に対する賛成-反対の意見は変わりましたか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=500)

1. 以前も賛成であり、事故の後も賛成に変わりがない 21.4
2. 以前は賛成だったが、事故の後は反対する気持ちに変わった 34.4
3. 以前も反対であり、事故の後も反対である 39.0
4. 以前は反対だったが、事故の後は賛成する気持ちに変わった 1.0

無回答 4.2

**問 46** 今回の柏崎刈羽原子力発電所の事故について、あなたの考えとして、次のことはあてはまりますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(n=500)

1. 柏崎刈羽原子力発電所の安全性に対して、不安なことは不安だが、正直あまり考える余裕がない 22.6
2. 柏崎刈羽原子力発電所の安全性に対してテレビや新聞では様々なことが報道されているが、避難生活が大変で、正直、実感がない 8.0
3. 柏崎刈羽原子力発電所の安全性に対して、テレビや新聞では、この夏の電力不足など様々なことが報道されているが、もっと、われわれの生活の復旧・復興の問題をとりあげてほしい 33.2
4. 柏崎刈羽原子力発電所の安全性に対して、東京や海外メディアの取り上げ方は大げさだと思う 7.4
5. 柏崎刈羽原子力発電所の安全性は疑問であるので、安全性が確認されるまで稼働すべきではない 60.0
6. 柏崎刈羽原子力発電所の安全性は疑問であるので、廃止すべきだ 27.2

無回答 3.4

**問 47** 今回の地震以後に、原子力発電所について、何かうわさを聞きましたか。内容や誰から聞いたかなどについて、差し支えない範囲で教えてください。



**付 サーベイリサーチセンターの業務案内**

## 会社概要

商号 株式会社サーベイリサーチセンター  
 設立 昭和50年2月  
 資本金 6,000万円  
 年商 50億円（平成18年度）  
 代表者 代表取締役 藤澤士朗  
 社員数 176名  
 顧問 竹内郁郎（東京大学名誉教授）  
 取引銀行 三井住友銀行 赤羽支店  
 百十四銀行 東京支店  
 みずほ銀行 尾久支店  
 三菱東京UFJ銀行 日暮里支店  
 商工中央金庫 押上支店  
 所属団体 (財)日本世論調査協会  
 (社)日本マーケティング・リサーチ協会  
 (社)日本マーケティング協会  
 (社)交通工学研究会  
 日本災害情報学会 他

## 組織図



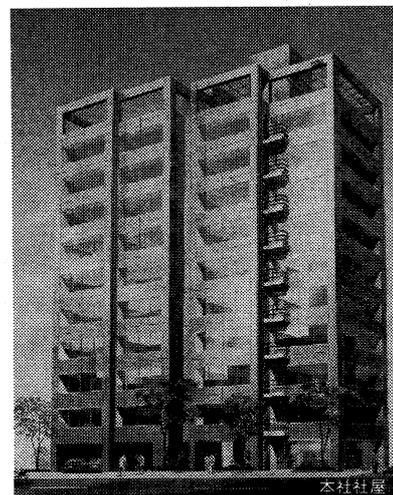
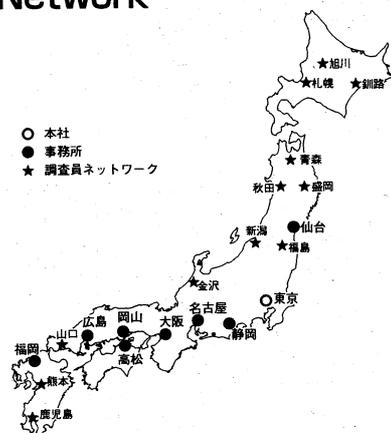
## 沿革

昭和50年2月 資本金1,000万円にて設立  
 昭和51年6月 大阪事務所開設  
 昭和54年1月 静岡事務所開設  
 昭和61年9月 名古屋事務所開設  
 昭和63年4月 本社社屋竣工  
 平成2年4月 東北事務所開設  
 平成4年1月 広島事務所開設  
 平成5年6月 資本金を4,000万円に増資  
 平成9年3月 本社社屋増築  
 平成9年4月 九州事務所開設  
 平成10年4月 岡山事務所開設  
 平成12年7月 資本金を6,000万円に増資  
 平成15年4月 四国事務所開設

## 取得認証・登録資格

ISO9001 (JMAQA-676)  
 プライバシーマーク (C820008(04))  
 建設コンサルタント (道路部門 建13第7120号)

## Network



● 新潟県中越沖地震に関する調査

平成 19 年 8 月 15 日



「安全確認まで稼働イヤ」6割 民間会社が住民アンケート

新潟県中越沖地震で東京電力柏崎刈羽原発が受けた被害について、被災住民の8割が「非常に重大なこと」と受け止めていることが、民間調査会社による現地調査でわかった。以前は原発に賛成だったのに反対に変わった人も3割おり、安全が確認されるまで再開すべきでないとした人が6割を占めた。トラブルが相次いだ原発への不信の大きさを裏付けた形だ。

サーベイリサーチセンター(東

京都)などが7月28日から8月3日、柏崎市で500人を訪ね、アンケートした。原発を襲った想定外の揺れについて82%、地震後に起きた放射能漏れについて81%、変圧器の火災について76%が「非常に重大なこと」と受け止めていた。

原発の問題点を複数回答で尋ねたところ、「下に活断層があること」「トラブルが多すぎることをそれぞれ63%、「東京電力の報告・情報伝達が遅すぎることを62%

が挙げた。

原発への賛否では「賛成だったが、反対する気持ちに変わった」が34%、「賛成に変わらない」は21%。以前から反対の人は39%で、地震を境に賛否が逆転した形になっている。

複数回答で原発の被災へのとらえ方を聞くと、安全性に疑問を持ち「廃止すべきだ」としたのが27%、「確認されるまで稼働すべきではない」が60%だった。

平成 19 年 8 月 16 日



原発の安全性

「疑問」89%に

新潟県中越沖地震の被災者を対象に民間調査会社を実施したアンケートで、「今回のような大地震が起きるとは思わなかった」と83%の人が回答したことが15日、分かった。原子力発電の安全性に疑問を抱いている人は89%にのぼった。

「サーベイリサーチセンター」(東京都)が7月28日～8月3日、新潟県柏崎市の住民500人から聞き取り調査した。地震への意識についての質問に「自分の居住地域は安全と思っていた」人は地震前は61%だったが、地震後は19%となった。

● 能登半島地震に関するアンケート調査

平成 19年 4月 8日



### 能登半島地震 「予想外」8割 住民500人を調査

3月末の能登半島地震の体験者のうち、大きな地震がこの地域で起こると思っていなかった人が8割を占めていることが、民間調査会社のインターネット調査でわかった。7割が家具の固定をしておらず、地震が少な

地震直後の3月29日から4月2日まで、石川、富山両県で震度5弱以上を記録した市町村にいる登録者504人にネットを通じアンケートした。この地域で大地震が起きると「思っていた」のは4%、「ある程度思っていた」のは15%に過ぎず、「あまり思っていなかった」は44%、「全く思っていなかった」は38%だった。家具を固定していないと答えたのは74%。備えが不十分だったと思う人は9割に達した。

いどなされてきた地域の危機感の薄さが改めて浮き彫りになった。  
サーベイリサーチセンター(東京都荒川区)が

平成 19年 5月 9日



### 地震中、67%が「何もできず」

能登で住民アンケート  
能登半島地震で民間調査会社が住民を対象に

実施したアンケートで、地震発生中に「様子を見ていた」「動けなかった」など約六七%の人が事実上、何もできなかったと回答していることが分かった。

調査は「サーベイリサーチセンター」(東京)が地震直後の三月二十九日―四月二日、石川、富山両県で震度5弱以上の揺れを記録した市町村に住む同社の登録者五百四人に、インターネットを通じてアンケートした。

「地震発生中にできなかった」の質問に「じっと様子を見ていた」との回答が最多の四八・六%、「動けなかった」が一・五%、「何もしなかった」が七・一%で計六七・二%。震度6強だった地域では「動けなかった」が二六・四%に達した。

● 第3回三宅島帰島住民アンケート調査

平成19年5月15日



### 二輪レース不人気

三宅島民、集客期待は17% 民間アンケ

石原慎太郎・東京都知事の肝いりで三宅島(三宅村)の噴火災害復興策として計画されているオートバイレースについて、観光客の増加につながるかと考える帰島世帯は2割弱にとどまること、民間調査会社「サーベイリサーチセンター」(荒川区)が行ったアンケート調査で分かった。

レースは11月に開催予定だが、都の思惑と島民の意識の違いが浮かんた。調査は4月に行われ、全世帯の約3分の1に当たる520世帯から回答を得た。

集客が望める観光事業を尋ねた質問で、「『三宅島オートレース』を成

功させ、定着させる」は17%。「定期航空路が再開できないのであれば、軽飛行機や大型ヘリコプターを就航させる」の74%がトップで、「目玉となる観光名産品を作る」38%、「民宿など宿泊施設を増やす」24%、「ゴルフ場や温泉などレジャー施設を造る」21%の順だった。

レースは当初、周回道路(延長30・4キロ)で計画されたが、ライダーや二輪車メーカーから「安全確保が困難」との意見が相次ぎ断念。別の方法で検討している。石原知事は「形を変えてでも、ぜひ実施したい」と述べている。【木村健二】

平成19年5月18日

## しほん 赤旗

### 「観光客増」は2割弱

民間アンケート調査で

石原慎太郎都知事がトップダウンで進める三宅島(三宅村)の公道オートバイレース計画について、観光客を増やすと考えている村民は17%しかいないことが、民間の調査機関「サーベイリサーチセンター」(本社・荒川区)が行ったアンケート調査で分かった。

「目玉となる観光名産品を作る」が38%、「民宿など宿泊施設を増やす」が24%だったのに対し、「三宅島オートレース」を成功させるには17%にとどまりました。

「このような状態に

なったら村が復興したと感ずるか」について「空路が再開された時」が62%、「立ち入り規制が解除された時」が48%で、また、行政が行う復興策として必要なもの

「医療費への補助」が50%を占め、次いで「健康保険や年金などの保険料免除の支援」が39%、「税の減免」が37%、「住宅の補修や再建への補助」が32%などとなっ

# 防災、防災計画関係の実績一覧

平成19年5月

## 防災

|                                   |                  |        |   |                    |
|-----------------------------------|------------------|--------|---|--------------------|
| 阪神・淡路大震災に関する調査<第1回目>              | 自主企画調査           | 7年     | 消防研究センター                                | 18年                |
| 阪神・淡路大震災に関する調査<第2回目>              | 自主企画調査           | 7年     | 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災体制の現状および課題に関する調査 | 消防庁 18年            |
| 阪神・淡路大震災に関する調査<第3回目>              | 自主企画調査           | 9年     | 旧耐震住宅居住者グループインタビュー調査                    | 東京経済大学 14年         |
| 芸予地震に関する住民意識調査                    | 自主企画調査           | 13年    | 家屋の耐震化に関するアンケート調査                       | 東京経済大学 15年         |
| 静岡県中部地震に関する住民意識調査                 | 自主企画調査           | 13年    | 水害・中越地震被災地域グループインタビュー調査                 | 東京経済大学 16年         |
| H15宮城県沖の地震に関するアンケート調査             | 自主企画調査           | 15年    | 救急医療と通信システムについての消防本部アンケート調査             | 東洋大学 16年           |
| 宮城県北部を震源とする地震についてのアンケート調査         | 自主企画調査           | 15年    | 台風23号についての兵庫県豊岡市民アンケート調査                | 東洋大学 16年           |
| H17宮城県沖の地震に関するアンケート調査             | 自主企画調査           | 17年    | 東海豪雨における視覚障害者の災害行動についてのアンケート調査          | 東洋大学 16年           |
| 福岡県西方沖地震についての住民調査                 | 自主企画調査           | 17年    | 新潟中越についての十日町市民アンケート調査                   | 東洋大学 16年           |
| 三宅島帰島住民についての調査<第1回目>              | 自主企画調査           | 17年    | 山古志村の復興に関する住民意識調査                       | 東洋大学 17年           |
| 三宅島帰島住民についての調査<第2回目>              | 自主企画調査           | 18年    | 福岡県西方沖地震グループインタビュー                      | 東洋大学 17年           |
| 新潟県中越地震に関する調査                     | 茨城大学             | 18年    | 救急医療と通信システムについての災害拠点病院アンケート調査           | 東洋大学 18年           |
| 自動販売機の転倒防止に係る実態調査                 | 埼玉県              | 15年    | 2004年水害被災地における復興の実態と意識に関する調査            | 東洋大学 18年           |
| 防災に関する世論調査                        | 東京都              | 17年    | 首都圏における通信行動についての住民アンケート調査               | 東洋大学 18年           |
| 市町村防災研修事業に資するためのアンケート             | (財)消防科学総合センター    | 18年    | 原子力事業者アンケート調査                           | 東洋大学 18年           |
| 地下街利用者の災害に関する意識調査                 | (財)河川情報センター      | 11年    | 旧山古志村復興意識調査                             | 東洋大学 18年           |
| 集中豪雨による水害についての住民調査                | (財)河川情報センター      | 17年    | 観光地災害ヒヤリハット調査                           | 常磐大学 18年           |
| 砂防施設計画検討調査                        | (財)砂防・地すべり技術センター | 11年    | 緊急地震速報に関する学生アンケート調査                     | 日本大学 18年           |
| 浅間山噴火についての住民アンケート                 | (財)砂防・地すべり技術センター | 16年    | 災害報道内容分析                                | 日本大学 18年           |
| 台風14号地すべり災害についての住民調査              | (財)砂防・地すべり技術センター | 17年    | 一人暮らしの若者の防災意識調査                         | 日本大学 18年           |
| 平成18年7月豪雨による土砂災害警戒避難に関する調査        | (財)砂防・地すべり技術センター | 18年    | 「新潟県中越地震」におけるライフラインについての住民アンケート調査       | 富士常葉大学 16年         |
| 桜島島民の防災意識に関するアンケート調査              | (財)砂防・地すべり技術センター | 18年    | 消防団員の公務災害・健康増進についての調査                   | 消防基金 9年            |
| 活断層長期予測デルファイ調査                    | (財)地震予知総合研究振興会   | 12年    | 消防団員の安全教育・訓練に関する調査                      | 消防基金 10年           |
| 地震調査研究推進本部の活動に関するアンケート調査          | (財)地震予知総合研究振興会   | 17年    | 消防団の安全装備品等の配備状況に関する調査                   | 消防基金 11年           |
| ナウキャスト地震情報の活用に関する調査               | (財)日本気象協会        | 12・13年 | 阪神大震災3年後の住民意識調査                         | 朝日新聞社 9年           |
| ナウキャスト地震情報の社会的影響調査                | (財)日本気象協会        | 15年    | 阪神大震災に関する住民意識調査                         | 朝日新聞社 13・15・16年    |
| 富士山噴火情報についての自治体調査                 | (財)日本気象協会        | 15年    | 災害等に関する意識調査                             | 朝日新聞社 13年          |
| 緊急地震速報についての企業ヒアリング調査              | (財)日本気象協会        | 16年    | 阪神大震災に関する住民意識調査                         | 朝日新聞社 13年          |
| 災害体験についての「ヒヤリハット」調査               | (独)防災科学技術研究所     | 14年    | 自衛隊の災害派遣についてのアンケート調査                    | 朝日新聞社 13年          |
| 水害ハザードマップ調査                       | (独)防災科学技術研究所     | 15年    | 広域連携についてのアンケート調査及び災害NPOアンケート調査          | 朝日新聞社 14年          |
| 福岡市博多区におけるヒヤリ・ハット体験および災害体験アンケート調査 | (独)防災科学技術研究所     | 15年    | 阪神・淡路大震災8年後の被災者意識調査                     | 朝日新聞社 14年          |
| 名古屋西部および西枇杷町における住民の防災意識と防災対策の実態調査 | (独)防災科学技術研究所     | 16年    | 自治体復興・被災者支援制度アンケート調査                    | 朝日新聞社 17年          |
| 新潟豪雨についての住民アンケート                  | (独)防災科学技術研究所     | 16年    | 十勝沖地震緊急調査                               | 東京経済大学 15年         |
| 東海豪雨災害に関する被災者の意識調査                | NHK放送文化研究所       | 12年    | 過密空間における人間行動意識に関する調査                    | 東京大学社会情報研究所 9年     |
| 有珠山避難者アンケート調査                     | NHK放送文化研究所       | 12年    | 帰宅難民対応についての事業所調査                        | 東京大学社会情報研究所 10年    |
| 東京都民の災害に関するアンケート調査                | NHK報道局           | 14年    | 大地震発生時の東京都民の避難行動に関する調査                  | 東京大学社会情報研究所 10年    |
| 新潟県中越地震に関する住民調査                   | NHK放送文化研究所       | 16年    | 平成10年8月集中豪雨災害についての調査                    | 東京大学社会情報研究所 10年    |
| 新潟豪雨災害に関する住民調査                    | NHK報道局気象災害センター   | 16年    | 河川災害情報の高度化及び危機管理に関する意識調査                | 東京大学社会情報研究所 11・12年 |
| 震災5年後意識調査                         | NHK大阪局           | 11年    | 東海村臨界事故時の行動に関する調査                       | 東京大学社会情報研究所 11年    |
| 阪神淡路大震災に関する住民意識調査                 | NHK神戸局           | 16年    | 東京都「広域避難所」の管理体制についての調査                  | 東京大学社会情報研究所 11年    |
| 地方自治体の防災情報システムに関する自治体アンケート        | NPO環境防災総合政策研究機構  | 16年    | 防災用語についてのアンケート                          | 東京大学社会情報研究所 11年    |
| 新潟水害に関する避難及び情報に関する実態調査            | NPO環境防災総合政策研究機構  | 16年    | 災害写真データベース作成                            | 東京大学 12年           |
| 市町村における住民向け防災広報に関するアンケート調査        | 消防研究センター         | 18年    | 三宅島噴火による住民の避難生活に関する調査                   | 東京大学社会情報研究所 12年    |
| 市町村における降雨災害時の住民向け対応調査             | 消防研究センター         | 18年    | 東海水害被災者調査                               | 東京大学社会情報研究所 12年    |
|                                   |                  |        | 有珠山噴火による住民の避難行動に関する調査                   | 東京大学社会情報研究所 12年    |
|                                   |                  |        | 富士山噴火住民アンケート                            | 東京大学 13年           |

|                                  |               |                   |
|----------------------------------|---------------|-------------------|
| 「富士山噴火」についての有識者デルファイ調査           | 東京大学社会情報研究所   | 13年               |
| 「富士山噴火情報」についての住民アンケート調査          | 東京大学社会情報研究所   | 13年               |
| BSE（狂牛病）についての住民アンケート調査           | 東京大学社会情報研究所   | 13年               |
| 芸予地震に関する住民アンケート調査                | 東京大学社会情報研究所   | 13年               |
| 火山情報と噴火災害に関する有珠・島原住民調査           | 東京大学          | 14年               |
| 災害や事故が社会生活に与える影響調査               | 東京大学          | 14年               |
| 災害情報に対する民間企業の対応調査                | 東京大学          | 14年               |
| 自治体の火山噴火についての地域防災計画書調査           | 東京大学          | 14年               |
| 富士山噴火による企業影響調査                   | 東京大学          | 14年               |
| 2003年5月宮城県沖を震源とする地震住民調査          | 東京大学社会情報研究所   | 15年               |
| 火山周辺自治体の地域防災計画内容分析               | 東京大学社会情報研究所   | 15年               |
| 火山噴火災害についての観光企業アンケート調査           | 東京大学社会情報研究所   | 15年               |
| 宮城県北部地震に関するアンケート                 | 東京大学社会情報研究所   | 15年               |
| 富士山噴火についての住民意識調査                 | 東京大学社会情報研究所   | 15年               |
| 富士山噴火自治体調査                       | 東京大学社会情報研究所   | 15年               |
| 東海地震対策強化地域における地震防災の現況調査          | 東京大学社会情報研究所   | 15年               |
| 平成16年度民間事業所の東海地震の各情報に対する対応調査     | 東京大学大学院情報学環   | 16年               |
| 「東海地震情報についての防災ビデオ」作成             | 東京大学大学院情報学環   | 16年               |
| 民間放送局の災害報道に関する調査                 | 東京大学大学院情報学環   | 16年               |
| 新潟県中越地震についての住民調査および自治体調査         | 東京大学大学院情報学環   | 16年               |
| インターネットと携帯電話に関するアンケート            | 東京大学          | 18年               |
| 子供の安全と災害に対する意識調査                 | 東京大学          | 18年               |
| 地震時の地域防災に関するアンケート                | 東京大学          | 18年               |
| 安全観についての住民アンケート調査                | 東洋大学          | 14～16年            |
| 北海道駒ヶ岳噴火についての住民意識調査              | 東洋大学          | 14年               |
| 苫小牧市民の火山防災意識調査                   | 東洋大学          | 15年               |
| 2004年水害被災地における復興の実態と意識に関する調査     | 東洋大学          | 17年               |
| 災害弱者に関する調査                       | 文教大学          | 10年               |
| 防災についてのアンケート調査                   | 文教大学          | 10年               |
| 集中豪雨に伴う住宅等被害状況調査                 | 世田谷区          | 17年               |
| 街頭設置消火器実態調査                      | 東久留米市         | 12年               |
| 東海地震についての県民意識調査                  | 静岡県           | 3・5・7・9・11・13・17年 |
| 地域防災アンケート                        | 静岡県           | 10・14・15年         |
| 防犯カメラの設置及び利用に関する実態調査             | 静岡県           | 15年               |
| 防犯まちづくりアンケート調査                   | 静岡県           | 15年               |
| 東海地震県民意識・企業防災実態調査                | 静岡県           | 17年               |
| 静岡県中部を震源とする地震についてのアンケート          | (財)静岡総合研究機構   | 13年               |
| 市町村消防団実態調査                       | 愛知県           | 18年               |
| 津波浸水予想図印刷                        | 二見町           | 17年               |
| 災害情報の提示方法に関する調査                  | 大阪大学          | 18年               |
| 災害情報の提示方法に関する調査                  | 大阪大学デザインセンター  | 17年               |
| 家屋等の耐震化に関する住宅調査                  | (財)人と防災未来センター | 14年               |
| 東海・東南海・南海地震防災対策推進地域市町村における津波対策調査 | (財)人と防災未来センター | 16年               |
| 風水害時における自治体の災害対応に関する調査           | (財)人と防災未来センター | 16年               |

## 防災計画

|                       |       |        |
|-----------------------|-------|--------|
| 地域防災計画修正              | 騎西町   | 17年    |
| 地域福祉計画                | 北杜市   | 18年    |
| 地域防災計画策定              | 豊富村   | 9年     |
| 地域防災計画                | 西桂町   | 18年    |
| 地域防災計画                | 忍野村   | 18年    |
| 地域防災計画                | 鳴沢村   | 18年    |
| 地域防災計画修正              | 掛川市   | 12年    |
| 掛川新市地域防災計画及び行動マニュアル策定 | 掛川市   | 16年    |
| 地域福祉計画                | 御殿場市  | 18年    |
| 伊豆市地域防災計画策定           | 伊豆市   | 16年    |
| 防災パンフレット作成            | 伊豆長岡町 | 9年     |
| 地域防災計画修正              | 伊豆長岡町 | 14年    |
| 地域防災計画修正              | 土肥町   | 15年    |
| 地域防災計画策定              | 榛原町   | 8・13年  |
| 域防災計画修正               | 榛原町   | 14年    |
| 地域防災計画修正              | 吉田町   | 12年    |
| 地域福祉計画                | 川根本町  | 18年    |
| 地域防災計画策定              | 安曇野市  | 18年    |
| 地域防災計画策定              | 中津川市  | 17年    |
| 地域防災計画策定              | 伊豆の国市 | 17年    |
| 特殊災害救助活動計画策定          | 愛知県   | 18年    |
| 職員初動マニュアル作成           | 東郷町   | 14年    |
| 地域防災計画策定              | 東郷町   | 13・14年 |
| 防災マップ作成               | 東郷町   | 14年    |
| 避難誘導計画策定              | 東郷町   | 17年    |
| 地域防災計画策定              | 西春町   | 15年    |
| 防災新聞作成                | 西春町   | 15年    |
| 地域防災計画等修正             | 甚目寺町  | 14・15年 |
| 防災に関する講演会             | 甚目寺町  | 15年    |
| 洪水ハザードマップ作成           | 甚目寺町  | 16年    |
| 新市地域防災計画策定            | 津市    | 17年    |
| 地域防災計画                | いなべ市  | 17年    |
| 自主防災組織活動マニュアル作成       | 伊賀市   | 17年    |
| 職員災害初動マニュアル等作成        | 二見町   | 15年    |
| 津波ハザードマップ作成           | 二見町   | 15年    |
| 地域防災計画                | 御園村   | 17年    |
| 地域防災計画改定              | 江津市   | 17年    |
| 防災マップ作成               | 早島町   | 18年    |
| 防災対策アクションプラン策定        | 鏡野町   | 18年    |
| 地域防災計画                | 三原市   | 18年    |
|                       | 中土佐町  | 18年    |

---

## 新潟県中越沖地震に関するアンケート調査

平成 19 年 10 月

株式会社 サーベイリサーチセンター

(本 社) 〒116-8581 東京都荒川区西日暮里 2-40-10  
TEL 03-3802-6711 (代)  
FAX 03-3802-6730  
(社会情報部) TEL 03-3802-6716  
FAX 03-3802-6738

---

本書の記載内容の無断転載を禁ず。  
なお、記載内容の照会あるいは詳細資料については、  
社会情報部 中島宛 (E-mail : naka\_r@surece.co.jp) にお申し出下さい。



株式会社 **サーベイリサーチセンター**

SURVEY RESEARCH CENTER CO., LTD.

**本社**

東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号 〒116-8581  
TEL : (03)3802-6711(大代表) / FAX : (03)3802-6730

**東北事務所**

仙台市青葉区二日町11番11号 〒980-0802  
TEL : (022) 225-3871 (代) / FAX : (022) 225-3866

**静岡事務所**

静岡市葵区呉服町1丁目6番11号 〒420-0031  
TEL : (054) 251-3661 (代) / FAX : (054) 252-6544

**名古屋事務所**

名古屋市中村区名駅3丁目8番7号 〒450-0002  
TEL : (052) 561-1251 (代) / FAX : (052) 561-1254

**大阪事務所**

大阪市北区天満橋1丁目8番30号 〒530-6011  
TEL : (06) 4801-9231 (代) / FAX : (06) 4801-9233

**岡山事務所**

岡山市大供2丁目1番1号 〒700-0913  
TEL : (086) 226-8031 (代) / FAX : (086) 226-8030

**広島事務所**

広島市中区鞆町13番14号 〒730-0016  
TEL : (082) 227-7511 (代) / FAX : (082) 227-7558

**四国事務所**

高松市塩屋町8番1号 〒760-0047  
TEL : (087) 811-2671 (代) / FAX : (087) 821-0933

**九州事務所**

福岡市博多区博多駅前4丁目4番21号 〒812-0011  
TEL : (092) 411-8811 (代) / FAX : (092) 411-8851

ホームページ <http://www.surece.co.jp/>